

中央鐵道線ノ汽車ヲ利用シ旅行スルモノ名古屋市ヲ發着地ト爲ストキ其哩數ハ千種停車場ヲ以テ計算スヘシ

訓令第五十三號

明治三十三年八月二十二日

縣立學校	農事試驗場	水產試驗場	縣立病院	博物館	測候所	驅微院	縣立醫院	縣立學校	監獄支署	警察分署	警察署	郡役所	監獄署	警察署	內務部
------	-------	-------	------	-----	-----	-----	------	------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----

縣内旅行ノ里程ハ從來各町村大字ヲ基點トシテ計算セシ處本年九月一日ヨリ町村ヲ發着點トシ其里數ハ別冊里程表ニ據リ計算スヘシ
但別冊ハ別ニ頒ツ

第二十三號 (訓令)

明治三十四年二月十二日

水產試驗場	縣立病院	博物館	測候所	驅微院	縣立醫院	縣立學校	監獄支署	警察分署	警察署	郡役所	監獄署	警察署	內務部
-------	------	-----	-----	-----	------	------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----

保管物取扱手續左ノ通定ム

保管物取扱手續

第一條 法律命令若ハ行政ノ處分ニ依リ保證金トシテ本廳ヘ納付セシムル現金有價證券若ハ金庫ノ保管證書ハ總テ此手續ニ依リ取扱フヘシ但歳入歳出外現金出納官吏若ハ縣出納吏ニ於テ取扱フモノハ此限ニアラス

第二條 內務部第五課長ハ保管物取扱主任トシテ第一條ノ現金有價證券若ハ金庫保管證書ノ出納及保管ノ責ニ任スヘシ

第三條 內務部警察部ノ各課ニ於テ第一條ノ保證金ヲ納付セシムルモノアルトキハ其金額納人ノ住所

氏名及納付ヲ要スル事由ヲ詳記シ内務部第五課へ移牒スヘシ
 第四條 内務部第五課ニ於テ前條ノ移牒ヲ受ケタルトキ金庫ニ對シ寄託通知書ノ發付ヲ要スルトキハ知事ノ決裁ヲ受ケテ之ヲ調製シ納人ニ交付スヘシ
 第五條 内務部第五課ニ於テ納人ヨリ現金又ハ有價證券ヲ以テ保證金ノ納付ヲ受ケタルトキハ第三條ノ移牒書ニ照合シ受入傳票ヲ調製シ知事ノ決裁ヲ受ケテ之ヲ受領シ納人ニ領收證書ヲ交付スヘシ
 第六條 第五條第一項ニ依リ納付ヲ受ケタル現金又ハ有價證券ハ保管物取扱規程ニ依リ即日金庫ニ寄託シ其保管證書ヲ受クヘシ
 前項ニ依リ現金又ハ有價證券ヲ金庫へ寄托スル爲メ拂出ストキハ支出傳票ヲ調製シ知事ノ決裁ヲ受クヘシ
 第七條 現金有價證券及金庫ノ保管證書ハ金庫藏置品出納手續ニ依リ金庫ニ藏置スヘシ
 第八條 内務部警察部ノ各課ハ第一條保證金ノ還付ヲ要スルモノアルトキハ其金額住所氏名及還付ヲ要スヘキ事由ヲ詳記シ内務部第五課ニ移牒スヘシ
 第九條 内務部第五課ニ於テ第一條保證金還付ノ請求ヲ受ケタルトキハ第八條ノ移牒書ニ照合シ支出傳票ヲ調製シ知事ノ決裁ヲ受ケ保管物取扱規程ニ依リ還付ノ手續ヲ爲スヘシ
 第十條 内務部第五課ハ保管物出納簿ヲ設ケ其出納ヲ登記シ常ニ現在保管高ヲ明瞭ナラシムヘシ
 第十一條 從來内務部警察部各課ニ於テ保管スル現金有價證券若ハ金庫ノ保管證書ハ二月二十日迄ニ内務部第五課ニ引繼テ爲スヘシ
 前項ノ引繼ナリシタルトキハ名古屋本金庫ニ對シ保管物取扱主任交替ノ通知ヲ爲スモノトス

附 則

訓令第十四號

明治三十四年三月二十日

内 務 部
 警 察 部
 郡 役 所

類集上三六
五頁参考

國庫經濟ニ屬スル物品取扱細則別冊ノ通定ム但別冊ハ別ニ頒ツ
 明治二十九年十月訓令第五十八號愛知縣物品出納順序ハ此細則施行ノ日ヨリ廢止ス
 (別 冊)

愛知縣物品取扱細則

第一章 總 則

第一條 本縣所管ニ係ル政府ニ屬スル物品及政府ノ保管ニ屬スル物品ハ法律命令ニ從ヒ此細則ニ依リ取扱フヘシ
 第二條 物品會計官吏ハ内務部、警察部及郡役所ヲ通シテ一人ヲ置キ内務部第五課長ヲ以テ之ニ充ツ
 第三條 物品ハ左ノ六種ニ類別シ各其品目ヲ定メ之レヲ整理スヘシ
 一 器 械
 二 備 品
 三 圖 書
 四 消 耗 品
 五 動 物
 六 保 管 物
 第四條 器械、備品及圖書ニハ應名ヲ記シ番號ヲ付スヘシ但品質ニ依リ本條ニ依リ難キモノハ此限ニ

アラヌ

第五條 備品ノ供給ハ別ニ定ムル定數及品種ヲ以テ定限トス
消耗品ノ常用ニ係ルモノハ月額ヲ定メ之ヲ供給ノ定限トス

第六條 特殊ノ事業ニ關シ器械若ハ第三條規定以外ニ係ル備品ノ設備ヲ要スルトキハ其必要ノ事由ヲ
詳具シ決裁ヲ請フヘシ

第七條 器械備品及消耗品ハ保管上之ヲ別テ専用共用ノ二種トス
専用トハ各自ニ使用スルモノ共用トハ共通使用スルモノヲ云フ

圖書及動物ハ總テ共用トス

第八條 左ニ掲クル事項ハ物品會計官吏ヲシテ之ヲ專行セシム

一 物品ノ受入

二 器械圖書及備品ノ供給

三 常用消耗品ノ拂出

四 生産ノ爲メ拂出

第九條 消耗品ノ内共用ニ屬スル薪炭油類及動物飼養料ノ如キ日々支消スル物品ハ十五日以内ノ需用
概算高ヲ以テ假渡ヲ爲スヘシ

郵便電信ノ切手類ハ七日以内ノ需用概算高ヲ以テ假渡ヲ爲スヘシ

第十條 知事官房内務部各課及警察部ニ各貳名以上ノ物品取扱主任ヲ置キ左ノ事項ヲ取扱ハシム但知
事官房物品取扱主任ハ知事室需用品ノ取扱ヲ爲サシム

一 共用物品ノ請求返納及保管

二 専用物品ノ使用並ニ保管ニ關スル監督

内務部第五課ニ別ニ二名ノ物品取扱主任ヲ置キ圖書及會議室應接所使丁詰所宿直室等各課ノ主管ニ
屬セサル共用物品並ニ名古屋市ニ設置スル聯隊區徵兵署ノ需用品ヲ取扱ハシム

前二項ノ外必要ノ箇所ニ物品取扱主任ヲ置クコトアルヘシ

第十一條 郡役所ニ物品取扱主任貳名ヲ置キ各郡徵募區内ニ設置スル聯隊區徵兵署ノ需用品ヲ取扱ハ
シム

第十二條 第十一條ノ物品取扱主任ハ郡長其郡書記中ニ於テ之ヲ命スヘシ

郡長ハ物品取扱主任ヲ命免シタルトキハ其氏名ヲ物品會計官吏ニ報告スヘシ

第十三條 物品取扱主任ハ物品會計官吏ノ指揮監督ヲ受クルモノトス

第十四條 物品取扱主任交替ノトキハ前後物品取扱主任帳簿ニ照シテ現品ノ受渡ヲナシ引繼濟報告書
ヲ作り物品會計官吏ニ差出スヘシ但前任物品取扱主任死亡其他ノ事故ニ依リ自身ニ引繼ヲ爲ス能ハ
サル場合ハ縣廳ニアリテハ當該課長郡役所ニアリテハ郡長ニ於テ撰定シタル他ノ吏員ノ立會ヲ得テ

本條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十五條 總テ物品ノ請求返納及毀損亡失ニ係ル顛末書ハ縣廳ニアリテハ當該課長郡役所ニアリテハ
郡長ヲ經由スヘシ但各自専用ニ係ル器械及備品ノ請求返納及毀損亡失ニ係ル顛末書ハ物品取扱主任
ヲ經由スルモノトス

第二章 出 納

第十六條 購入轉入生産等ノ物品ノ受入ヲ要スルトキハ受入傳票ヲ調製シ物品會計官吏ノ認可ヲ得テ
之レヲ受領シ其形質數量價格等ヲ帳簿ニ記入スヘシ

第十七條 物品ノ交付ヲ受ケントスルトキハ器械備品及消耗品ノ内特殊ノ用途ニ充ツルモノハ所要ノ
都度常用消耗品ハ豫定月額ヲ以テ毎月一日 休日ニ當ルトキハ其翌日 内務部第五課ニ備ヘアル物品請求簿ニ品目

數量需用ノ事由等ヲ式ノ如ク記入捺印シテ其交付ヲ請求スヘシ
物品ノ請求ハ各自專用ニ係ルモノハ其使用者共通使用ニ係ルモノハ物品取扱主任ニ於テ之ヲ爲スヘシ但知事室ノ需用品ハ總テ知事官房取扱主任徵兵器ノ需用品ハ郡役所ノ物品取扱主任ニ於テ請求スヘシ

第十八條 第九條ノ物品ハ需用見込高ヲ概算シ假渡ヲ請求シ支消后直チニ精算スルモノトス

第十九條 徵兵器ニ於テ要スル消耗品ハ物品取扱主任ニ於テ其需用概算高ヲ定メ豫メ之ヲ請求スヘシ器械若ハ備品ノ設備ヲ要スルトキ亦同シ

第二十條 各出張所等ニ於テ要スル物品ハ當該課物品取扱主任第十七條第十八條ノ手續ニ據リ之レヲ請求シ該出張所等ニ送付シ當該課出張員出張員武名以上ナ
ルトキハ其上席者ヲシテ之レカ出納及保管ノ責ニ任セシムヘシ但遠隔ノ地ニアル出張所等ノ消耗品ニシテ當該課物品取扱主任ニ於テ本條ノ手續ニ依リ難キ場合ハ該出張員ニ於テ直チニ取扱フモノトス

前項但書ノ場合ニ於テハ該出張員ニ於テ品目數量及需用ノ事由詳記シタル請求書ヲ作り内務部第五課ニ送付シ物品ノ交付ヲ受ケタルトキハ直チニ領收證書ヲ差出スヘシ

第二十一條 第十七條乃至第二十條ニ依リ請求シタル物品ノ交付ヲ受ケタルトキハ交付簿又ハ請求簿ニ受領證印ヲ捺シ若ハ領收證書ヲ差出スヘシ

第二十二條 内務部第五課ニ於テ物品ノ請求ヲ受ケタルトキハ其需用ノ當否其他必要ノ事由ヲ調査シ相當ト認ムルモノニシテ第八條ニ定メタル範圍内ノモノハ物品會計官吏ノ認可其他ハ知事ノ決裁ヲ得テ之レヲ交付シ其共用ニ係ルモノハ物品取扱主任專用ニ係ルモノハ各自ヨリ交付簿(器械備品ニ
限ル)又ハ請求簿ニ受領證印ヲ捺シ其時々帳簿ヘ記入スヘシ但遠隔ノ地ニ物品ヲ送付シタルトキハ遞送品書留簿ニ登記シ置キ其領收證書ヲ得テ出納簿ヘ記帳ノ手續ヲ爲スヘシ

第十八條ニ依リ假渡ノ請求ヲ受ケタルトキハ其使用殘額ヲ調査シ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十三條 内務部第五課ニ於テ假渡物品ノ精算ヲ受ケタルトキハ之ヲ精査シ物品會計官吏ノ檢閲ヲ經テ本拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十四條 物品會計官吏ヨリ交付ヲ受ケタル徵兵器ノ物品ハ物品取扱主任郡長ノ認可ヲ得テ其受拂ヲ爲スヘシ

第二十五條 徵兵器ノ物品中器械及備品ハ總テ共用トシ各自ニ交付セス物品取扱主任之レヲ保管スヘシ

第二十六條 職員在勤課等ヲ轉スル場合ニ於テ從前受領ノ專用物品ヲ襲用セントスルトキハ甲課ニ於テハ返付ノ手續ヲ爲シ乙課ニ於テ更ニ請求ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十七條 交付ヲ受ケタル物品ノ不用ニ屬シ若クハ毀損シタルトキハ内務部第五課ニ備ハタル返納簿ニ其品名數量及事由等ヲ式ノ如ク記入捺印シ第四十三條ノ顛末書ト共ニ現品ヲ内務部第五課ニ返付スヘシ但遠隔ノ地ニアルモノハ品目數量及事由等ヲ記載シタル返納書ヲ作り本條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十八條 徵兵器ノ毀損物品ニシテ修理スヘカヲサルモノ又ハ不用ニ屬シタル物品ハ郡役所物品取扱主任ニ於テ其品目數量及事由ヲ詳記シタル報告書ヲ作り其毀損シタルモノハ第四十三條ノ顛末書ト共ニ郡長ノ檢閲ヲ經テ物品會計官吏ニ報告スヘシ
物品ヲ亡失シタルトキハ前項ヲ準用ス

第二十九條 内務部第五課ニ於テ第二十七條ニ依リ不用又ハ毀損物品ノ返付ヲ受ケタルトキハ返納簿若クハ返納書顛末書等ニ照合シ之レヲ受領シ物品會計官吏ノ檢閲ヲ經テ帳簿ニ記入スヘシ

第三十條 内務部第五課ニ於テ返付ヲ受ケタル物品ニシテ毀損ニ係ルモノハ毀損品書留簿ニ記入シ

置キ其修繕シ得ヘキモノハ其手續ヲ爲シ否ラサルモノ及不用ニ屬スルモノハ賣却處分ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十一條 第二十八條ニ依リ報告ヲ受ケタルトキハ之レヲ調査シ其毀損シテ修理スヘカラサルモノ若クハ不用ニ屬スルモノハ前條ニ據リ處分ノ手續ヲ爲スヘシ但其處分確定シタルトキハ物品會計官吏ヨリ當該物品取扱主任ニ通知スヘシ

第三十二條 修繕ノ爲メ物品ノ庫出ヲ要スルトキハ物品會計官吏ノ認可ヲ經テ之ヲ修繕受負者ニ交付シ其領收證書ヲ徵シ修繕品書留簿ニ記入スヘシ

前項物品修繕濟ノ上領收シタルトキハ修繕書留簿及關係帳簿ニ記入スヘシ

第三十三條 生産ノ爲メ物品ノ拂出ヲ要スルトキハ生産原料品請求簿ニ其品目數量價格等ヲ記載シ物品會計官吏ノ認可ヲ經テ受負人等ニ交付シ其領收證書ヲ徵スヘシ但便宜生産原料品請求簿ニ領收證印ヲ爲サシメ領收證書ヲ省察スルコトヲ得

前項物品ヲ生産濟ノ上領收シタルトキハ生産原料品請求簿ニ其顛末ヲ記入スヘシ

第三十四條 保管轉換ノ爲メ物品ノ拂出ヲ要スルトキハ拂出傳票ヲ調製シ拂出命令ヲ受ケ發送ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十五條 不用品ノ賣却契約濟ニ係ルモノヲ買受人ニ交付スルトキハ拂出傳票ヲ調製シ拂出命令ヲ受ケ之レヲ交付スヘシ

前項物品ヲ交付ストキハ買受人ノ領收證書ヲ徵シ關係帳簿ニ記入スヘシ

第三十六條 毀損物品ニシテ賣却ノ價值ヲ有セス若クハ亡失ニ係ル物品ハ第四十四條ニ依リ認定ヲ經タルトキ又ハ第四十五條ニ依リ處分ノ確定シタルトキ其認定書若クハ決議書ニ基キ物品會計官吏ノ認可ヲ經テ拂出ノ記帳ヲ爲スヘシ但第二十八條ニ依リ報告ヲ受ケタルモノハ其認定若クハ處分ノ確

定シタルトキ物品會計官吏ヨリ當該物品取扱主任ニ通知スヘシ

第三十七條 物品ノ貸出ヲ要スルトキ若クハ贈與拂出爲ストキハ前各條ノ規定ヲ準用ス

第三章 保管責任

第三十八條 物品會計官吏ヨリ交付ヲ受ケタル專用物品ハ各自ニ於テ互ニ貸借スルコトヲ得ス物品取扱主任其保管ニ屬スル圖書其他ノ共用物品ヲ使用者ニ交付スルノ必要アルトキハ證書ヲ徵シ現品ヲ交付シ常ニ其物品ノ所在ヲ明ニスヘシ

前項ノ證書ハ便宜帳簿ヲ以テ代用スルコトヲ得

第三十九條 貯藏ノ物品ハ鎖鑰アル倉庫ニ納入シ每品ニ區別配置シ點檢ニ便ナラシムヘシ貯藏ノ物品ハ每品其品目數量ヲ記載シタル入記目録ヲ備ヘ物品ノ出納毎ニ之ヲ訂正スヘシ

第四十條 物品貯藏ノ倉庫ハ物品會計官吏若クハ物品會計官吏ノ委任シタル官吏ノ臨場アルニアラサレハ開閉スルコトヲ得ス

第四十一條 物品ヲ貯藏スル倉庫鎖鑰ノ鍵ハ物品會計官吏若クハ其委任ヲ受ケタル官吏之レヲ保管スヘシ

第四十二條 貯藏ノ物品ハ毎月一回入記目録ニ照合シテ其現在品ヲ點檢スヘシ

第四十三條 保管ノ責アルモノニ於テ物品ヲ亡失若クハ毀損シタルトキハ其品目數量及其亡失若クハ毀損シタル事實ヲ詳悉シタル顛末書ヲ作り其時々内務部第五課ニ送付スヘシ

直接保管ノ責ナキモノト雖モ物品ヲ亡失若クハ毀損シタルトキハ仍ホ前項ニ依ルヘシ

第四十四條 前條顛末書ハ内務部第五課ニ於テ審査シ知事ノ認定ヲ受クヘシ

第四十五條 第四十三條ノ場合ニ於テ若シ物品取扱規程第十五條及第十六條ニ依リ辨償ノ責アルモノト認めタルトキハ其顛末ヲ詳查シ辨償ノ方法ヲ具シ知事ノ決裁ヲ請フヘシ

第四十六條 前條ニ依リ處分シタル場合ニ於テ第四十三條第二項ニ該當スルモノヲシテ辨償セシメタルトキハ全條第一項直接保管ノ責アルモノハ其物品ニ對スル代價ノ辨償ヲ免カル、コトヲ得

第四章 帳簿

第四十七條 物品會計官吏ハ物品取扱規程第十條但書ニ依リ左ノ補助簿ヲ設クヘシ

- 一 器械出納内譯簿
 - 二 備品出納内譯簿
 - 三 概算假渡品整理簿
 - 四 毀損品書留簿
 - 五 修繕品書留簿
 - 六 遞送品書留簿
 - 七 器械備品圖書臺帳
 - 八 徵兵器器械備品内譯簿
 - 九 貸出品書留簿
- 第四十八條 第十條第一項ノ物品取扱主任ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ其受拂ヲ登記スヘシ
- 一 專用器械各自内譯簿
 - 二 專用備品各自内譯簿
 - 三 共用器械及備品現在簿
 - 四 消耗品受拂簿 (郵便切手類ヲ除ク)
 - 五 郵便切手類受拂簿
- 第四十九條 第十條第二項ノ物品取扱主任ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ其受拂ヲ登記スヘシ

- 一 器械現在簿
 - 二 備品現在簿
 - 三 消耗品受拂簿
- 第五十條 郡役所ノ物品取扱主任ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ其受拂ヲ登記スヘシ
- 一 徵兵器器械現在簿
 - 二 徵兵器備品現在簿
 - 三 徵兵器消耗品受拂簿

第五章 計算書

第五十一條 物品會計官吏ハ物品會計規則第十五條及物品出納規程第十九條ニ依リ物品出納簿ニ證據書ヲ添ヘ年度經過后三ヶ月以内ニ知事ニ差出スヘシ

第六章 檢閲

第五十二條 物品會計官吏ハ既ニ交付シタル物品ノ保管及支消ニ關シ時々檢査ヲ爲スヘシ

第五十三條 物品會計官吏ハ貯藏ノ物品ヲ時々入記目錄物品出納簿ニ對照シテ其現在品ヲ點檢スヘシ
物品會計官吏ハ毎年二月、五月、八月、十月ニ於テ貯藏ノ物品及既ニ交付シタル器械備品圖書動物等ノ現在品全部ヲ物品出納簿其他ノ帳簿ノ現在高ト對查シ之レヲ點檢スヘシ

第五十四條 毎年度物品檢査員ヲ命シ物品會計官吏物品取扱主任ノ保管スル物品及各自ノ使用スル物品ノ全部ヲ檢査セシム

第五十五條 物品檢査員ハ物品會計官吏物品取扱主任其他物品出納若クハ保管ノ責アルモノヲシテ質問ニ對シ辨明ヲ求メ又ハ書面ヲ差出サシムルコトヲ得

第五十六條 物品檢査員ハ檢査ヲ終リタルトキ其狀況ヲ知事ニ具申スヘシ

附 則

第五十七條 在來品ニシテ第三條所定ノ品種ニ適合セサルモノアルトキハ當分代品トシテ之レヲ使用スヘシ

第五十八條 本細則ハ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス

愛知縣物品取扱細則附錄

第一 書式中命令官ノ區畫ヲ設ケアルモ取扱細則第八條規定外ニ係ル物品ノ出納ヲ爲ス場合ニ決裁ヲ受クヘキモノトス

第二 書式中請求者所屬課長ノ印トアルモノ及取扱細則第十五條課長トアルハ知事官房ニ於テハ上席書記トス

第三 帳簿ニハ單位ノ稱ニ一位ヲ記シ之ヲ數量ノ最下トナシ以テ登記スルヲ通常トス

第四 書式中用紙ヲ指定セサルモノハ適宜ノ用紙トス

第五 書式中△印ヲ付スルモノハ總テ朱字トス

第六 帳簿ニ依リ計算ニ關スル報告書ヲ作リタルトキハ彼是對照査算スヘシ

第七 計算ニ關スル報告書請求書及領收證書類ノ數量價格等誤記訂正ノ箇所ニハ必ス認印ヲ爲スヘシ

書 式 目 次

第一號	物品引繼濟報告書	全	取扱細則第十四條
第二號	受入傳票	全	第十六條
第三號	消耗品請求簿	全	第十七條
第四號	全 概算請求簿	全	第九條及第十七條

第五號	器械備品請求簿	全	第十七條
第六號	生産原料品請求簿	全	第三十三條
第七號	物品請求書	全	第十九條及第二十條
第八號	器械備品交付簿	全	第二十二條
第九號	物品領收證書	全	第二十條及第二十一條
第十號	返納簿	全	第二十七條
第十一號	返納書	全	第二十七條
第十二號	概算渡物品精算報告簿	全	第十八條
第十三號	郵便切手類精算報告書	全	第十八條
第十四號	拂出傳票	全	第三十四條第三十五條及第三十六條第三十七條
第十五號	不用物品報告書	全	第二十八條
第十六號	毀損亡失物品報告書	全	第二十八條
第十七號	専用器械備品各自内譯簿	全	第四十八條第三號
第十八號	共用器械備品現在簿	全	全第四十八條第四號及第四十九條第三號
第十九號	消耗品受拂簿	全	第四十八條第五號
第二十號	郵便電信切手類受拂簿	全	第四十九條第一號及第二號
第二十一號	器械備品現在簿	全	第五十條第一號第二號及第四十九條第八號
第二十二號	徵兵器器械備品現在簿	全	第五十條第三號
第二十三號	全 消耗品受拂簿	全	第四十七條第一號及第二號
第二十四號	器械備品出納内譯簿	全	

第二十五號	概算渡品整理簿	全	第四十九條第三號
第二十六號	毀損品書留簿	全	第四十九條第四號
第二十七號	修繕品書留簿	全	第四十九條第五號
第二十八號	遞送品書留簿	全	第四十九條第六號
第二十九號甲	器械備品臺帳	全	第四十九條第七號
第二十九號乙	圖書臺帳	全	
第三十號	貸出品書留簿	全	第四十九條第九號
(書式略ス)			

訓令第十五號

明治三十四年三月二十日

內務部
警察署

第五頁

警察署及全分署物品取扱細則左ノ通定ム

但明治三十一年六月第八十二號訓令警察署及全公署物品出納順序ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

愛知縣警察署警察分署物品取扱細則

第一條 遺失物理藏物犯罪者置去品囚人及ヒ刑事被告人押送規則ニ據リ警察官署ノ保管ニ屬ス可キ物品其他法律命令ニ依リ警察官署ニ於テ徵收若クハ沒收スル物品ノ會計ハ成規ニ御ヒ此細則ニ依リ取扱フ可シ

第二條 警察署及警察分署ニ各一人ノ物品會計官吏ヲ置キ其署長ヲ以テ之ニ充ツ

第三條 警察署警察分署ノ物品會計官吏ハ第一條ニ掲クル物品ノ出納及保管ノ責ニ任スルモノトス

第四條 第一條ニ掲クル物品ノ受入及拂出ハ物品會計官吏ヲシテ之ヲ專行セシム

第五條 領置轉入等物品ノ受入ヲ要スルトキハ物品會計官吏ニ於テ之ヲ受領シ一点毎ニ見積價格ヲ付シ受入傳票ヲ調製シ其數量價格等ヲ帳簿ニ記入スヘシ但受入傳票ハ屆書送付書其他ノ書類ヲ以テ代用スルモ妨ケナシ

前項保管轉換受入ニ係ル物品ノ價格ハ送付書等ニ記載スル價格ヲ費用スルモノトス

第六條 下付轉出等物品ノ拂出ヲ要スルトキハ物品會計官吏ニ於テ其當否ヲ調査シ正當ト認ムルモノハ拂出傳票ヲ調製シ之ヲ拂出シ受取人ノ領收證書ヲ徵シ其時々數量價格ヲ帳簿ニ記入ス可シ但シ價格ハ當初受入ノ價格ニ依ルモノトス

第七條 保管物品ノ所有權國庫ニ歸屬シタルトキハ沒收品ニ組換ノ爲メ相當口座ヲ拂出シ沒收品ノ口座ニ轉記ス可シ

第八條 囚人及刑事被告人押送規則ニ依リ押送者ニ託シテ物品ヲ押送スル場合ニ於テハ保管轉換ノ送付書ヲ調製シ物品ト共ニ該押送者ニ交付シ押送先ノ領收證書ヲ徵スルモノトス

第九條 領置ス可キ物品ハ年次番號及收得者等ノ氏名ヲ記シタル木札(厚紙ヲ用ユル)ヲ附着シ嚴重ニ之ヲ保管スヘシ

明治三十三年內務省訓令第三十號物品取扱規程第十四條ノ入記目錄ハ適宜ノ様式ニ依リ之ヲ調製ス可シ但塗札ノ類ヲ用ユルモ妨ケナシ

第十條 物品藏置所ハ倉庫又ハ堅固ナル鎖鑰付ノ戸棚若ハ長持トシ物品會計官吏若クハ物品會計官吏ノ委任シタル吏員ノ臨場アルニアラサレハ之ヲ開閉スルコトヲ得ス
物品藏置所鎖鑰ノ鍵ハ物品會計官吏之ヲ保管スルモノトス

第十一條 藏置ノ物品ハ毎月一回物品會計官吏出納簿及入記目録ニ照合シテ現在ヲ点檢ス可シ

第十二條 保管ノ責アルモノニ於テ物品ヲ亡失若シクハ毀損シタルトキハ其時々品目數量及亡失毀損シタル事實ヲ詳悉シタル顛末書ヲ作り警察部ヲ經由シ之ヲ内務部ニ差出ス可シ

直接保管ノ責ナキモノト雖モ物品ヲ亡失毀損シタルトキハ亦前項ニ準シ顛末書ヲ差出スヘシ

第十三條 前條ノ顛末書ハ内務部第五課ニ於テ審査シ知事ノ認定ヲ受ク可シ

第十四條 前條ノ場合ニ於テ若シ明治三十三年内務省訓令第三十號物品取扱規程第十五條第十六條ニ依リ辨償ノ責アルモノト認ムルトキハ其顛末ヲ詳細ニ取調ヘ辨償ノ方法ヲ具シ知事ノ裁可ヲ請フヘシ

第十五條 前條ニ依リ處分シタル場合ニ於テ第十二條第二項ニ該當スルモノヲシテ辨償セシメタルトキハ全條第一項直接保管ノ責アルモノハ其物品ニ對スル辨償ノ責ヲ免ル、コトヲ得

第十六條 第十二條ノ亡失毀損ニ係ル物品ハ第十三條若クハ第十四條ニヨリ顛末書ノ認定ヲ經クルトキ又ハ處分ノ確定シタルトキ其認定書若クハ命令書ニ依リ第六條ニ準シ手續ヲナスヘシ

第十七條 警察署警察分署ノ物品會計官吏ハ明治三十三年内務省訓令第三十號物品取扱規則第十條ノ様式ニ依リ保管物出納簿ヲ設ケ其出納ヲ整理スヘシ

前項ノ出納簿ハ拾得物埋藏物徵收物沒收品犯罪者置去品犯罪證據品留置者携帶品押送囚人及刑事被告人所持等ノ口座ヲ設ケ區分記載スヘシ

第十八條 警察署警察分署ノ物品會計官吏ハ年度經過后三ヶ月以内ニ一年度間ニ執行シタル物品出納ニ關スル證憑書類ヲ整理シ縣廳ニ差出ス可シ

物品會計官吏交替ヲナシタルトキ前任官吏ハ交替後六十日以内ニ其在職期限間ニ執行シタル物品出納ニ關スル書憑書類ヲ整理シ縣廳ニ差出スヘシ

附 則

第十九條本細則ハ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス

◎ 縣ノ財務

明治三十二年九月四日

訓令第五十六號

内務部 警察部 警察署 警察分署 警察署 警察分署 警察署 警察分署 警察署 警察分署

監獄署 監獄分署 監獄署 監獄分署 監獄署 監獄分署 監獄署 監獄分署

農事試驗場 農事試驗場 農事試驗場 農事試驗場 農事試驗場 農事試驗場 農事試驗場 農事試驗場

水産試驗場 水産試驗場 水産試驗場 水産試驗場 水産試驗場 水産試驗場 水産試驗場 水産試驗場

縣立病院 縣立病院 縣立病院 縣立病院 縣立病院 縣立病院 縣立病院 縣立病院

博立物館 博立物館 博立物館 博立物館 博立物館 博立物館 博立物館 博立物館

測候所 測候所 測候所 測候所 測候所 測候所 測候所 測候所

疆域院 疆域院 疆域院 疆域院 疆域院 疆域院 疆域院 疆域院

類集第八頁
差看

縣經濟ノ支辨ニ屬スル俸給支給規則左ノ通定ム

但明治二十六年三月第四十六號訓令縣稅及特別經濟ノ支辨ニ屬スル備員俸給支給概則ハ之ヲ廢止ス

縣經濟ノ支辨ニ屬スル俸給支給規則

第一條 俸給ノ支給ハ別ニ規程アルモノヲ除ク外總テ此規則ニ依ル

第二條 年俸月俸ハ任用及増俸減俸トモ總テ發令ノ翌日ヨリ又他ヘ轉任ノトキハ發令當日迄ノ日數ニ依リ日割ヲ以テ支給ス

第三條 日給ハ總テ勤務日數ニ依リ支給ス

休日及職務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ欠勤スル日數ハ前項勤務日數ニ算入ス

第四條 年俸ハ年額ヲ十二分シ其月額ヲ又月俸ハ其月分ヲ各毎月二十一日ヨリ末日迄ノ間ニ於テ之ヲ支給ス但外國ヘ派遣ヲ命シタル者ニ對スル俸給ハ四箇月分以內前渡ヲ爲スコトヲ得(三三三訓四三但書追加)

第五條 日給ハ前月二十五日ヨリ毎年四月ニ限リ四月一日ヨリ其月二十四日迄ノ給料ヲ毎月二十五日ヨリ末又就職ノ月ハ就職ノ日ヨリ日迄ノ間ニ於テ之ヲ支給シ毎年三月二十五日ヨリ末日迄ノ給料ハ四月ニ於テ支給ス但第六條第七條ニ規定スルモノハ此限ニアラス

第六條 退職及死亡ノ月ニ在テハ年俸ハ其當月分ノ月額又月俸ハ其當月分ノ全額ヲ支給ス但第八條減給ノ場合ニ於テハ其額ニ依ル

第七條 退職ノ者舊事務取調ノ爲特ニ出務セシムルトキハ其間從前ノ俸給額ニ依リ月割ヲ以テ支給ス但年俸月俸ヲ受クルモノニシテ退職セシ月ニ在テハ支給ノ限ニアラス

第八條 年俸月俸ハ病氣ノ爲執務セサルコト六十日ヲ踰ユル者及私事ノ故障ニ依リ執務セサルコト二十日ヲ踰ユル者ハ日割ヲ以テ俸給ノ半額ヲ減ス但職務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ服忌ヲ受ケタルモノハ此限ニアラス

第九條 俸給支給上日割計算ヲ要スルトキハ年俸ハ其月額ニ月俸ハ其月分ノ俸給額ニ給與スヘキ日數ヲ乘シ其月ノ現日數ヲ以テ除ス但俸給支給上厘位未滿ノ端數ハ之ヲ切捨トス

訓令第六十三號

明治三十二年十月十一日

- 內務部
- 警察署
- 監獄署
- 郡役所
- 警察署
- 警察分署
- 監獄支署
- 縣立學校
- 農事試驗場
- 水産試驗場
- 縣立病院
- 測候所
- 驅痘種繼所

縣有財產管理規則第二條ニ依ル縣有財產ノ臺帳調製規程左ノ通定ム但明治二十年一月二十九日訓令地方稅ニ係ル財產明細表調製ノ件ハ廢止ス

縣有財產臺帳調製規程

第一條 縣有財產管理規則第二條ニ依ル縣有財產中土地建物船舶及其附屬物ノ臺帳ハ此規程ニ依リ處理スルモノトス

第二條 臺帳ハ正本原本ノ二種トシ別紙第一號第二號ノ式ニ依リ調製シ其正本ハ第三號式ノ實測圖ト共ニ內務部第一課ニ於テ之ヲ保管スヘシ

第三條 左ニ掲グル麻長ハ主管ニ屬スル財產臺帳ノ原本ヲ調製シ實測圖ト共ニ保管スヘシ

- 監獄署長
- 郡長
- 縣立學校長
- 農事試驗場長
- 水產試驗場長
- 警察署長
- 同分署長
- 監獄支署長
- 縣立病院長
- 驅微院長
- 測候所長
- 牛痘種繼所長

前項ノ各麻長ハ臺帳原本調製後主管ニ屬スル物件ノ新設若ハ異動ヲ生シタルトキハ臺帳ノ原本ヲ訂正シ其訂正ノ部分ハ實測圖ヲ添ヘ即時內務部長ニ報告スヘシ但警察署長同分署長監獄支署長ヨリ報告スルモノハ各其主管部署長ヲ經由スヘシ

第四條 內務部第二課ニ於テハ左ノ建物ニ關シ新設若ハ異動ヲ生シタルトキハ其實測圖ヲ添ヘ即時內務部第一課ニ通知スヘシ(三三訓七八本條第五號削除)

- 一 縣廳舍及附屬建物
- 一 警察部及附屬建物
- 一 縣會議事堂及附屬建物
- 一 博物館及附屬建物

第五條 內務部第六課ニ於テハ熱田海築港事務所及附屬建物ノ新設若ハ異動ヲ生シタルトキハ其實測圖ヲ添ヘ即時內務部第一課ニ通知スヘシ(三三訓七八追加)

第六條 內務部各課ニ於テハ主管ニ屬スル土地船舶及其附屬物ノ新設若ハ異動ヲ生シタルトキハ其實測圖ヲ添ヘ即時內務部第一課ニ通知スヘシ

第七條 內務部第一課ニ於テハ第三條乃至第六條ニ依リ財產臺帳ノ變更ニ關スル告知ヲ受ケタルトキハ速ニ臺帳ノ正本及實測圖ノ訂正ヲ爲スヘシ(三三訓七八改正)

附則

第八條 此規程實施ニ際シ調製スル臺帳ハ明治三十二年十月一日現在ノ物件ニ依ルヘシ前項臺帳ノ原本及實測圖ハ明治三十二年十一月一日迄ニ其寫ヲ調製シ縣廳ニ差出スヘシ

第九條 第四條列舉ノ建物及其土地並第五條ノ物件ニシテ明治三十二年十月一日現存ノモノハ其現在ニ依リ各關係課ニ於テ實測圖ヲ調製シ明治三十二年十一月一日迄ニ內務部第一課ニ送付スヘシ

第一號

何	學	校	敷	地
何國何郡何市町村 何字何番地 反別何反何步 元地價何程 同國同郡同市町村 同字何番地 反別何反何步 元地價何程 合計反別何反何步 元地價何程 右實測反別 何反何畝步 (別紙第何號圖ノ通)				
摘要				
一 明治何年何月何日何縣何郡何村何 某ヨリ代價金何程ニテ買受ク				

備考

- 一 各麻ニ於テ臺帳ノ原本ヲ調製スルニ際シ摘要事項ノ明瞭ナラサルモノハ其旨付箋ヲ爲シ置キ追テ内務部ヨリノ通知ニ依リ記入スヘシ
- 二 圖面ハ總テ一間ヲ曲尺三分ニ縮寫シ實測ニ際シ九十度ノ角度即チ三四五ヲ振リタル箇所ヘハ「ノ符號ヲ附スヘシ
- 三 敷地中借地及貸地アル者ハ便宜線ヲ施シ其區分ヲ明ラカニスヘシ
- 四 圖面ニシテ一間ヲ曲尺三分ニ縮寫シ難キモノハ縮尺ノ尺度ヲ示スヘシ

第二號

何	郡	役	所
何郡何村何番地ニ建設 木造二階建 此建坪何程	一棟		
附屬倉庫 此建坪何種	二棟		
厠 此建坪何程	一棟		
渡廊下 此建坪何程	一棟		
合計建坪何程 (別紙第何號ノ圖ノ通)			
摘要			
一 明治何年何月何日工事金何圓ヲ以テ建築ス			

物	建	何間
外板塀	何間	
柵	何間	
井	何箇所(屋形ナ)	
門	何箇所(キモノ)	
	何箇所(全上)	

備考

- 一 建物ハ其棟ヲ異ニスル毎ニ建坪ヲ測定スヘシ
 - 二 圖面ニハ建物ノ使用例ハ事務室應接所ノ類ヲ明記スヘシ
 - 三 建物ハ總テ外圍ニ依リ測定シ圖面ニハ總テ一間ヲ曲尺三分ニ縮寫シ且建物ノ位置ハ敷地ノ那邊ニアルヤチ明ラカニスル爲ニ接近ノ土地境界線ヨリ其距離ヲ示スヘシ
 - 四 各階ニ於テ臺帳ノ原本ヲ調製スルニ際シ摘要事項ノ明瞭ナラサルモノハ其旨付箋ヲ爲シ置キ追テ内務部ヨリノ通知ニヨリ記入スヘシ
 - 五 二階建ノ圖面ハ便宜符合ヲ付シ其建物中那邊カ二階建ナルカチ明示シ別圖ニ二階ノ間取リヲ示スヘシ
 - 六 船舶ノ臺帳モ此式ニ依ルヘシ
 - 七 圖面ニシテ一間ヲ曲尺三分ニ縮寫シ難キモノハ縮尺ノ尺度ヲ示スヘシ
- (第三號式器ス)

第二百六十七號 (訓令)

明治三十二年十一月七日

内務部

府縣制第九十五條ニヨリ營繕工事ノ爲メ設置スル縣吏員退職給與金遺族扶助料支給規定左ノ通定ム

縣吏員退職給與金遺族扶助料支給規定

- 第一條 營繕工事ノ爲設置スル縣吏員ニ對スル退職給與金及遺族扶助料ヲ給與ス
- 第二條 前條給與金ノ支給ハ熱田灣築港工事ノ爲メ設置シタル縣吏員ノ例ニ依ル

訓令第七十六號

明治三十二年十一月二十九日

内務部
警察部
郡役所
警察署
同分署

明治三十年^{十二}訓令第八十三號檢疫委員旅費支給規程左ノ通改正明治三十二年十一月十五日ヨリ施行ス

檢疫委員及檢疫係員旅費支給規程(三三訓七七)

- 第一條 檢疫委員及檢疫係員ノ旅費ハ左ノ區別ニ依リ別表ノ額ヲ支給ス(三三訓七七改正)
- 一等旅費ヲ支給スル者
- 奏任官及奏任待遇ノ者
- 縣立病院職員ニシテ俸給若ハ手當月額百圓以上ノ者及民間ヨリ採用ノ醫學士

- 二等旅費ヲ支給スル者
- 縣廳在勤ノ判任官及技術員
- 縣立病院驅煤院職員ニシテ俸給若ハ平常月額百圓未満ノ者
- 縣廳所在地ニ於テ民間ヨリ採用ノ者
- 三等旅費ヲ支給スル者
- 市郡在勤ノ判任官及技術員各郡ニ於テ民間ヨリ採用ノ者
- 四等旅費ヲ支給スル者

巡查

- 第二條 三等旅費ヲ受クル者市外及郡外ノ旅費ハ二等旅費ヲ支給ス(三三三訓五但書削除)
- 第三條 瀛車檢疫ノ爲メ無賃乘車ノ場合ハ瀛車賃ヲ支給セス
- 第四條 在勤廳又ハ勤務所所在地ノ出張ハ宿泊料ノミ支給シ日當ハ之レヲ支給セス
- 第五條 左記市町村間ノ出張ハ一市町村内ノ例ニ據ル(三三三訓四四追加)
- 一名古屋市及愛知停車場
- 一豊橋町及豊橋停車場
- 一蟹江町及蟹江停車場
- 一彌富村及彌富停車場
- 第六條 檢疫委員及檢疫係員ヲ設置スルモ其事務所ヲ設置セサル場合旅費ノ起算方左ノ如シ(三三三訓七七追加)
- 一在官及在職中ノ者ハ各在勤廳ヨリ計算ス
- 一民間ヨリ採用ノ者ハ一定ノ勤務所ヨリ計算ス

第七條 本規程ニ定ムルモノ、外ハ明治三十年勅令第三百三十三號内國旅費規則ニ據ル(別表)

等	級	瀛車賃 _{二付}	船賃 _{一海里} _{二付}	車馬賃 _{一里} _{二付}	宿泊料 _{一夜} _{二付}	日當 _{一日} _{二付}
一	等	五錢	五錢	貳拾錢	壹圓五拾錢	壹圓
二	等	四錢	四錢	拾五錢	壹圓	五拾錢
三	等	參錢	參錢五厘	拾參錢	七拾錢	四拾錢
四	等	貳錢五厘	參錢	拾貳錢	五拾錢	貳拾五錢

第二百八十八號 (訓令)

明治三十二年十二月五日

內務部

縣會議員名譽職參事會費用辨償額并支給規定市部會及郡部會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ左ノ通定ム

(市部)縣會議員名譽職參事會費用辨償規定

第一條 縣會議員名譽職參事會員ニハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償トシテ左ノ金額ヲ支給ス(三三三訓五六改正)

- 一 縣會議員 年額 金百貳拾圓
- 二 名譽職參事會員 月額 金參拾圓

縣ノ財務

第二條 費用辨償ノ年額ハ之ヲ二分シ四月ヨリ九月マテノ分ヲ通常會開會中ニ十月ヨリ三月マテノ分ヲ三月ニ支給シ其月額ハ毎月三十一日ヨリ末日マテノ間ニ於テ之ヲ支給ス

第三條 就職退職ノ場合ニ於ケル費用辨償ノ年額ハ月數ニ月額ハ日數ニ應シ之ヲ支給ス

第四條 名譽職參事會員ニシテ議員ノ職務ニ從事スルモ第一條第一號ノ年額ハ之ヲ支給セス補充員又ハ議員ニシテ臨時名譽職參事會員ノ職務ニ從事シタルトキハ其日數ニ應シ第一條第二號ノ月額ヲ支給ス但其職務中ハ第一條第一號ノ年額ハ日割ヲ以テ之ヲ扣除スルモノトス

第五條 縣會議員及名譽職參事會員招集ノ爲會場ニ往復スルトキハ旅行費用トシテ左ノ區別ニ依リ之ヲ支給ス

一 瀛車賃 一哩ニ付 金 四 錢
一 車馬賃 一里ニ付 金 拾 八 錢

一 旅行手當 參會一日ニ付 金 壹 圓
歸路一日ニ付 金 壹 圓

前項旅行手當ハ瀛車二百哩陸路十二里ヲ以テ一日ノ行程トシ其數種ノ旅行相跨ルトキハ各其路程十二分ノ一ヲ一時間ノ行程トシテ一日ノ旅行ヲ十二時間トシ之ヲ支給ス但通常上ヨリ生スル一日未滿ノ端數ハ切捨トス

第六條 旅行費中行程ニ應シ其費用ヲ支給スルモノハ總テ順路ニ依リ之ヲ計算ス但シ水路旅行ハ陸路ノ里程ニ換算スルモノトス

第七條 名譽職參事會員職務ノ爲旅行ヲ要スルトキハ縣經濟ノ支辨ニ屬スル旅費支給規則ニ定ムル方法ニ依リ其支給額ハ全規則第一條第一級ノ旅費額ニ依ル

附 則 (三三訓五六追加)

第八條 明治三十三年度ニ於ケル費用辨償額ハ左ノ金額ニ依ル

一 縣會議員	年 額	金 九 拾 五 圓	四月ヨリ九月マテノ分金壹拾五圓 十月ヨリ三月マテノ分金六拾圓
二 名譽職參事會員	月 額	九 月 分 十 圓 十 月 分 十 圓	九月分マテハ金貳拾圓 十月分ヨリ金壹拾圓

第一條 (郡部)縣會議員名譽職參事會員費用辨償規定
六改正)

一 縣會議員 年 額 金 百 五 拾 圓
二 名譽職參事會員 月 額 金 四 拾 圓

第二條 費用辨償ノ年額ハ之ヲ二分シ四月ヨリ九月マテノ分ヲ通常會開會中ニ十月ヨリ三月マテノ分ヲ三月ニ支給シ其月額ハ毎月二十一日ヨリ末日マテノ間ニ於テ之ヲ支給ス

第三條 就職退職ノ場合ニ於ケル費用辨償ノ年額ハ月數ニ應シ月額ハ日數ニ應シ之ヲ支給ス但名譽職參事會員就職退職ノ場合ニ於テハ費用辨償ノ年額ハ日數ニ應シ之ヲ支給スルモノトス

第四條 名譽職參事會員ニシテ議員ノ職務ニ從事スルモ第一條第一號ノ年額ハ之ヲ支給セス補充員又ハ議員ニシテ臨時名譽職參事會員ノ職務ニ從事シタルトキハ其日數ニ應シ第一條第二號ノ月額ヲ支給ス但其職務中ハ第一條第一號ノ年額ハ日割ヲ以テ之ヲ扣除スルモノトス

第五條 縣會議員及名譽職參事會員招集ノ爲會場ニ往復スルトキハ旅行費用トシテ左ノ區別ニ依リ之ヲ支給ス

一 瀛車賃	一哩ニ付	金 四 錢
一 車馬賃	一里ニ付	金 拾 八 錢
一 旅行手當	參會一日ニ付	金 壹 圓
	歸路一日ニ付	金 壹 圓

前項旅行手當ハ汽車二百哩陸路十二里ヲ以テ一日ノ行程トシ其數種ノ旅行相跨ルトキハ各其路程十二分ノ一ヲ一時間ノ行程トシテ一日ノ旅行ヲ十二時間トシ之ヲ支給ス但通算上ヨリ生スル一日末滿ノ端數ハ切捨トス

第六條 旅行費中行程ニ應シ其費用ヲ支給スルモノハ總テ順路ニ依リ之ヲ計算ス但水路旅行ハ陸路ノ里程ニ換算スルモノトス

第七條 名譽職參事會員職務ノ爲旅行ヲ要スルトキハ縣經濟ノ支辨ニ屬スル旅費支給規則ニ定ムル方法ニ依リ其支給額ハ同規則第一條第一級ノ旅費額ニ依ル

附 則(三三訓五六追加)

第八條 明治三十三年度ニ於ケル費用辨償額ハ左ノ金額ニ依ル

- 一 縣會議員 年額 金百貳拾五圓 四月ヨリ九月マテノ分金五拾圓 十月ヨリ三月マテノ分金七拾五圓
- 二 名譽職參事會員 月額 九月分マテハ金參拾圓 十月分ヨリハ金四拾圓

縣令第九十四號

明治三十二年十二月十八日

明治二十九年法律第三十三號營業稅法ニ依ル營業者ニシテ本縣名古屋市ヲ除ク他府縣トニ涉リ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ且本稅ヲ分別シテ納メサル者ハ左ノ區別ニ依リ營業所々在地ヲ管轄スル郡役所ニ届出ヘシ

一 新ニ營業ヲ開始シタル者ハ其届書ニ營業名及營業所所在地他府縣ニ設置モノトモ並納稅地ヲ記載シ營業開始ノ日ヨリ七日以内

二 納稅者又ハ納稅地ノ變更及營業所ノ移轉、増減若ハ營業廢止ハ異動ノ生シタル日ヨリ十日以内

三 本令施行前ヨリ繼續シテ營業ヲ爲ス者ハ其届書ニ第一號ニ掲クル要件ヲ記載シ明治三十一年十月

二月二十五日迄

訓令第七十八號

明治三十二年十二月十八日

郡 役 所

明治三十二年十二月十八日 縣令第九十四號ニ依リ營業者ヨリ届書ヲ受ケタルトキハ三日以内ニ京申シ指揮ヲ得テ縣稅營業稅附加稅徵收ノ手續ヲ爲スヘシ

訓令第八十號

明治三十二年十二月十八日

内務部 警察署 監獄署 郡役所 警察署 監獄署 農事試驗場 水産試驗場 縣立醫院 博覽會場 測候所 牛痘種繼所

明治二十八年十月訓令第八十八號縣ノ經濟ニ屬スル工事受負及物件賣買貸借修繕規程中左ノ通追加ス

類集中一六
六頁參看

第三十五條中農事試驗場ノ下ニ水産試驗場ノ五字ヲ追加ス
第四十九條第三號ノ次ニ左ノ通追加ス
四會計規則第五十二條乙ノ場合ナルトキハ競争ニ付シ難キ特殊ノ事由ヲ詳具シ其指名入札ヲ爲サシムヘキ當業者ヲ選ビ知事ノ決裁ヲ受クヘシ
指名入札ハ第三十七條乃至第四十八條ノ規定ヲ準用ス

縣令第四號

明治三十三年一月十五日

明治三十二年^三縣令第二十六號公立中學校公立實業學校及公立高等女學校職員俸給旅費並諸給與規則
第四條中「翌日」トアルヲ「翌月」ニ改ム

類集中五〇
〇頁參看

縣令第二十六號

明治三十三年三月十九日

明治三十二年^三縣令第二十六號公立中學校公立實業學校及公立高等女學校職員俸給旅費並諸給與規則
第十一條中流車賃一哩ニ付縣外委任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者「四錢」トアルヲ「五錢」ニ同判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル者「參錢」トアルヲ「四錢」ニ改メ本年四月一日ヨリ施行ス

縣令第七號

明治三十三年一月二十二日

明治三十三年勅令第三百十六號第二條ニヨリ市部會ノ議決ヲ經市部ニ屬スル部分ヨリ徴收スヘキ縣稅ハ之ヲ名古屋市ニ分賦ス

訓令第四號

明治三十三年一月二十二日

內務部
警察部

類集中四八
五頁參看

明治三十二年^二訓令第六號縣經濟ノ支辨ニ屬スル旅費支給規則第二條中左ノ通改正シ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス
第一號中一級旅費ヲ受クル者ニ在テハノ下「流車賃ハ一哩ニ付四錢其他ハ」ノ十三字ヲ削除ス
第二號中二級旅費ヲ受クル者ニ在テハノ下「流車賃ハ一哩ニ付三錢其他ハ」ノ十三字ヲ削除ス

第十二號 (訓令)

明治三十三年一月二十六日

名譽職員費用辨償規定左ノ通定ム

內務部

名譽職員辨償規定

第一條 名譽職員ニハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償トシテ一日ニ付金貳圓ヲ支給ス(三三訓二三〇改正)

第二條 名譽職員職務ノ爲旅行スルトキハ汽車賃車馬賃船賃ヲ支給ス
前項ノ支給方法ハ縣經濟ノ支辨ニ屬スル旅費支給規則ニ定ムル方法ニ依リ其支給額ハ同規則第一條第一級ノ旅費額ニ依ル

縣令第十一號

明治三十三年一月二十九日

明治三十年八月縣令第四十九號縣ノ支出ニ充ツヘキ縣稅市部郡部分賦並ニ收入割合規定第一條中縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ左ノ通改正ス

財產費ノ次ハ「作業費」ノ一項ヲ加フ

土木費ノ分賦率熱田港灣浚渫費ノ下ハ「武豐港測量費武豐港浚渫費」ヲ加フ

土木費ノ分賦率ハ「堀川浚渫費ニ關スルモノハ市部ハ千分ノ三百六十七郡部ハ千分ノ六百三十三ヲ以テ率トス」ヲ加フ

縣債費ノ分賦率ハ「第二師範學校、第三中學校建築費及第二師範學校第三第四中學校ノ設備ニ要スルモノハ人口ヲ以テ率トス」ヲ加フ

縣令第四十七號

明治三十三年四月三十日

府縣制第六十八條第二ニ依リ縣參事會ノ議決ヲ經明治三十二年勅令第二百八十五號第五條ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ得明治三十年八月縣令第四十九號縣ノ支出ニ充ツヘキ縣稅市部郡部分賦並ニ收入割合規定

第一條 中作業費ノ次ハ左ノ一項ヲ追加ス
土地收用審査費

第三十七號 (訓令)

明治三十三年二月十六日

內務部

明治三十二年三月第九十一號 地方衛生會員農工商諸同會員ニ手當支給ノ件 左ノ通改正ス

一 第一項中地方衛生會員ノ下ハ左ノ如ク追加ス
「地方森林會議員 國庫ヨリ條給ヲ受ケルモノヲ除ク」

一支給額規定中農商工諮問會員ノ上ハ「地方森林會議員」ノ七字ヲ追加ス

縣令第二十五號

明治三十三年三月十九日

明治三十年八月縣令第六十三號席貸茶屋娼妓賦金徵收規則左ノ通改正シ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

賦金徵收規則

第一條 席貸茶屋及娼妓ノ賦金ハ毎月一日現在ノ營業者ニ賦課ス
賦課期日後新ニ席貸茶屋又ハ娼妓ノ營業ヲ開始シタル者ノ賦金ハ其業開始ノトキ之ヲ賦課ス

第二條 前條第一項ニ依リ賦課スル賦金ノ等級各等級ニ屬スル營業者ノ員數及其金額左ノ如シ
前項各等級ニ屬スル營業者ノ員數ハ營業停止若ハ休業ノ命令ヲ受ケタル者及營業停止若ハ休業命令ヲ解除ヲ受ケサル者及新ニ營業ヲ開始シタル者ヲ除キ等級ノ高キモノヨリ先ツ規定ノ員數ヲ滿タシ

類集中西三
〇頁參看

類集中西三
〇頁參看

類集中西九
九頁參看

類集中西三
三頁參看

娼 三 十 一人ニ付 月額 參圓
 娼 三 十 一人ニ付 月額 參圓
 娼 三 十 一人ニ付 月額 參圓
 娼 三 十 一人ニ付 月額 參圓

第三條 前條各等級ノ員數ニ對スル營業者ノ指定ハ營業區域内毎ニ其營業者ニ於テ第十二條第一項ノ徵收期限ヨリ少クトモ二十五日前ニ之ヲ協議決定スヘシ其變更ヲ爲ストキ亦同シ

第四條 前條ノ決定又ハ届出ヲ規定ノ期日内ニ爲サ、ルトキハ郡市長ニ於テ之ヲ決定ス

第五條 第一條第二項ノ場合ニ於テ營業停止若ハ休業ノ命令ヲ受ケタル者及營業停止若ハ休業命令ノ解除ヲ受ケサル者ニ賦課スル賦金ハ其月分ニ限リ最近ノ賦課額ニ依ル

第六條 第一條第二項ニ依リ賦課スル賦金ハ其月分ニ限リ其營業區域内ニ於ケル最下級ノ額ニ依リ其月十五日以前ニ係ルモノハ全額十六日以後ニ係ルモノハ半額トス

第七條 營業者廢業スルトキ其廢業ノ月ニ於ケル賦金ハ規定ノ全額ヲ徵收ス

第八條 營業者他ノ營業區域内へ移轉スルトキ其移轉ノ月ニ於ケル賦金ハ從前ノ營業地ニ於テ其全額ヲ徵收ス

第九條 前二條ノ場合ニ於テ賦課額ノ確定セサル者ハ最近ノ賦課額ニ依ル

第十條 席貸茶屋ノ營業ヲ承繼シ又ハ營業承繼ト認ムヘキ事實アルトキハ其月分ノ賦金ハ前營業者ノ等級ニ依リ現ニ營業スル者ヨリ之ヲ徵收ス

第十一條 賦金ハ郡市長之ヲ徵收ス

第十二條 賦金ハ翌月十日限之ヲ徵收ス但徵收期日休假日ナルトキハ其前日ヲ以テ期日トス

第五條乃至第八條ニ依ル賦金ノ徵收期日ハ郡市長ニ於テ納入告知書ニ指定シタル期日ニ依ル

第十三條 郡市長ハ賦金ヲ徵收セントスルトキハ納入ニ對シ其納金額納期日及納付場所ヲ記載シタル納入告知書ヲ發スヘシ但納入ヨリ總代人ヲ定メテ届出タルトキハ其總代人ニ對シ納入告知書ヲ發スルコトヲ得

第十四條 納入ニ於テ納入告知書ヲ受ケタルトキハ現金ニ納入告知書ヲ添ヘ之ヲ指定ノ縣金庫ニ納付スヘシ

第十五條 納期ヲ過キ賦金ヲ納メサル者アルトキハ郡市長ニ於テ營業停止ヲ命スヘシ

第十六條 娼妓死亡シタルトキハ其未納ニ係ル賦金ヲ免除ス

娼妓身体検査規則ニ依リ驅微院ニ入院又ハ休業ヲ命セラレタル娼妓ノ賦金ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ免除ス

一 入院又ハ休業ノ日數一箇月中二十日以上ニ涉ル者ハ全額

二 入院又ハ休業ノ日數一箇月中十五日以上ニ涉ル者ハ半額

第十七條 災害又ハ疾病ニ罹リ賦金ヲ納付シ難キ者ニ對シテハ出願ニ依リ特ニ減免又ハ徵收ノ猶豫ヲ爲スコトアルヘシ

額中五二
頁參五

縣令第二十七號 明治三十三年三月十九日
 明治三十二年四月 縣令第四十三號 師範學校生徒學費支給方法左ノ通改正ス

附 則

第十八條 明治三十三年三月分ノ賦金ノ徵收期限ハ四月十日限トス

訓令第十四號

明治三十三年三月二十日

内務部
名古屋市役所
愛知郡役所
額田郡役所
渥美郡役所
門前町警察署
熱田警察署
岡崎警察署
豐橋警察署
驅橋警察院

類集中西三五頁参照

明治三十年^{十二}月訓令第八十六號賦金徴收規則取扱手續中左ノ通改正シ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

第二條中第四條トアルヲ「第三條」ト改ム

第四條ニ左ノ但書ヲ加フ

但規則第七條第八條ニ依リ徴收スル賦金ノ納入告知書ハ第一條ノ通報ニ基キ直ニ發付スヘシ

第五條 削除

第九條中第十四條トアルヲ「第十七條」ト改ム

第十條中「督促令狀及」ノ五字及督促令狀様式ヲ削除シ營業停止命令書様式中第十一條トアルヲ「第十

五條」ト改ム

第八十五號 (訓令)

明治三十三年三月二十四日

内務部
警察部
警察署

明治三十一年^三月訓令第一百五號巡查給與品及貸與品細則中左ノ通改正來四月一日ヨリ施行ス

第一條中下襟及靴下ノ二項ヲ削除ス

第四條中下襟ノ行三個ノ三ヲ各六靴下ノ行六足ノ六ヲ各十二ト改ム

第二百七十九號 (訓令) 明治三十三年十一月九日

内務部
警察部
警察署

明治三十一年^三月訓令第一百五號巡查給與品及貸與品細則中左ノ通改正ス

第九條 代料下付金ハ新任其他異動ノ場合ニ限リ月割ヲ以テ支給又ハ返納セシム其異動當月ニ對スル給與等ノ計算法左ノ如シ

- 一 新任及復職者十五日前ニ發令ノ者ハ全月分十六日後ニ係ル者ハ半月分ヲ給ス
- 一 經濟異ナル部署間ノ詰替者十五日前ニ發令ノトキハ十六日後ニ對スル半月分ヲ新任ノ部署ニ於

同上

類集中西四五頁参照

- テ支給シ十六日後ニ係ルトキハ支給セズ
- 一 退職、休職、轉職、轉任、死亡、經濟異ナル部署間ノ詰替、他府縣へ出向者十五日前ニ發令又ハ死亡ノ者ハ半月分ヲ返納シ十六日後ニ係ル者ハ返納ヲ要セス

第八十八號 (訓令)

明治三十三年三月二十四日

內務部
警察部
警察分署

明治三十三年三月訓令第七十五號巡查手當支給規程左ノ通更正來ル四月一日ヨリ施行ス
巡查手當支給規程

通常手當

- 第一條 通常手當ハ夜勤辦當料及武術用具費並宿所家賃、全備品費、全消耗品費等ニ充ル爲メ左ノ區別ニ依リ別表ノ額ヲ支給ス(三三訓二八〇改正)
- 但官舎又ハ自宅居住ノモノハ其半額ヲ給ス
- 一 等月額ヲ受クル者 特別教習生(郡ヨリ撰拔ノ者ニハ甲月額市ヨリ撰拔ノ者ニハ乙月額)
- 二 等月額ヲ受クル者 巡查部長
- 三 等月額ヲ受クル者 外勤巡查
- 四 等月額ヲ受クル者 內勤、特務、刑事、英語教習生、請願巡查、職務所屬未定巡查(三四訓八一改正)

類集申四九
二頁參看

第二條 駐在巡查欠員ノ場合ニ當リ他ノ巡查ヲシテ補勤セシムルトキハ相當ノ手當ヲ支給スルコトヲ得(三四訓八一)

從前ノ第六條ヲ三條トシ以下順次操下ケ(本條ヨリ以下操下ケアリ)

第三條 外勤巡查月手當ノ内ヲ以テ名古屋市在勤ノ者ハ宿所点燈用具費及点燈用消耗品費郡部在勤ノ者ハ宿所備品ノ保存費及消耗品費ヲ支辨スヘキモノトス

第四條 月手當ハ警察署長ニ於テ必要ト認ムルトキハ警察部長へ稟議ノ上支給額ヲ増減スルコトヲ得(三四訓八一改正)

第五條 月手當ハ毎月末日ヲ以テ支給ノ定日トス第五條第二項以下ノ場合ハ定日ニ拘ハラス其時々支給ス但支給定日休暇ニ當ルトキハ繰上ケトス

第六條 左ニ掲クル場合ハ日割ヲ以テ支給ス

- 一 新任及職務轉換ノ者ハ任命ノ翌日ヨリ支給ス
- 二 退職、休職、轉任、轉署(本分署間ノ詰替ハ包含セズ)及他府縣へ出向ノ者ハ其辭令接授ノ日迄ヲ支給ス
- 三 死亡者ハ其當日迄ヲ支給ス

第七條 日割計算法ハ月手當額ニ支給日數ヲ乘シ其月ノ現日數ヲ以テ之ヲ除シ若シ厘位未滿ニ端數ヲ生スルトキハ毛位ニ於テ四捨五入スルモノトス

但職務轉換ノ際ハ前職ニ對スル分ト後職ニ屬スル分ノ各毛系忽微迄ヲ併算シ仍ホ生スル毛位ハ四捨五入ス

特別手當

- 第八條 特別手當ハ刑事專務、英語卒業ノ巡查及會計主任者ニ給ス(三四訓八一改正)
- 第九條 特別手當ハ月額ヲ以テ別表ノ額ヲ支給ス

第十條 特別手當ハ警部長ニ於テ必要ト認ムルトキハ支給額ヲ増減スルコトヲ得
 第十一條 支給方ハ本規程第四條乃至第七條ニ據ル(三四訓八一改正)
 (別表)

手當支給月額(三四訓八一改正)

當手別	通 常 手 當		特 別	當 手	名 古 屋 市 各 郡
	一 等	二 等			
會計主任者	甲 四圓七拾錢 乙 貳圓五拾錢	貳 圓	刑事巡查	五 圓	警察署
英語卒業巡查	乙 貳圓五拾錢	貳 圓	英語卒業巡查	貳 圓	警察署
四 等	壹 圓 五 拾 錢	貳 圓 參 拾 錢	四 等	壹 圓 八 拾 錢	警察署
三 等	壹 圓 參 拾 錢	貳 圓 五 錢	三 等	壹 圓 六 拾 錢	警察署
二 等	壹 圓 八 拾 五 錢	壹 圓 八 拾 五 錢	二 等	壹 圓 參 拾 五 錢	警察署
一 等	壹 圓 八 拾 五 錢	壹 圓 參 拾 五 錢	一 等	壹 圓 參 拾 五 錢	警察署
分署	壹圓八拾錢	壹圓五拾錢	分署	壹圓八拾錢	警察署
分署	壹圓	壹圓五拾錢	分署	壹圓	警察署

第九十號 (訓令)

明治三十三年三月二十四日

内務部
警察部
警察署
全分署

續集第四四九頁參看

明治三十一年三月訓令第八號俸給及雜給支給規程中左ノ通改正追加來ル四月一日ヨリ施行ス
 俸給及雜給支給規程

第一條 巡查、警察及衛生技手、教授、通譯、警察書記ノ俸給並諸備給等ハ他ノ例規ニ據ルノ外仍ホ本規程ニ依リ支給ス
 第二條 教習中ニ係ル巡查ノ月俸ハ六圓五拾錢トス
 第三條 警察書記ノ月俸ハ七圓以上拾五圓以下警察及衛生技手、教授、通譯等ノ月俸ハ八圓以上トス
 第九條 屠獸検査幣ニハ手當トシテ屠獸一頭ニ付金貳拾五錢ヲ支給スルモノトス
 従前ノ第九條ヲ第十條トシ以下順次繰下グ

第十六號 (訓令) 明治三十三年三月二十六日

内務部
郡市役所
町村役場

明治三十年八月本縣訓令第五十五號退隱料又ハ扶助料料金請求書與書書式中「戸籍簿ニ現在ノ生存者ニシテ」トアルヲ「内現住者ニシテ」ト改ム

第四百十三號 (訓令) 明治三十三年五月一日

内務部

續集第四二五頁參看

明治三十三年訓令第八號第三條ニ依リ縣吏員旅費支給方法左ノ通定ム

縣吏員旅費支給方法

第一條 縣吏員縣内旅行ノ汽車賃船賃及車馬賃ハ分テ二等トシ第一號表ニ定ムル所ニ從ヒ順路ニ依リ之ヲ支給ス

第二條 縣吏員ノ縣内旅行ニハ第二號表ニ依リ特ニ辭令ヲ以テ指定シタル等級ニ從ヒ出張日數ニ應シ其月額ヲ日割計算シテ日當ヲ支給ス

陸路六里未滿汽車十哩水路十海里未滿ノ旅行ニハ日當ヲ支給セス但公務ノ都合ニ依リ宿泊シタルトキハ日當ヲ支給ス

名古屋市内へ常時出張ノモノニハ本條第一項ニ依リ日當ノミ支給ス(三三訓二五八追加)

第三條 縣吏員縣外旅行ノ旅費ハ分テ二等トシ第三號表ニ定ムル所ニ從ヒ順路ニ依リ之ヲ支給ス

第四條 此規定ニ定ムルモノ、外ハ明治三十年勅令第三百三十三號ノ規定ヲ準用ス

第一號表

等	級	汽車賃	船賃	車馬賃	宿泊料	日當	食卓料				
一等	土木技師	四	五	五	一海里	十	八				
二等	土木技手、土木工手及事務員	三	四	四	一海里	十	二				
等	級	一等	二等	三等	四等	五等	六等	七等	八等	九等	十等

日當月額 六十圓 四十五圓 三十圓 二十四圓 二十一圓 十八圓 十五圓 十二圓 九圓 七圓

第三號表

等	級	汽車賃	船賃	車馬賃	宿泊料	日當	食卓料
一等	土木技師	五	五	二十錢	一圓五十錢	一	圓
二等	土木技手、土木工手及事務員	四	四	十五錢	一圓	五十錢	九十錢

第四百十九號 (訓令) 明治三十三年五月十三日

內務部

明治三十三年訓令第八號縣吏員規定第四條ノ依給支給方法ハ明治三十二年訓令第五十六號縣經濟ニ屬スル俸給支給規則ニ依ル

第五百七十七號 (訓令) 明治三十三年五月十九日

內務部

明治三十三年第一四三號訓令第二條ニ規定スル日當月額指定ニ關シ此際別ニ辭令ヲ交附セザルモノハ現ニ受ル所ノ金額ニ相當スル等級ニ依リ日割計算シテ日當ヲ支給スル義ト心得ヘシ

第七十七號 (訓令) 明治三十三年六月十一日

內務部

縣ノ財務

土地收用審査委員旅費支給規定左ノ通定ム

土地收用審査委員旅費支給規定

- 第一條 高等文官ニアラサル土地收用審査委員ニ支給スル旅費ハ縣經濟ノ支辨ニ屬スル旅費支給規則ニ定ムル方法ニ依リ其支給額ハ同規則第一條第一級ノ旅費額ニ依ル
- 第二條 前條ニ依リ支給スル旅費ハ名譽職參事會員ノ職務ニ關シ支給スル旅費ト重複スル場合ニ於テハ此規定ニ依リ支給スル旅費ハ之ヲ扣除スルモノトス

縣令第五十六號

明治三十三年六月二十六日

明治三十二年十月 勅令第四百三十五號教育基金令第九條ニ基キ文部大臣ノ認可ヲ得テ教育資金使用ニ關スル規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

教育資金使用ニ關スル規則

- 第一條 教育資金令第五條ニ依リ教育資金ヲ貸付スルノ順序ハ校地校舎ノ設備最不完全ニシテ其新築改築増築等ヲ急要ト認ムルモノヲ先ニス但災害ニ罹リ復舊ヲ要スルモノハ此限リニアラス
- 第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル市町村、町村組合、町村學校組合ニハ教育基金令第五條ノ設備費ヲ貸付セス
 - 一 市町村、町村組合、町村學校組合ノ資力尋常小學校校地校舎ノ設備ニ關スル費用ノ支出ニ堪フルト認ムルトキ
 - 二 尋常小學校ニ屬スル經常費共市町村、町村組合、町村學校組合内ノ各町村ノ經常費總額ノ三分ノ一以內ナルトキ
- 第三條 尋常高等小學校校地校舎ノ設備ノ爲メ教育基金令第五條ニ依リ其尋常小學校ノ設備費ヲ貸付

スルトキハ尋常高等小學校ノ設備ニ關スル總費額ノ五分ノ三ヲ以テ尋常小學校ニ對スル費用ト見做ス

第四條 教育資金ノ貸付ハ校地校舎ノ設備ニ着手シタルトキ之ヲ交付スルモノトス

第五條 貸付金ハ貸付ヲ受ケタル翌年度ヨリ年賦償還スヘシ

第六條 償還ノ年限ハ契約ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 貸付金利子ハ貸付ノ翌月ヨリ返納ノ月マテ教育基金令第六條ノ利率ニ依リ之ヲ計算ス

第七條 教育資金貸付ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ具スヘシ
 一 工事ノ順序及ヒ其竣工時期
 二 工事ノ設計仕様書及ヒ其豫算書
 三 償還期限及ヒ毎年度ノ償還金額
 四 償還ニ關スル財源

第八條 貸付金ノ償還元金及ヒ利子ハ納入告知書ニ依リ毎年三月九月ノ二回ニ納付スヘシ

第九條 教育資金ハ左ノ費用ニ支出スルコトアルヘシ
 一 市町村、町村組合、町村學校組合立小學校教員ノ獎勵費
 二 普通教育ニ關シ特ニ功勞アル市町村吏員ノ獎勵費
 三 成績優等ナル市町村、町村組合、町村學校組合立小學校ノ獎勵費
 四 其ノ他普通教育ニ關スル費用(三四縣ニハ追加)

縣令第五十七號

明治三十三年六月二十六日

明治三十三年三月勅令第三百三十三號市町村立小學校教員加俸令第九條ニ依リ給與ニ關スル細則左ノ通相定ム

市町村立小學校教員加俸給與細則

第一條 市町村立小學校教員ノ年功加俸及ヒ特別加俸ハ其年額ヲ二分シ毎年四月十月ニ於テ其前月迄ノ分ヲ支給ス但休職退職ヲ命セラレ又ハ其他ノ理由ニ依リ加俸ヲ罷メラレタルトキ若ハ死亡シタルトキハ期月ニ拘ハラヌ之ヲ支給ス

第二條 市町村立小學校教員ノ年功加俸及ヒ特別加俸ハ病氣其他ノ事故ニ依リ執務セサルコトアルモ之ヲ減スルコトナシ

第三條 市町村立小學校教員ノ年功加俸及ヒ特別加俸ノ支給並ニ其増俸減俸ハ總テ發令ノ當月ヨリ年額ヲ月割計算ス但加俸ヲ受クル者ニシテ他ノ學校ニ轉任シタル場合ニ限リ發令ノ翌月ヨリ年額ヲ月割計算ス

第四條 年功加俸若ハ特別加俸ヲ受クル者休職退職ヲ命セラレ又ハ其他ノ理由ニ由リ加俸ヲ罷メラレタルトキ若ハ死亡シタルトキハ年額ヲ月割計算トシ當月分マテテ支給ス

第五條 特別加俸ヲ受クル者ニシテ他ノ學校ニ轉任スルトキハ別ニ辭令ヲ用キスシテ其加俸ヲ失フモノトス

第六條 郡市長ニ於テ市町村立小學校教員加俸令第三條第六條及ヒ第七條後段ニ該當スル者アリト認ムルトキハ其事由及ヒ關係事項ヲ詳具シ知事ニ申告スヘシ

郡市長ニ於テ市町村立小學校教員加俸令第七條前段ニ該當スル者ト認ムルトキハ其學校名職名氏名ヲ具シ知事ニ申告スヘシ但新ニ任用スル場合ニ於テハ任用上申ト其ニ申告ヲナスヘシ

附 則

第七條 明治三十三年四月現ニ單級小學校ニ在職ノ者ニアリテハ同月ヨリ起算シ特別加俸ヲ支給ス

縣令第六十三號 明治三十三年八月十日

明治三十三年三月法律第六十三號市町村立小學校教育費國庫補助法第六條ニ相當スル加俸ノ給與ハ明治三十三年六月縣令第五十七號市町村立小學校教員加俸給與細則ヲ準用ス

第二百二十四號 (訓令) 明治三十三年九月一日

內 務 部

教育資金管理規定左ノ通定ム

教育資金管理規定

第一條 此規定ニ於テ教育資金ト稱スルハ左ノ二種トス

一 教育基金令ニ依ル教育資金

二 市町村立小學校教員加俸令ニ依ル加俸資金

第二條 前條ノ現金ハ確實ト認ムル銀行ニ利付ヲ以テ定期又ハ當座預トナスモノトス但時宜ニ依リ公債證書ヲ購入スルコトヲ得

第二百三十一號 (訓令) 明治三十三年九月十二日

內 務 部

府縣制第九十五條ニ依リ熱田灣築港公債事務教育費公債事務及印刷作業事務ノ爲設置スル縣吏員ノ退職給與金遺族扶助料支給規定左ノ通定ム

縣吏員退職給與金遺族扶助料支給規定

第一條 熱田灣築港公債事務教育費公債事務及印刷作業事務ノ爲設置スル縣吏員ニ對シ退職給與金及

縣ノ財務

遺族扶助料ヲ給與ス

第二條 前條給與金ノ支給ハ熱田灣築港工事ノ爲メ設置シタル縣吏員ノ例ニ依ル

縣令第七十二號

明治三十三年九月十九日

縣稅外諸收入徵收規則左ノ通定ム

縣稅外諸收入徵收規則

第一條 使用料、手数料其他ノ縣稅外諸收入ハ納人ニ對シ納入告知書ヲ發シ之ヲ徵收ス但左ニ掲グル收入ハ納入告知書ヲ發セス出納吏ヲシテ直ニ現金ヲ領收セシム

一 國庫ヨリ受ル補助金及下渡金ノ類

二 學校生徒ノ授業料

三 公債及預金ノ元利金

四 病院ノ藥價診察料手術料及治療用品拂下代

五 博物館通券料

第二條 納入告知書ハ納人ヲシテ現金ヲ縣金庫ニ拂込マシムル場合ハ第一號様式出納吏ニ拂込マシムル場合ハ第二號様式ニ依ルヘシ

第三條 納入告知書ハ納期ノ定メアルモノハ納期ノ五日前納期ノ定メナキモノハ十五日以内ニ於テ適宜納期日ヲ定メ之ヲ發スヘシ

第四條 納人ハ水火盜難等ニ罹リ納入告知書ヲ亡失シタルトキハ其事由ヲ申告シ更ニ納入告知書ノ交付ヲ請求スヘシ

第五條 諸收入金ヲ徵收スル官吏々員ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ更ニ納入告知書ヲ調製シ之ヲ交付スヘシ

第六條 納入告知書受ケタル納人ハ該告知書ニ指定スル期日迄ニ現金ニ告知書ヲ添ヘ之ヲ指定ノ縣金庫若クハ出納吏ニ拂込ミ其領收書ヲ受ケルヘシ

第七條 納人ハ郵便爲替若クハ縣金庫ニ宛タル送金手形又ハ縣金庫取扱銀行若クハ其代理店ニ於テ證明シタル小切手ヲ以テ縣金庫若クハ出納吏ニ拂込ムコトヲ得

第八條 出納吏ニ於テ納人ヨリ收入金ノ納付ヲ受ケタルトキハ領收證書ヲ其納人ニ交付スヘシ

第九條 出納吏ニ於テ領收シタル收入金ハ第三號様式ノ拂込書ヲ添ヘ縣金庫ニ拂込ムヘシ

第十條 縣金庫ニ於テ出納吏若クハ納人ヨリ收入金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ領收證書ヲ其拂込人ニ交付スヘシ

第十一條 左ノ諸收入ハ各廳長ヲシテ徵收セシム

一 堤塘使用料、並木敷使用料及川面使用料

二 小學校教員檢定手数料及免許狀手数料

三 學校生徒ノ授業料及試驗料

四 病院ノ藥價、入院料、診察料、手術料、檢査料及處方箋、診斷書、種痘消毒等ノ料金

五 貸座敷及娼妓ノ賦金

六 貸費償還金

七 各廳ニ於テ處分ヲ爲シタル懲罰金、過料金、沒收金及滯納處分費收入

八 各廳ニ於テ行政執行法ニ依リ強制執行ヲ爲シ若クハ其他ノ事由ニ依リ經費ヲ支出シ若クハ物品ヲ給與貸與又ハ消費シタル費用ニ關スル辨償金

九 各廳ニ於テ賣却シタル生産物、不用物品及其他ノ物件賣拂代

前項第一號第二號第五號第六號ノ收入ハ郡市長第三號ノ收入ハ學校長第四號ノ收入ハ病院長第七號

乃至第九號ノ收入ハ其處分ヲ爲シタル各廳長ニ於テ之ヲ徵收スルモノトス

第十二條 納期日ヲ過クルセ納人ニ於テ諸收入金ヲ完納セサルトキハ直ニ第四號様式ノ督促狀ヲ發ス

ヘシ但收入金ノ種類性質ニ依リ滞納處分ヲ爲スコトヲ得サルモノ及滞納者ニ對シ特別ノ規定アルモノハ督促狀ヲ發スルヲ要セス

督促狀ニハ五日以内ニ於テ納期日ヲ指定スヘシ

第十三條 督促狀ニ指定シタル納期日ヲ過クルモ納人ニ於テ其滞納金及督促手数料ヲ完納セサルトキハ速ニ其財産ノ差押ヲ爲スヘシ但縣立學校長、病院長、驅煤院長、農事試驗場長ハ第十四條ノ規定ニ依ルヘシ

第十四條 縣立學校長、病院長、驅煤院長、農事試驗場長ハ督促狀ニ指定シタル納期日內ニ滞納金及督促手数料ヲ完納セサルモノアルトキハ其滞納者ノ住所氏名及滞納ノ金額等ヲ縣廳ニ報告スヘシ報告後異動ヲ生シタルトキハ其旨直ニ報告スヘシ

第十五條 縣廳ニ於テ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ速ニ其財産ノ差押ヲ爲スヘシ

第十六條 督促狀ニ指定シタル納期日后財産差押前滞納者又ハ第三者ニ於テ督促手数料及滞納金ヲ完納セントスルトキハ其旨ヲ督促狀ヲ發シタル廳屬ヘ申告シ其金額ヲ拂込ムヘシ

差押財産公賣前ニ滞納者又ハ第三者ニ於テ滞納處分費及滞納金ヲ完納セントスルトキハ其旨ヲ差押ヲ爲シタル廳屬ヘ申告シ其金額ヲ拂込ムヘシ

前二項ノ拂込ハ第一條但書及第六條ノ規定ニ依ル

第十七條 郡市長警察署長警察分署長ハ縣内他郡市ニ於テ此規則ニ依リ徵收スル諸收入金ノ滞納處分ヲ爲スコトヲ要スルトキハ直ニ其處分ヲ爲スヘキ地ノ郡市長警察署長警察分署長ニ之ヲ囑託スヘシ

第十八條 他府縣ヨリ使用料、手数料其他ノ收入ノ滞納處分ノ囑託ヲ受ケタルトキハ其處分ヲ爲スヘキ地ノ郡市長ヲシテ之ヲ取扱ハシム

第十九條 此規則ニ依リ徵收スル諸收入金ノ滞納處分ニ關シテハ前七條ニ規定スル外縣稅ノ滞納處分ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十條 第十二條第一項但書ノ場合ニ於テハ適宜ノ方法ニ依リ直ニ督促ノ手續ヲ爲スヘシ但滞納者

ニ對シ特別ノ規定若クハ契約アルモノハ其規定若クハ契約ニ依リ速ニ處分スヘシ

第二十一條 各廳長ハ第二十條ニ依リ督促ヲ爲スモ尙之ヲ完納セス若クハ完納スルノ見込ナキトキハ其頭末ヲ縣廳ニ具申スヘシ

第二十二條 納人ニ於テ過誤納金ノ下戻ヲ受ケントスルトキハ年度金額納付年月日及其過誤納下ナリタル事由ヲ詳記シタル請求書ヲ縣廳ニ差出スヘシ

各廳ニ於テ徵收シタル金額ノ下戻ニ關スル請求書ハ其徵收ヲ爲シタル各廳ヲ經由スルモノトス

第二十三條 滞納處分費ノ辨納金ハ各其經費所屬ノ經濟ニ收入スヘシ

第二十四條 此規則ニ於テ各廳ト稱スルモノ左ノ如シ

- 一 郡市役所
- 二 警察署及警察分署
- 三 縣立學校及病院
- 四 驅煤院
- 五 農事試驗場

附 則

第二十五條 此規則ハ明治三十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式 甲 用紙適宜

縦四寸五分
横三寸三分
各八分以上ノ綴代ヲ存セシムヘシ

納	第	何	號	明	治	何	年	度	郡	市	町	氏	名	納
款	何	號	明	治	何	年	度	郡	市	町	氏	名	納	名
納	何	號	明	治	何	年	度	郡	市	町	氏	名	納	名
納	何	號	明	治	何	年	度	郡	市	町	氏	名	納	名

入告知書 領收

一金何程

明治何年何月何日收入済

右明治何年何月何日限リ愛知縣何金庫へ拂込ムヘシ

明治何年何月何日

知事又ハ廳長 氏名

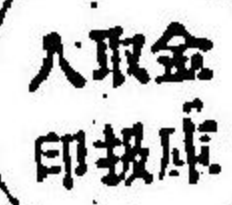


縣金庫印

第何號 明治何年度 郡市町氏 名納

款項 目 廳 名

一金何程



明治何年何月何日領收

明治何年何月何日

愛知縣何々金庫



縣金庫印

証書 通知

第何號 明治何年度 郡市町氏 名納

經幣(臨時)郡市連帶 款項 目 何月分又ハ何々 廳 名

一金何程



右明治何年何月何日領收

書

知事又ハ廳長宛

愛知縣何々金庫



第一號様式

乙 用紙適宜

縦四寸五分ノモノ三枚接續ニシテ其右方ニ
横三寸三分
各八分以上ノ綴代ヲ存セシムヘシ

第何號	明治何年度	郡市町氏	名納
第何號	明治何年度	郡市町氏	名納
何月分又ハ何々	廳	廳	名

納入契印

一金何程

明治何年何月何日收入濟

右明治何年何月何日限リ愛知縣何金庫へ拂込ムヘシ

明治何年何月何日

知事又ハ廳長 氏名



領收證書

縣金庫印

第何號	明治何年度	郡市町氏	名納
第何號	明治何年度	郡市町氏	名納
何月分又ハ何々	廳	廳	名

一金何程

金取人 庫授印

明治何年何月何日領收

明治何年何月何日

愛知縣何々金庫



通 知 書

縣金
庫印

第 何 號 明治何年度 郡市町氏 名納
經常(臨時)郡市連帶
 項 目 何月分又ハ何々 廳 庫 名

一金何程
 取金
 人印
 庫

右明治何年何月何日領收即日何々金庫へ廻送

愛知縣何々金庫 印

知事又ハ廳長宛

備考

一 納入告知書ヲ發スル廳庫所在郡市内ノ縣金庫ニ現金ヲ拂込マシムルトキ

第二號様式

納 入 契 告 知 書

第 何 號 明治何年度 郡市町氏 名納
經常(臨時)郡市連帶
 項 目 何月分又ハ何々 廳 庫 名

一金何程



明治何年何月何日收入済

右明治何年何月何日限リ出納吏官職氏名へ拂込ムヘシ

明治何年何月何日 知事又ハ廳長名 印

ハ甲號ノ告知書ヲ用ユヘシ
 二 納入告知書ヲ發スル廳庫所在郡市外ノ縣金庫ニ現金ヲ拂込マシムルトキ
 ハ乙號ノ告知書ヲ用ユヘシ
 用紙適宜 縦四寸五分 横三寸三分ノモノ三枚接續ニシテ其右方ニ
 各八分以上ノ綴代ヲ存セシムヘシ

領收證書

第何號	明治何年度	郡市町氏	名納
款	項	目	廳
一金何程 			
右領收候也 明治何年何月何日 出納吏 官職氏名 			

出納吏印

出納吏印

報



告

書

第三號様式

現

縣ノ財務

第何號	明治何年度	廳	名
款	項	目	廳
一金何程 			
右明治何年何月何日領收 出納吏 官職氏名 			

用紙適宜 縦四寸五分 横三寸三分 ノモノ三枚接續ニシテ其右方ニ 各八分以上ノ綴代ヲ存セシムヘシ

經常(臨時)郡市連帶

金 拂 込 書 領 收

一金何程

右拂込候也

明治何年何月何日

何々廳麻

出納吏官職氏名

印

縣金庫
割印

第何號明治何年度

拂込人何々廳麻
出納吏官職氏名

款項目

一金何程

證 書

右領收候也

明治何年何月何日

愛知縣何々金庫
印

縣金庫
割印

通 知

等何號

標格臨時郡市連帶

款

項

目

拂込人何々廳麻
出納吏官職氏名

一金何程

縣金庫
取扱
人印

右明治何年何月何日領收

書

知事又ハ麻長宛

愛知縣何々金庫 印

第四號様式

用紙寸法適宜

第何號	郡市	町	氏	名
明治何年度	款	項	目	
一金何程	滞納金			
内				
金何程	何々(目)			
金何程	何々(目)			
一金五錢	督促手数料			

右明治何年何月何日限り愛知縣何々金庫(縣解出納吏 官職氏名)へ拂込ムヘシ若シ此期限ヲ

狀

過キ完納セサルトキハ直ニ財産差押ノ處分ヲ爲スヘシ

明治何年何月何日

知事又ハ麻長名 印

縣令第七十四號 明治三十三年九月三十日

縣會ノ議決ヲ經内務大臣大藏大臣文部大臣ノ許可ヲ得テ愛知縣公債募集及償還方法左ノ通定ム

愛知縣公債募集及償還方法

第一條 愛知縣公債ハ師範學校中學校ノ建築及其ノ設備ニ要スル費途ニ充ツルガ爲メ貳拾萬圓熱田灣築港費ニ充ツルカ爲百四拾七萬九千五百圓内發給九萬六千五百圓ハ其債ノ償還ニ屬スヲ募集スルモノトス

第二條 此公債ノ利率ハ一々年百分ノ八トス

第三條 此ノ公債ニ對シ發行スル證書ハ無記名利札附ニシテ千圓五百圓百圓五拾圓ノ四種トス但應募者又ハ所有者ノ望ニ依リ記名ト爲スコトヲ得

第四條 此ノ公債證書ノ見本ハ愛知縣廳及縣内ノ郡役所ニ揭示ス

第五條 此ノ公債應募ノ申込及其最低價格並應募金拂込ノ期日其他應募ニ關スル要件ハ官報愛知縣公報又ハ新聞紙ヲ以テ廣告ス

第六條 此ノ公債ノ應募者ハ前條ノ廣告ニ指定スル日限マテニ應募ノ金額並ニ價格ヲ愛知縣廳又ハ縣内ノ郡役所ニ申込ムモノトス

第七條 此ノ公債ノ應募者ハ申込ノトキ保證金トシテ其ノ應募額百分ノ三ノ現金ヲ縣金庫ニ拂込ミ其

預リ證書ヲ愛知縣廳又ハ縣内ノ郡役所縣出納吏ニ差出シ其ノ領收證書ヲ受クヘシ但募入トナラザル者ニ對スル保證金ハ之ヲ還付ス

第八條 此ノ公債ノ應募ノ申込ハ第五條ノ廣告ニ指定スル最低格價以上ニ於テ應募價格ノ最高キモノヨリ其需用ノ額ニ達スル迄順次募入シ各應募者ニ通告ス但同價格ノモノハ申込日付ノ前後ニ依リ其日付同シキモノハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第九條 募入ノ通告ヲ受ケタル應募者ハ第五條ノ廣告ニ指定スル期日マテニ保證金ヲ控除シタル殘額ヲ當初保證金ヲ拂込タル縣金庫ニ拂込其ノ預リ證書ヲ愛知縣廳又ハ縣内ノ郡役所縣出納吏ニ差出シ應募額拂込済ノ領收書ヲ受クヘシ

第十條 保證金ヲ差入レタル後又ハ募入ノ通告ヲ受ケ未タ應募額ノ拂込ヲ了ラステ本人死亡シタルトキハ其ノ正當ノ相續人タルコトヲ證スヘキ書類ヲ添ヘ此ノ公債應募ニ關スル權利義務ヲ繼承ヲ當初應募ノ申込ヲ爲シタル場所ニ通告スルモノトス

第十一條 募入ノ通告ヲ受ケタル應募者應募金拂込期日ノ末日マテニ拂込ヲ爲ササルトキハ其ノ翌日ヨリ現ニ拂込ヲ爲シタル日マテ百圓ニ付一日四錢ノ割合ヲ以テ遲延利子ヲ支拂フモノトス

第十二條 第七條第九條ノ領收證書ハ他人ニ賣渡シ又ハ讓渡スコトヲ得ス
領收證書ヲ亡失シタル者ハ證人二人以上連署シタル書面ヲ以テ當初應募ノ申込ヲ爲シタル場所ニ申立更ニ領收證書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第十三條 公債證書ハ愛知縣廳又ハ縣内ノ郡役所ニ於テ縣出納吏ヨリ交付シタル領收證書ト引換ニ之ヲ交付ス
第十四條 無記名證書ヲ記名ニ變換セントスルモノハ其請求書ニ證書ヲ添付シ愛知縣廳ヘ申出ヘシ記

名證書ヲ無記名ニ變換セントスルモノ亦同シ

前項ニ依リ要スル費用ハ請求人ヲシテ之ヲ辨償セシム

第十五條 記名證書ノ賣買讓渡ヲ爲シタルモノハ双方連署ノ請求書ニ証書ヲ添付シ愛知縣廳ヘ差出シ記名變換ヲ請フヘシ

第十六條 記名證書ノ所有者死亡シタルトキ其相續人ハ請求書ニ正當ノ相續人タルコトヲ證スヘキ書類ヲ添ヘ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十七條 記名證書ノ所有者ノ遺言ニ依リ證書ヲ讓受ケタルモノアルトキハ其遺贈ヲ證スヘキ書類ヲ添ヘ第十五條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十八條 記名證書ノ所有者破産又ハ強制執行ノ處分ニ依リ證書ノ所有權他ニ移轉シタルトキ其取得者ハ取得シタルコトヲ證スヘキ書類ヲ添ヘ第十五條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十九條 第十五條乃至第十八條ニ依リ書換ヲ請フ場合ニ於テハ證書一通ニ付キ手数料トシテ金五錢ヲ納付セシム

第二十條 公債證書又ハ利札ヲ亡失シタルトキハ其ノ證書又ハ利札ノ番號金額及所有者ノ住所氏名ヲ記載シ愛知縣廳ニ届出ヘシ其ノ發見シタルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ官報愛知縣公報又ハ新聞紙ヲ以テ三日間廣告ス但其費用ハ届出人ヲシテ之ヲ辨償セシム

第二十一條 公債證書又ハ利札ヲ亡失シ若ハ汚染毀損シタルトキハ代證書又ハ利札ノ交付ヲ請求スルコトヲ得但其ノ費用ハ請求人ヲシテ之ヲ辨償セシム

前項ノ請求書ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ調製シ愛知縣廳ニ差出スヘシ
一 亡失ノ場合ハ其ノ證書又ハ利札ノ番號金額及亡失ノ事由ヲ記載シ證人二人以上ノ連署ヲ要ス

- 二 汚染又ハ毀損ノ場合ハ其ノ證書又ハ利札ノ番號金額ヲ記載シ證書又ハ利札ノ添付ヲ要ス
- 第二十二條 亡失シタル無記名公債証書又ハ其利札ニ對シテハ亡失廣告ノ末日ヨリ起算シ滿一箇年ヲ經過シタル後記名公債又ハ其利札ニ對シテハ亡失届出後一回ノ利子支拂期限ヲ經過シタル後代證書又ハ利札ヲ交付ス
- 第二十三條 前條ニ依リ代證書又ハ利札ヲ交付シタルトキハ亡失ニ係ル公債證書又ハ利札ハ之ヲ無効トス
- 前項ノ場合ニ於テハ官報愛知縣公報又ハ新聞紙ヲ以テ三日間廣告ス
- 第二十四條 第二十二條ノ期間内ニ於テ亡失届出ニ係ル公債證書又ハ利札ヲ他人ヨリ提出スルトキハ其旨ヲ届出人ニ通告シ其權利確定ノ後取扱フモノトス
- 第二十五條 公債證書又ハ利札ヲ亡失シタルモノ及汚染毀損其ノ他ノ爲メ真正ナルコトヲ鑑別シ難キモノニ對シテハ代證書若ハ利札ヲ交付スル迄元利金ノ支拂ヲ停止ス
- 第二十六條 此ノ公債ハ募集ノ年ヨリ二ヶ年据置十ヶ年以内ニ毎年貳萬圓以上抽籤ヲ以テ償還スルモノトス
- 前項償還ノ外縣ハ額面金額以内ハ價格ニ依リ公債證書ヲ買入レ之レカ銷却ヲ爲スコトアルヘシ
- 第二十七條 此ノ公債償還ノ爲メ抽籤ヲ爲ストキハ愛知縣廳ニ於テ之ヲ執行ス
- 前項抽籤償還ノ金額及抽籤執行ノ日時ハ官報愛知縣公報又ハ新聞紙ヲ以テ廣告ス
- 此ノ公債證書額面五千圓以上ヲ所有スル者ハ抽籤ニ參列スルコトヲ得
- 第二十八條 抽籤了リタルトキ若ハ第二十六條第二項ニ依リ買入レ銷却ヲ爲シタルトキハ其ノ當籤若ハ買入レタル證書ノ番號種類償還支拂ノ期日及買入レ銷却ノ總額ヲ官報愛知縣公報又ハ新聞紙ヲ以テ廣告ス

- 第二十九條 亡失届出ニ係ル公債證書ハ第二十六條ノ抽籤ニ加ヘサルモノトス
- 當籤ノ證書ニシテ亡失ニ係ルモノハ其ノ當籤ノ効ナキモノトス
- 第三十條 此ノ公債ノ利子ハ毎年六月十二月ノ二回ニ支拂フモノトス
- 第三十一條 此ノ公債ノ利子ハ其ノ元金拂込ノトキ月ノ十五日以前ニ在ルモノハ下半年箇月分ヨリ十六日以後ニ在ルモノハ翌月分ヨリ支拂ヒ元金償還ノ年ニ於テハ其ノ償還ノ月マテ月割ヲ以テ支拂フモノトス
- 第三十二條 此ノ公債ノ元利金ハ證書又ハ利札ト引換ニ縣金庫ニ於テ支拂フヘシ
- 公債證書發行及當籤又ハ滿期償還ノトキ支拂フヘキ利子ノ六箇月ニ滿タサルモノハ領收證書ヲ徴シテ支拂フモノトス

訓令第六十四號

明治三十三年九月三十日

內務部 郡役所 縣金庫出納役

愛知縣公債募集償還方法及取扱規程左ノ通定ム

愛知縣公債募集及償還方法及取扱規程

- 第一條 公債應募ノ申込ヲ爲サントスル者アルトキハ第一號様式ノ申込書ヲ差出サシムヘシ
- 公債ノ應募者ニ於テ記名證書ノ交付ヲ望ム者アルトキハ前項ノ申込書ニ其旨ヲ付記セシムヘシ
- 第二條 公債ノ應募者ニ於テ納ムヘキ保證金ハ縣廳ニ申込ヲ爲ス場合ハ本金庫ニ郡役所ニ申込ヲ爲ス場合ハ其郡役所々在地ノ支金庫ニ拂込マシムヘシ
- 第三條 縣金庫ニ於テ公債應募申込人ヨリ保證金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ其預ケ込人ニ預リ證書ヲ交付スヘシ

第四條 縣廳若クハ郡役所ニ於テ公債應募ノ申込ヲ受ケタルトキハ應募人別簿ニ其應募價額保證金額
 申込人ノ住所氏名等ヲ登記スヘシ
 第五條 出納吏ニ於テ公債應募申込人ヨリ保證金ノ納付ヲ受ケタルトキハ其納人ニ領收證書ヲ交付ス
 ヘシ
 前項ノ場合ニ於テハ其領收月日ヲ第一條ノ申込書ニ付記スヘシ
 第六條 公債應募ノ保證金ハ歳入歳出外トシテ之ヲ取扱フヘシ
 第七條 郡役所ハ第二號様式ノ公債應募申込額報告書ニ應募者ノ申込書ヲ添ヘ毎日之ヲ縣廳ニ報告ス
 ヘシ但申込ナキトキハ報告ヲ要セス
 縣廳ニ於テ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ應募人別簿ニ記入ノ手續ヲ爲スヘシ
 第八條 郡役所ハ公債募集期限經過シタルトキ應募申込ノ總額ヲ電信其他ノ方法ニ依リ縣廳ニ報告ス
 ヘシ應募ノ申込ナキトキハ其旨報告スヘシ
 第九條 縣廳ハ公債ノ募入及募入外ノ金額確定シタルトキ第三號様式ノ公債募入人別簿ニ其募入金額
 保證金拂込済額及申込人ノ住所氏名等ヲ登記シ申込人ニ對シ募入若クハ募入外ノ通告ヲ爲スヘシ但
 郡役所ニ於テ申込ヲ受ケタルモノハ當該郡役所ニ通知シテ申込人ニ通告ヲ爲サシムヘシ
 第十條 郡役所ハ前條但書ニ依リ募入若クハ募入外ノ通知ヲ受ケタルトキハ第四號様式ノ公債募入人
 別簿ニ其募入ノ金額保證金拂込済額及申込人ノ住所氏名等ヲ登記シ申込人ニ募入若クハ募入外ノ通
 告ヲ爲スヘシ
 第十一條 公債ノ募入トナリタル者ノ保證金ハ歳入ニ編入スヘシ但郡役所出納吏ニ於テ領收シタルモ
 ノハ第九條但書ノ通知ヲ受ケタルトキ金額氏名表ヲ添付シ縣廳出納吏ニ回送シ縣廳ニ於テ歳入ヘ編
 入ノ手續ヲ爲スヘシ

第十二條 公債ノ募入トナラサル者ニ對シ保證金ヲ還付スルトキハ出納吏ニ於テ第五條ニ依リ交付シ
 タル領收證書ト引換ニ任拂切符ヲ交付スヘシ
 前項ノ領收證書ハ受取人ヲシテ左ノ裏書ヲ爲シ捺印セシムヘシ
 表書ノ金額明治何年何月何日領收
 第十三條 應募申込額ノ内幾部分募入トナリタルモノニ對シ募入外ニ係ル保證金ヲ還付スルトキハ出
 納吏ニ於テ其還付スヘキ金額ノ領收證書ヲ徴シ任拂切符ヲ交付スヘシ
 前項ノ場合ニ於テハ第五條ニ依リ交付シタル領收證書ヲ提供セシム左ノ裏書ヲ爲シ職印ヲ捺シ之ヲ
 返付スヘシ
 表書ノ金額ノ内金若干ハ募入外ニ付何年何月何日還付
 第十四條 縣金庫ニ於テ公債應募者ヨリ募入金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ其拂込人ニ預リ證書ヲ交付ス
 ヘシ
 第十五條 出納吏ニ於テ公債應募者ヨリ保證金ヲ扣除シタル殘額ノ納付ヲ受ケタルトキハ其納人ニ應
 募殘額拂込済ノ領收證書ヲ交付スヘシ
 第十六條 縣廳若クハ郡役所ニ於テ公債應募者ヨリ募入金若クハ遲延利子ノ納付ヲ受ケタルトキハ募
 入人別簿ニ其金額及拂込年月日ヲ登記スヘシ
 第十七條 郡役所ハ第五號様式ノ公債募入金拂込済額報告書ニ金額氏名表ヲ添ヘ毎日之ヲ縣廳ニ報告
 スヘシ但募入金ノ拂込ナキトキハ報告ヲ要セス
 縣廳ニ於テ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ募入人別簿ニ其金額及拂込年月日ヲ記入スヘシ
 第十八條 支金庫ハ第六號様式ノ公債募入金受入報告書ヲ調製シ第十四條ニ依リ拂込ヲ受ケタル金額
 毎日本金庫ニ報告スヘシ

本金庫ハ第七號様式ノ公債募入金受入總報告書ヲ調製シ支金庫ノ公債募入金受入報告書ヲ添ヘ毎日之ヲ縣廳ニ報告スヘシ

第十九條 公債募入金拂込期日ヲ過キ拂込ヲ爲スモノアルトキハ延滞日數ニ對スル遲延利子ヲ併セテ拂込マシムヘシ

遲延利子計算上ヨリ生スル厘位未滿ノ端數ハ毛位ニ於テ之ヲ四捨五入スルモノトス

第二十條 遲延利子ノ取扱ハ第十四條第十五條第十七條及第十八條ノ規定ヲ準用ス

第二十一條 公債ノ募入金及遲延利子ハ歳入歳出外トシテ取扱ヒ縣廳ニ於テ之ヲ歳入ニ編入スヘシ

郡役所出納吏ニ於テ領收シタル公債ノ募入金ハ五日毎ニ之ヲ取纏メ縣廳出納吏ニ回送スヘシ但拂込期日後ハ本條ノ日限ニ依ラス毎日之ヲ回送スルモノトス

第二十二條 公債ノ應募者ニ於テ募入金拂込期日後三十日ヲ過クルモ尙拂込ヲ爲サ、ルトキハ其事由ヲ公債募入人別簿ニ記入シ愛知縣公債募集及償還方法第十一條第二項ニ依リ處分シタル旨ヲ應募者ニ通告スヘシ

郡役所ニ於テ前項ノ手續ヲ了シタルトキハ其住所氏名引受金額及既納金額ヲ即日縣廳ニ報告スヘシ縣廳ニ於テ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ其事由ヲ公債募入人別簿ニ記入スヘシ

第二十三條 公債募入金拂込期日後三十日ヲ過クルモ尙拂込ヲ爲サ、ル應募者ノ保證金ハ縣廳ニ於テ之ヲ歳入ニ編入スヘシ

郡役所ハ第二十二條第二項ノ報告ヲ爲ストキ其保證金ヲ縣廳出納吏ニ回送スヘシ

第二十四條 應募保證金納付後募入確定前若クハ募入ノ通告後應募額ノ拂込ヲ了ラサル前本人死亡シ其相續人ヨリ權利義務繼承ノ通告ヲ受ケタルトキハ應募申込人別簿若クハ募入人別簿ニ其事由ヲ記入シ應募申込人若クハ引受人氏名訂正ノ手續ヲ爲スヘシ但遺產相續ノ場合ニ於テ共同相續人アルト

キハ通告書ニ連署セシムルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ其相續人タルコトヲ證スル爲メ戶籍ノ謄本ヲ提供セシムヘシ

郡役所ニ於テ前二項ノ手續ヲ了リタルトキハ關係書類ヲ添ヘ其繼承人ノ住所氏名應募申込額若クハ募入額保證金額等ヲ縣廳ニ報告スヘシ

縣廳ニ於テ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ關係帳簿ノ訂正ヲ爲スヘシ

第二十五條 出納吏ニ於テ應募保證金若クハ應募金拂込済ノ領收證書ヲ亡失シタルモノヨリ證人二人以上ノ連署シタル書面ヲ以テ領收證書再交付ノ請求ヲ受ケタルトキハ第五條若クハ第十五條ニ依リ交付シタル領收證書ノ原符及關係帳簿ニ對査シ其既納ニ係ルモノハ更ニ領收證書ヲ交付スヘシ

前項ニ依リ更ニ交付スル領收證書及其原符ニハ再交付ヲ爲シタル事由及其亡失ニ係ル領收證書ノ番號交付月日ヲ付記スヘシ

第二十六條 縣廳ニ於テ公債證書ヲ發行スルトキハ第八號様式ノ公債證書發行簿ニ其證書ノ額面種類記號番號發行價格及發行年月日ヲ記入シ證書ト割印スヘシ

記名證書ヲ發行スルトキハ前項ノ手續ヲ了シ更ニ第九號様式ノ公債證書記名簿ニ其額面種類記號番號及所有者ノ住所氏名ヲ記入シ記名紙ト割印スヘシ

公債證書ノ記號ハ發行ノ年毎ニ之ヲ異ニスルモノトス

第二十七條 縣廳ニ於テ公債證書ヲ應募者ニ交付セントスルトキハ其旨ヲ應募者ニ通知シ第五條第十五條若クハ第二十五條ニ依リ出納吏ノ發シタル應募保證金及募入金拂込済ノ領收證書ト引換ニ之ヲ交付スヘシ但郡役所ニ於テ申込ヲ受ケタルモノハ當該郡役所ヲシテ本條ノ手續ニ依リ之ヲ交付セシムルモノトス

縣廳ニ於テ應募者ニ公債證書ヲ交付スルトキハ公債募入人別簿ニ其額面種類番號證書ノ枚數交付年

月日ヲ記入スヘシ

第二十八條 第二十七條ニ依リ記名證書ヲ交付スルトキハ其受取人ヲシテ市町村長ノ證明シタル印鑑ニ葉ト應募保証金及募入金拂込濟領收證書ト共ニ差出サシムヘシ
郡役所ニ於テ前項ノ印鑑ヲ受ケタルトキハ之ヲ縣廳ニ提出スヘシ
縣廳ニ於テハ記名證書所有者ノ印鑑簿ヲ備ヘ照合ニ供スヘシ

第二十九條 記名證書ノ所有者改印シタルトキ若クハ記名證書ヲ繼受取得シタルモノアルトキハ第二十八條ニ準シ印鑑ヲ差出サシムヘシ

第三十條 郡役所ニ於テ公債證書ノ交付ヲ了リタルトキハ第二十八條ノ領收證書及印鑑ヲ添ヘ之ヲ縣廳ニ報告スヘシ
縣廳ニ於テ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ第二十七條第二項ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十一條 縣廳ニ於テ公債證書記名ノ變換若クハ無記名證書ヲ記名ニ記名證書ヲ無記名ニ變換ノ請求ヲ受ケタルトキハ其請求者ヲシテ手数料ヲ納付セシメ變換ノ手續ヲ爲スヘシ
前項ノ場合ニ於テ直ニ變換ノ手續ヲ了スルコト能ハサルモノハ公債證書ノ差出人ニ預リ證書ヲ交付シ置キ變換濟ノ上之ヲ引換ニ本證書ヲ交付スヘシ

第三十二條 記名證書ノ所有者死亡シ其相續人ヨリ記名變換ノ請求ヲ受ケタルトキハ第二十四條第一項但書及第二項ノ規定ヲ準用スヘシ

第三十三條 記名證書所有者ノ遺言ニ依リ證書ヲ讓リ受ケタルモノヨリ記名變換ノ請求ヲ受ケタルトキハ民法及遺言ニ關スル特別法ノ定ムル方式ニ依リ調製シタル書面ノ謄本ヲ添付セシムヘシ
第三十四條 縣廳ニ第三十一條第二項ノ手續ヲ了シタルトキ關係帳簿ノ訂正ヲ爲スヘシ
第三十五條 縣廳ニ於テ公債證書若クハ利札亡失ノ届書ヲ受ケタルトキハ亡失書留簿ニ其證書若クハ

利札ノ番號金額及所有者ノ住所氏名ヲ登記シ直ニ官報愛知縣公報及新聞紙ニ廣告ノ手續ヲ爲スヘシ
其發見ノ届書ヲ受ケタルトキ亦同シ
前項ノ場合ニ於テハ公債證書發行簿公債證書記名簿ニ其事由ヲ付記スヘシ

第三十六條 公債證書又ハ利札ノ亡失若クハ汚染毀損等ニ依リ代證書又ハ代利札ヲ發行スルトキハ左ノ手續ニ依ルヘシ
一、代證書ハ第二十六條ノ手續ヲ爲シ其發行簿記名簿ノ事故欄ニ發行ヲ要シタル事由及亡失毀損汚染等ニ係ル舊證書ノ額面種類記號番號等ヲ摘記スヘシ此場合ニ於テハ其亡失毀損汚染等ニ係ル舊證書ノ發行簿記名簿ノ事故欄ニモ代證書ヲ發行シタル年月日事由及代證書ノ額面種類記號番號等ヲ摘記シ額面金額ノ欄ニ無効ノ印ヲ捺捺スヘシ

二、代利札ハ第十號様式ニ依リ之ヲ調製シ第十一號様式ノ代利札發行簿ニ所屬證書ノ額面種類記號番號利子金額利子任拂期月發行月日債主ノ住所氏名等ヲ記入割印シ其代利札ヲ發行シタル事由發行月日ヲ公債證書發行簿及公債證書記名簿事故欄ニ付記スヘシ

第三十七條 代證書若クハ代利札ハ其請求者ヲシテ費用ノ辨償ヲ爲サシメタル后之ヲ交付スヘシ
代證書若クハ代利札ヲ交付スルトキハ其證書若クハ利札ノ領收證書ヲ徵收スヘシ

第三十八條 代證書若クハ代利札ヲ交付シタルトキハ直ニ官報愛知縣公報又ハ新聞紙ヲ以テ亡失毀損汚染等ニ係ル舊公債證書若クハ利札ノ無効ヲ廣告スヘシ

第三十九條 第三十一條及第三十七條ニ依リ請求者ヲシテ納付セシムル手数料及辨償金ノ徵收ハ縣稅外諸收入徵收規則ノ規定ニ依ルヘシ

第四十條 發行未済ニ係ル公債證書ノ原紙ハ金庫藏當品出納取扱手續ニ依リ其出納及保管ヲ爲スヘシ

前項証書原紙ニ付着スル利札用紙ハ其利札ニ記載シアル仕拂期月ノ前月十日マテニ之ヲ切斷燒棄スヘシ

第四十一條 元金償還、利子仕拂濟若シハ亡失毀損汚染等ニ依リ代証書又ハ代利札ヲ交付シタル爲メ無効トナリタル証書利札ハ十ヶ年間嚴重ニ之ヲ保存スヘシ

第四十二條 公債ノ元利金ハ本金庫ニ現金前渡ヲ爲シ其仕拂ヲ執行セシム

第四十三條 公債ノ定期拂利子ハ毎年六月十二月ノ各一日ヨリ二十五日迄ニ其仕拂ヲ完結スルモノトス

第四十四條 縣金庫ニ記名公債元利金ノ現金前渡ヲ爲ストキハ其仕拂ヲ爲サシムヘキ公債元利金ノ仕譯書及記名証書所有者ノ印鑑簿ヲ送付スヘシ

前項ノ仕譯書ハ縣金庫ノ出納區域毎ニ之ヲ別冊トシ証書ノ額面種類記號番號利子仕拂期月其他元利金仕拂ノ際照校ヲ要スル事項ヲ記載スヘシ

第四十五條 縣金庫ニ於テ公債利子仕拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ左ニ掲クル事項ヲ調査シ正當ト認ムルトキハ其仕拂ヲ爲スヘシ

- 一 利札ノ眞否
- 二 無効又ハ亡失届出ニ係ル利札ニアラサルヤ否ヤ
- 三 當籤又ハ其他ノ事由ニ依リ無効ニ歸シタル証書ニ附着セル利札ニアラサルヤ否ヤ

第四十六條 縣金庫ニ於テ公債利子ノ仕拂ヲ爲ストキハ所得稅法第四條第四十二條ニ依リ公債利子ニ賦課セラレタル所得納稅金ヲ扣除シ其殘額ヲ利札ト引換ニ受取人ニ交付スヘシ

前項ノ場合於テハ受取人ヲシテ第十二號様式ノ領收証書ニ利子金額、所得納稅控除額及現金仕拂ヲ

ヲ要スヘキ利子金額受取人ノ住所氏名等ヲ記載シ署名捺印シテ利札ト共ニ之ヲ差出サシムヘシ
記名証書ノ所有者ヲシテ差出サシムル領收証書ニハ豫テ提出シタル印鑑ト同一ノ印ヲ捺捺セシムルモノトス

第四十七條 公債利子受取人ニ於テ利札截斷ノ際誤テ其利札ノ要部ヲ切斷シタルモノアルトキハ其切斷殘部ヲ接續シ其接續ノケ所ノ裏面ニ本人ヲシテ捺印セシムルモノトス

第四十八條 縣金庫ハ現金仕拂濟ノ利札裏面中央ニ某金庫仕拂濟ノ印ヲ捺捺スヘシ

第四十九條 公債證券發行前利子ノ仕拂ヲ要スルトキ若クハ月割利子ノ仕拂ヲ爲ストキハ第十三號様式ノ利子仕拂通知書ヲ發付シ債主ヲシテ縣金庫ニ於テ之ヲ受取ラシムルモノトス

縣應ニ於テ利子仕拂通知書ヲ債主ニ交付スルトキハ案内仕拂通知書ヲ縣金庫ニ送付スヘシ

第五十條 縣金庫ニ於テ利子仕拂通知書ニ依リ仕拂ノ請求ヲ受ケタルトキハ第四十九條第二項ノ案内仕拂通知書ニ對查シ現金ノ仕拂ヲ爲スヘシ

第五十一條 縣金庫ハ現金仕拂濟ノ利子仕拂通知書ノ尤モ見易キケ所ニ某金庫仕拂濟ノ印ヲ捺捺スヘシ

第五十二條 縣金庫ニ於テ公債証書ノ當籤若クハ滿期償還ニ依リ其元金償還ヲ爲スヘキ証書ヲ持參シ現金仕拂ノ請求ヲ爲スモノアルトキハ左ニ掲クル事項ヲ調査シ正當ト見認ムルトキハ第十四號様式ノ領收証書ヲ証書ト共ニ差出サシメ之ト引換ニ現金ノ仕拂ヲ爲スヘシ

- 一 証書ノ眞否
- 二 付着利札員數
- 三 無効又ハ亡失届出ニ係ル証書ニアラサルヤ否ヤ

第五十三條 縣金庫ハ現金仕拂濟ノ証書表面金額ノ中央ニ某金庫元金償還濟ノ印ヲ捺捺スヘシ

元金償還證書ニ利子仕拂期限前ノ利札付着スルトキハ各利札表面ノ中央ニ前項ノ印ヲ押捺スヘシ

第五十四條 縣金庫ニ於テ公債元利金ノ仕拂ヲ爲サントスルトキ其證書若クハ利札汚染毀損等ニ依リ眞否ヲ鑑別シ難キモノニ對シ元利金ノ仕拂ヲ停止シタルトキハ其額面種類記號番號所持人ノ住所氏名ヲ即時縣廳ニ報告スヘシ

第五十五條 縣金庫ニ於テ亡失届出ニ係ル證書若クハ利札ヲ持參シ元利金仕拂ノ請求ヲ爲スモノアルトキハ其額面種類記號番號所持人住所氏名ヲ即時縣廳ニ報告スヘシ

縣廳ニ於テ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ亡失届出人ニ通告スヘシ

第五十六條 縣金庫ハ第十五號様式ノ公債元利金受拂簿ヲ設ケ其出納ヲ登記スヘシ

第五十七條 支金庫ハ公債元利金仕拂期限後五日以内ニ第十六號様式ノ公債元利金仕拂報告書ヲ調製シ其仕拂濟ニ係ル證書利札領收證書ヲ添ヘ之ヲ本金庫ニ報告スヘシ

本金庫ニ於テ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ第十七號様式ノ公債元利金仕拂内譯簿ニ登記スヘシ

第五十八條 本金庫ハ公債元利金仕拂期限後二十日以内ニ第十八號様式ノ公債元利金受拂總報告書ヲ調製シ第五十七條第一項ニ依リ支金庫ヨリ提出シタル證書利札領收證書等ヲ添ヘ縣廳ニ報告スヘシ

第五十九條 縣廳ニ於テ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ公債證書發行簿公債證書記名簿代利札發行簿等ヘ某金庫仕拂濟ノ印ヲ捺スヘシ但元金償還ニ係ルモノハ額面金額ノ欄ニ某金庫元金償還濟ノ印ヲ押捺スルモノトス

第六十條 縣廳ニ於テ買入償還法ニ依リ公債證書ヲ買入タルトキハ第五十三條第五十九條ヲ準用スヘシ

第六十一條 本金庫ハ第五十七條ニ依リ總報告書ニ添付スル公債元利仕拂濟ニ係ル證書利札及領收證書ヲ左ノ區分ニ依リ調理スヘシ

一 證書ハ記名無記名ニ大別シ尙之ヲ記號額面毎ニ類別シ番號ノ順次ニ取纏メ百枚毎ニ一括シテ帶封ヲ爲シ其帶紙ニ證書額面ノ合金額及枚數ヲ掲記シ取扱者之ニ捺印スヘシ

二 利札ハ記名無記名ニ大別シ尙之ヲ利子仕拂期及記號額面毎ニ類別シ番號ノ順次ニ取纏メ百枚毎ニ一括シテ帶封ヲ爲シ其帶紙ニ利札ノ合金額及枚數ヲ掲記シ取扱者之ニ捺印スヘシ但元金償還濟證書ニ付着スル利札ハ其儘證書ト共ニ整理スルモノトス

三 利金領收證書ハ利子仕拂期毎ニ別冊ニ編纂シ利札額面金額所得納稅控除額利金拂渡額枚數ヲ表記シ取扱者捺印スヘシ

第一號様式 用紙半紙

丙ノ文字ハ朱書以下同シ

愛知縣公債應募申込書

一 記名無記名愛知縣公債證書額面何程

但應募價格證書額面百圓ニ付金何程

此保證金何程

古ハ明治三十三年九月愛知縣令第七十四號愛知縣公債募集及償還方法ニ依リ前記但書ノ價格ヲ以テ募集ニ應シ候ニ付保證金相添ヘ此段申込候也

明治何年何月何日

住所

名

愛知縣廳へ申込ノ分ハ愛知縣知事宛
郡役所へ申込ノ分ハ其郡長宛

縣ノ財務

第二號様式

用紙 半紙

第「何」號

(號數ハ第一號ヨリ順
序ヲ逐ヒ之テ付スヘシ)

明治「何」年「何」月「何」日分愛知縣公債應募申込額報告書

本 日 申 込 額 前 日 申 込 額

申 込 人 員 金 額 申 込 人 員 金 額

右申込書相添へ此段及報告候也

明治「何」年「何」月「何」日

知 事 宛

郡 長 氏 名 印

第三號様式

用紙 美濃紙

公債募入人別簿

(應募ニ於テ設備スヘキ分)

募 入 者 住 所 氏 名 「何 地」 「何 某」

募 入 金 額 金 額 拂 込 年 月 日

拂 種 類 拂 込 金 額 額 額

保 證 金 明治「何」年「何」月「何」日

募 入 金 明治「何」年「何」月「何」日

遲 延 利 子 明治「何」年「何」月「何」日

公 債 証 書 交 付 高 額 面

証 書 種 類 証 書 番 號 証 書 枚 數 証 書 交 付 年 月 日

千 圓 「自何號何番
至何號何番」

五 百 圓 「何號何番」

五 拾 圓 「何號何番」

事 故 明治「何」年「何」月「何」日

第四號様式

用紙 美濃紙

公債募入人別簿

(郡役所ニ於テ設備スヘキ分)

募 入 者 住 所 氏 名 「何 地」 「何 某」

第八號様式

用紙

紙質堅牢ナル美濃紙ノ類ヲ用ユヘシ

公債証書發行簿

割印

愛知縣公債証書何圓券

發行年月日

明治何年何月何日

發行價格

金何圓何錢何厘

明治三十三年十二月渡

明治三十四年六月渡

明治三十四年十二月渡

明治三十五年六月渡

何金庫仕拂日

利子仕拂區分

事故

第九號様式

用紙

紙質堅牢ナル美濃紙ノ類ヲ用ユヘシ

公債証書記名簿

記名者

何郡市町村

何

某

割印

額面種類記番號

記名變換年月日

事故

何圓券

受 明治何年何月何日

何地何某ヨリ買入又ハ讓受

何圓券

受 明治何年何月何日

何地何某へ賣渡又ハ贈與

何圓券

受 明治何年何月何日

何圓券

受 明治何年何月何日

第十號樣式

代利札

印 割

札利代書証債公縣知愛

第「何」號 債主「何地」「何」 某「波」
 所屬公債種類「何」 圓券「何々」「何」 番
記號 番 號 無記名

一金「何」程

但明治「何」年「何」月渡利子

右愛知縣公債募集及償還方法第二十二條ニ依リ本日發行ス

明治「何」年「何」月「何」日

知 事 印

第十一號樣式 用紙

代利札發行簿

番 號	第「何」號	發 行 年 月 日	明 治「何」年「何」月「何」日
利 金 額	金「何」程	債 主	「何地」
所屬公債	証書額面	圓 券	「何」
証書摘要	記 番 號	無記名	「何」
事 由	利子所屬	明 治「何」年「何」月渡分	

第十二號様式 用紙半紙

公債利金受取証

明治 [何] 年 [何] 月 [何] 日

記

名愛知縣公債利金受取証

[何] 金庫 扱

利 札 額 面 高 金

所得稅控除高金

差引利金仕拂高金

利 千 圓 券

[自何々何番
至何々何番]

[何] 枚

札 五 百 圓 券

シ

[何] 枚

内 百 圓 券

シ

[何] 枚

譯 五 拾 圓 券

シ

[何] 枚

右領收候也

明治[何]年[何]月[何]日

債主 [何] 地 [何]

某 [印]

縣 金 庫 宛

第十三號様式 用紙半紙

甲第 [何] 號 愛知縣公債利子仕拂通知書 [何] [本] [支] 金 庫 拂

利子總額金 [何] 程

一金 [何] 程

印扱者

利子仕拂高

外金 [何] 程

所得稅控除高

但愛知縣公債証書額面[何]圓ニ對スル明治[何]年[何]月[何]日利子

右金額前記縣金庫ニ於テ可仕拂ニ付現金受領ノ際次ノ欄内ニ年月日ヲ記入シ署名捺印ノ上當該金庫ニ交付可有之候也

明治[何]年[何]月[何]日

知 事 氏 名 印

[何] 地

[何] 某 殿

前書ノ金額正ニ領收候也

右

明治[何]年[何]月[何]日

[何] 某 [印]

通知書

發付者印

乙第「何」號 愛知縣公債利子仕拂案内書 「何」地「何」某「渡」

利子總額金 「何」程

一金「何」程

印 扱者

利子仕拂高

外金「伺」程

所得稅控除高

但愛知縣公債額「而」何圓ニ對スル明治「何」年「何」月渡利子

右規定ノ手續ニ依リ仕拂可有之候也

明治「何」年「何」月「何」日

知事氏

名 印

「何」金庫宛

第十四號様式 用紙 公債元利金受取証

明治「何」年「何」月「何」日 「記」 名愛知縣公債元利金受取証 「何」金庫扱
當籤又ハ滿期分 「無記」

公債額面高							
利札額面高							
所得稅扣除高							
差引元利金仕拂高							
証	千圓券	「自何々何番 至何々何番」					
書	五百圓券						
内	百圓券						
譯	五十圓券						
右領收候也							
明治「何」年「何」月「何」日							
債主氏 名 印							
縣金庫宛							

第十五號様式

明治何年度

公債元利金受拂簿

縣金庫

縣ノ財務

二七九

年月日	摘要	受			拂			残		
		円	銭	厘	円	銭	厘	円	銭	厘
明治何何	現金受領額	1,000	000	0				1,000	000	0
何何	某支金庫へ仕拂 基金トシテ拂渡				100	000			900	00
何何	何々拂				200	000			700	00
何何	[何々=付戻入]						1	000		00

縣ノ財務

二七八

第十八號

第十七號樣式

明治何年度

公債元利金仕拂内譯簿

縣本金庫

本簿ハ左記ノ通り各種類毎ニ口別ヲ爲スモノトス
 (何年何月當銀償還元金)(何年何月渡分利子)
 (何年何月滿期償還元金)(何年何月渡分利子)
 過年度支出ニ屬スル分ハ前項ノ例ニ準シ特ニ口坐
 ヲ設ケ整理スヘシ

總括					
年月日		摘要	仕拂額		累計
明治何	何年何	何々(口坐名)始何件	円	銭	円
			300	000	300000
何々					
年月日		摘要	仕拂額		累計
明治何	何年何	縣本金庫仕拂額	円	銭	円
			200	000	
		何支金庫仕拂報告	100	000	300000

第十八號様式 用紙 野半紙

公債元利金受拂總報告書

縣 本 金 庫

種目	金額	員	備考
本年度分			
元金			
何年何月當期			何圓証書何枚 此受取証書何枚
何年何月滿期			全 上
利金			受取証書何枚 此金何程
何年何月渡			全 上
何年何月渡			何圓証書何枚 此受取証書何枚
過年度分			
元金			
何年何月當截			

何年何月滿期

利 金

何年何月渡

何年何月渡

合 計

備 考

金

金

金

右及報告候他

明治何年何月何日

縣 本 金 庫 印

現金前渡受領高

仕 拂 高

差 引 殘 高

全 上

全 上

全 上

全 上

類中三〇
八頁參看

縣令第八十號 明治三十三年十月十八日
明明二十九年十一月十一日縣令第五十七號市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法納金收入規則へ左ノ通り追加ス
第六條 前各條ノ外明治三十三年九月縣令第七十二號ノ規程ヲ準用ス

訓令第七十二號

明治三十三年十月三十一日

內務部	警察部	監獄署
郡役所	警察署	警察分署
監獄支署	縣立學校	農事試驗場
水産試驗場	縣立病院	博物館
測候所	驛徵院	

縣經濟ヨリ支給スル報酬及手當巡査月手
當ヲ除クノ支給方法ハ明治三十二年九月訓令第五十六號縣經濟ノ支辨ニ屬スル俸給支給規則ニ依ル但退職ノトキ及欠勤十五日以上ニ涉ルトキハ日割ヲ以テ支給ス

第二百七十八號 (訓令)

明治三十三年十一月九日

內務部	警察部
警察署	警察分署
署	署

明治三十三年三月訓令第七十三號巡查旅費支給規程中左ノ通改正ス

類中四九
〇頁參看

第三條 左ノ一號ヲ追加シ從前ノ十ヲ十一ニ改ム

十 汽鐵検査員其他縣廳ヨリ派出スル職員ニ同行ヲ要スル事件

第四條 左ノ如ク改ム

第四條 鐵道列車内ノ取締ニ從事スル者ニシテ乗車ノ時ハ汽車賃及宿泊料ヲ給セス日當ハ縣外ニ涉ルト雖モ縣内ノ定額ヲ支給ス

縣令第八十七號

明治三十三年十一月二十一日

市町村立小學校教員年功加俸及特別加俸請求手續左ノ通定ム

市町村立小學校教員年功加俸及特別加俸請求手續

第一條 明治三十三年六月縣令第五十七號市町村立小學校教員加俸給與細則第一條ニ依リ毎年十月四日

ニ於テ支給スル市町村立小學校教員ノ年功加俸及特別加俸ハ第一號若ハ第二號様式ニ依リ請求書ヲ調製シ各支給期月ノ五日マテニ縣廳ニ差出スヘシ

第二條 明治三十三年六月縣令第五十七號市町村立小學校教員加俸給與細則第一條但書ニ依リ支給スル

市町村立小學校教員ノ年功加俸及特別加俸ハ休職退職若ハ其他ノ理由ニ依リ加俸ヲ罷メラレタル時ハ前條ノ請求書ヲ縣廳ニ差出スヘシ

年功加俸若ハ特別加俸ヲ受ケル者死亡シタルトキハ其ノ相續人ヨリ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第三條 同一小學校内ニ第一條ノ加俸(同一種類ノ加俸)ヲ受ケヘキモノ二人以上アルトキハ便宜惣代人ヲ撰定シ其惣代人ヨリ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ第三號様式ニ依リ豫メ縣廳ニ届出ツヘシ

第四條 前條ニ依リ惣代人ヨリ差出ス請求書ハ第四號様式ニ依ルヘシ

第五條 加俸ノ請求ヲ爲スニ方リ計算上厘位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ之ヲ切捨ツヘシ

(第一號樣式)

年功加俸請求書

一金何程 何郡(市)何町(村)立何尋常(尋常)(高等)小學校 訓導(准訓導) 何 某

但小學校教員年功加俸年額金何圓ニ對スル何年度第何期(何月ヨリ何月迄)分又ハ(何月ヨリ何ヶ月分)右請求候也

年 月 日

現住所

何 某印

知事宛

備考

一 市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法ニ依リ年功加俸ヲ受ケタルモノハ本樣式但ノ下へ「市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法ニ依リ下賜セラレタル」ト記入スヘシ

二 特別加俸ノ請求書ハ年功トアルヲ渾テ「特別」ト記スヘシ (第二號樣式)

年功加俸差額請求書

一金何程 何郡(市)何町(村)立何尋常(尋常)(高等)小學校 訓導(准訓導) 何 某

但市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法ニ依リ受領願何程ノ處現行加俸令ニ依リ年願何程下賜ニ付此差願何程ニ對スル何年度第何期(何月ヨリ何月迄)分又ハ(何月ヨリ何ヶ月分)右請求候也

年 月 日

現住所

何 某印

知事宛

備考

一 本樣式ノ差額ハ假令ハ市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法ニ依リ年額參拾圓ノ加俸ヲ受ケタルモノ更ニ現行加俸令ニ依リ年額貳拾四圓ノ年功加俸ヲ下賜セラレ後ノ加俸額前加俸額ヨリ寡キ場合ヲ云フ然シテ其差六圓ヲ折半シタル額即チ參圓ト記スルモノトス (第二號樣式)

年功(特)加俸受領惣代人撰定届 何郡(市)何町(村)立何尋常(尋常)(高等)小學校 訓導(准訓導)

現住所

何 某

訓導(准訓導)

現住所

何 某

右ノ者惣代人ニ撰定シ拙者共へ御交付可相成市町村立小學校教員年功加俸(特別加俸)ノ請求及受領方季任致候間連署ヲ以テ及御届候也

年 月 日

受任者 何 某印

何郡(市)何町(村)立何尋常(尋常)(高等)小學校 訓導(准訓導)

委任者 何 某印

備考 知事宛

委任者

一 委任者受任者中異動シ生シタルトキハ更ニ届出ヲ爲スヘシ
(第四號様式)

年功(特別)加俸請求書

何某始メ何名惣代

一金何程

何某

内譯

年功(特別)加俸額	事	由	學	校	名	職	氏	名
金 何 程	何 年 度 第 何 期 分	何 郡 (市) 何 町 (村) 立 何 尋 常 (高等) 小 學 校				訓 導 (准 訓 導) 何 某		
金 ・ 何 程	何 年 度 自 何 月 至 何 月 何 々 月 分							
、	、							
、	、							
、	、							
、	、							
、	、							
、	、							
、	、							

右請求候也

年 月 日

知事宛

右 何 某 印

注意

- 一 請求書ノ料紙ハ半紙罫紙ヲ用ヒ紙首ニ必ス三行ノ空罫ヲ存置スルヲ要ス
- 二 字体ハ最モ端正ヲ主トシ描改塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等アリテ訂正ヲ加ヘタルトキハ欄外等便宜余白ニ其理由ヲ記シ傍ニ本人ノ証印ヲ要ス
- 三 金額ニハ「壹、貳、參、拾、貳拾」ノ字ヲ用ヒ罫字ヲ記スヘカラス

第六號 (訓令)

明治三十四年一月二十二日

内務部 警察所 警察署 縣立學校 縣立病院

明治二十八年十月訓令第八十八號工事受負及物件賣買貸借修繕規程第六條ノ保証金ハ本縣公債証書ヲ以テ代納セシムルコトヲ得但し其價格ハ額面ニ依ル

第二十四號 (訓令)

明治三十四年二月十二日

内務部

學事視察ノ爲出張ヲ命シタルモノニ對シ支給スル旅費ハ縣經濟ノ支辨ニ屬スル旅費支給規則ニ定ムル方法ニ依リ其支給額ハ同規則第一條第一級ノ旅費額ニ依ル

縣令第十一號

明治三十四年二月二十七日

明治三十三年三月 縣令第三十號營業稅雜種稅取締規則左ノ通改正ス

營業稅雜種稅取締規則

- 第一條 營業稅雜種稅ヲ賦課セラル、者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其時々郡長ニ届出ヘシ但第一號乃至第四號ノ場合ニ於テハ其課稅ノ要件ヲ記載スヘシ
- 一 營業ヲ開始シ又ハ水車、船、車、馬ヲ取得シ其他總テ納稅義務ノ生シタルトキ
 - 二 營業其他賦課標準ノ異動ニ依リ稅額ノ増加シタルトキ
 - 三 理髮人ノ助手人員及水車稅ノ賦課標準タル員數ノ増加シタルトキ
 - 四 兼業又ハ轉業ヲ爲シタルトキ
 - 五 轉居(某町村大字内ニ係ルモノヲ除ク)又ハ改氏名ヲ爲シタルトキ
 - 六 營業主又ハ水車、船、車、馬ノ所有者變更シタルトキ
 - 七 船舶ノ定繫場ヲ變更シタルトキ
 - 八 營業其他賦課標準ノ異動ニ依リ稅額ノ減少シタルトキ
 - 九 理髮人ノ助手人員及水車稅ノ賦課標準タル員數ノ減少シタルトキ
 - 十 納稅義務ノ消滅シタルトキ
- 第二條 金額ヲ標準トシテ年稅ヲ賦課スル營業者ニシテ左ノ第一號及第二號ニ該當スルモノハ毎年一月二十日マテニ第三號ニ該當スルモノハ毎年四月七日マテニ賦課標準額ヲ郡長ニ届出ヘシ

一 前年中引續營業ノモノハ前年一ケ年中ノ金額

二 前年中營業ヲ開始セシモノハ開業ノ月ヨリ其年十二月マテノ金額

三 毎年一月ヨリ三月マテノ間ニ於テ營業ヲ開始セシモノハ開業ノ月ヨリ其年三月マテノ金額

第三條 左ニ掲クルモノハ納稅義務ノ生シタル日ヨリ五日以内ニ標札ヲ調製シ所轄町村役場ノ捺印ヲ受ケ之ヲ戶外ニ掲出スヘシ

- 一 卸賣業
- 一 小賣業
- 一 質屋業
- 一 宿屋業
- 一 運送業
- 一 貸附業
- 一 兩替業
- 一 製造業
- 一 印刷業
- 一 寫真業
- 一 請負業
- 一 料理屋
- 一 飲食店
- 一 待合茶屋
- 一 遊船宿

- 一芝居茶屋
- 一湯屋
- 一理髮人

第四條 左ニ掲クルモノハ營業ヲ開始シタルトキ又ハ船、車、馬ヲ取得シタルトキ所轄郡役所ノ鑑札ヲ受ケ其營業ニ屬スルモノハ之ヲ携帶シ物件ニ屬スルモノハ其物件ニ付着スヘシ但賦課規則ニ於テ縣稅ヲ賦課セサルモノ及他ノ規則ニ依リ官署ヨリ鑑札ヲ受クルノ規定アルモノ又ハ沿海漁業組合員タル漁業人ニシテ其組合員ノ証票ヲ所有スルモノハ此限ニアラス

- 一行商
- 一蘭、糸屑ノ買出業
- 一牛馬賣買業
- 一職工
- 一日雇稼
- 一出稼ヲナス理髮人
- 一遊藝師匠
- 一遊藝稼人
- 一相撲撲行司
- 一俳優
- 一附問
- 一藝妓藝妓
- 一漁業人

- 一乘馬
- 一自轉車
- 一驅馬

第五條 鑑札ハ賣買、貸借、讓渡又ハ讓受ヲナスコトヲ得ス但船、車、馬ニ屬スル鑑札ニシテ其物件ヲ貸借スル場合ハ鑑札ノ貸借ト爲スノ限ニアラス

第六條 鑑札ハ廢業死亡轉居(郡内ニ係ル)船、車、馬ノ廢業其他納稅義務ノ消滅又ハ物件所有者變更ノ場合ニ於テハ之ヲ還納スヘシ

第七條 鑑札ヲ受ケタル後郡内ノ轉居(其町村大字内ニ係ルモノヲ除ク)改氏名又ハ相續ノ爲メ鑑札面記載ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其訂正ヲ請ヒ毀損若クハ亡失シタルトキハ其交付ヲ請フヘシ

第八條 馬車、人力車、荷積牛馬車、荷積車(副木ノ類トモ)ニハ所轄郡役所ノ檢印ヲ受クヘシ但賦課規則ニ於テ縣稅ヲ賦課セサルモノハ此限ニアラス

第九條 左ノ場合ニ於テハ檢印ノ削除ヲ請フヘシ
一 第三條ニ依リ受ケタル檢印ハ廢業又ハ町村外ニ移轉シタルトキ

一 第八條ニ依リ受ケタル檢印ハ廢業及課稅外ノ車トナリ若ハ他府縣又ハ名古屋市へ移轉シタルトキ
第十條 滯納處分ヲ受ケタルモノ次期ノ賦課期日ニ於テ所在分明セサルトキハ届出ヲ俟タス之ヲ廢業者若クハ物件廢業者トシ其鑑札及檢印ハ之ヲ無効トス

第十二條 遊覽所演劇其他諸興行ニシテ警察官署ニ届出ルモノ、中縣稅ノ賦課ヲ受ケタルモノハ其届出ノ際税金ノ領收証書ヲ示スヘシ
第十二條 金額ヲ標準トシテ年稅ヲ賦課セラル、營業者ノ帳簿ニハ賦課標準ノ類別ニ從ヒ日々其金額

ヲ記載シ毎月末ニ月計及通計ヲ附記スヘシ

前項ノ規定ハ行商蘭、糸屑買出業牛馬賣買業ニモ亦之ヲ準用ス

第十三條 營業稅雜種稅ノ賦課ニ關スル檢査ヲ行フ場合ニ於テ受檢者ハ檢査官吏ニ對シ其証票ノ開示ヲ求ムルコトヲ得

第十四條 左ニ掲グルモノハ三日以上十日以下ノ拘留又ハ貳拾錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

一 第一條第一號乃至第四號及第二條ノ届出ヲ爲サ、ルモノ

二 第三條、第四條、第五條、第八條又ハ第十二條ニ違背シタルモノ

三 届出ノ課稅要件又ハ金高ノ記帳ニ虛偽アルモノ

第十五條 本則第一條及第二條ノ届書ハ別紙第一號乃至第三號樣式ニ準シ第三條ノ標札ハ第四號樣式ニ依ルヘシ

第十六條 本則ニ依リ届出ルモノハ左ニ定ムル區別ニ從ヒ其所屬町村長ヲ經由スヘシ

一 店舗又ハ場所ヲ定メテ營業ヲ爲スモノハ店舗又ハ場所ノ所在地

二 水車又ハ漁業場ハ其所在地

三 船舶ハ定繫場ノ所在地

四 屠畜ハ其屠畜場ノ所在地

五 車馬ハ其所有者ノ所在地

六 前各號ノ外ハ總テ届出人ノ現住地

第十七條 本則ハ特ニ免稅ノ許可ヲ受ケタルモノニモ亦之ヲ適用ス

第十八條 本則ハ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス

第十九條 本則施行ノ日ニ於テ蘭、糸屑買出業牛馬賣買業ヲ爲スモノ及自轉車ヲ所有スルモノハ四月七日マテニ郡長ニ届出鑑札ヲ受ケヘシ但自轉車所有ノ届書ニハ護謨輪又ハ護謨輪以外ノ區別ヲ記載スルヲ要ス

第二十條 本則施行ノ日ニ於テ水車ヲ所有スルモノ及理髮業ニ従事スルモノハ四月七日マテニ明治三十三年十月ヨリ同三十四年三月マテノ間ニ於ケル賦課標準ノ最多數タル員數ヲ記載シ郡長ニ届出ヘシ

第二十一條 本則施行以前ニ受ケタル鑑札又ハ檢印ハ總テ有効トス

第二十二條 沿海漁業組合員タル漁業人ニ交付シタル鑑札及本則施行前ニ交付シタル自轉車ノ鑑札ハ四月七日迄ニ還納スヘシ

(第一號) 届書式

届

一金 何 程
 但小賣賣上金
 一金 何 程 (兼業ノ場合)
 但卸賣賣上金
 合計金何程
 右(開業)(兼業)(轉業)候付(明治何年間ノ何々金額前額ノ通相違無之依テ)御届仕候也

何町村何大字何番戶

某

屋號 何

年 月 日

氏 名

縣ノ財務

二九七

郡長宛

記載例

- 一 金額ヲ標準トシテ年税ヲ賦課スル營業ニ關スル届書ハ此例ニ依ルヘシ
- 一 年度内兼業又ハ轉居ヲナスモノハ從來ノ營業ヲ朱記シ合計ヲ付スルモノトス
- 一 運送業ノ收入金ト手數料トヲ合算スル場合ハ届書式中但書ニ手數料ノ金額及其十六倍ノ金額ト收入金額トヲ掲ケ別ニ之ヲ合算シタル額ヲ掲記スルモノトス
- 一 一ケ年間ノ賣上金、手數料、請負金又ハ收獲金ヲ届出ルモノハ賦課標準ノ金額及科目ヲ明記シ其月割平均ニ依リ算スルモノハ其實額ヲ付記スルモノトス
- 一 縣内他郡市ヨリ轉業并ニ移住ノモノニ係ル届書ニハ總テ其旨届書式中但書ニ付記スヘシ
- 一 第一條第五號ノ届書ニシテ賣買讓渡、讓受者同一郡内ナルトキハ届書ニ双方連署スヘシ
- 前項ハ第二號届書ニモ之ヲ適用ス
- (第二號)

届

(開業地) 何町村何大字何番(戶)(地)

(定緊地) (營業者、所有者)

(屋號、藝名)

何 某

生 年 月

一(營業名、水車、船、車、馬其他何々)
但(課税ノ要件ヲ記載スヘシ)

原籍何々

右(開業、開場、所有)候付御届仕候也

年 月 日

郡 長 宛

記 載 例

現住所何々

氏 名

一金額ヲ標準トナササル年税若ハ月税ノ賦課ヲ受クルモノ又ハ漁業場ヲ開設スルモノノ届書ハ此例ニ依ルヘシ

一沿海漁業組各員タル漁業人ノ届書ハ總テ漁業組合役員ノ連署ヲ要ス

一届書式中但書ノ賦課要件ハ左ノ區別ニ從ヒ記載スルモノトス

一行商蘭系屑買出業牛馬賣買業ハ店舗ノ有無并ニ其營業名

職工ハ出稼專業ナルコト

商店ハ其店數

湯屋ハ等級別

理髮人ニシテ助手アルモノハ其人員及其年齡

口備稼、職工、遊藝稼人、等級ノ定メアル藝妓、漁業人ハ生年月

遊技場ハ其遊技名及其遊技數

船ハ間數、石數、噸數及定繫場但遊船ハ其旨明記スルヲ要ス

馬車ハ二正立、一正立ノ別人力車ハ一人乗、二人乗ノ別荷積牛馬車ハ二輪四輪ノ別荷積車ハ大車小

車ノ別

水車ハ其類別及賦課標準トナルヘキ個數

鏡漁業ハ棚幅ノ間數

待各茶屋、遊船宿、芝居茶屋、遊藝師匠、幫間、酌婦、人寄席又ハ乘馬、騾馬ハ賦課標準ノ記載ヲ要セス但乘馬、騾馬ハ其馬名及毛色ヲ明記スヘシ

自轉車ハ護謨輪又ハ護謨輪以外ノ區別

一縣内他郡市ヨリ轉業又ハ移住ノモノニ係リ届書ニハ總テ其旨届書式中但書ニ付記スヘシ
(第三號)

届

原籍何府縣何郡何町村何番戶
何町村何大字何番戶

何 某

何町村何大字(何處)(何座)ニ於テ(何月何日ヨリ何日マテ何日間)(最高木戶錢金何程ト定メ)(一日中何回ニ打切)(演劇)(何々興行)(何々何頭屠殺)(何市)(開設)候間御届仕候也

右

氏 名

年 月 日

郡 長 宛

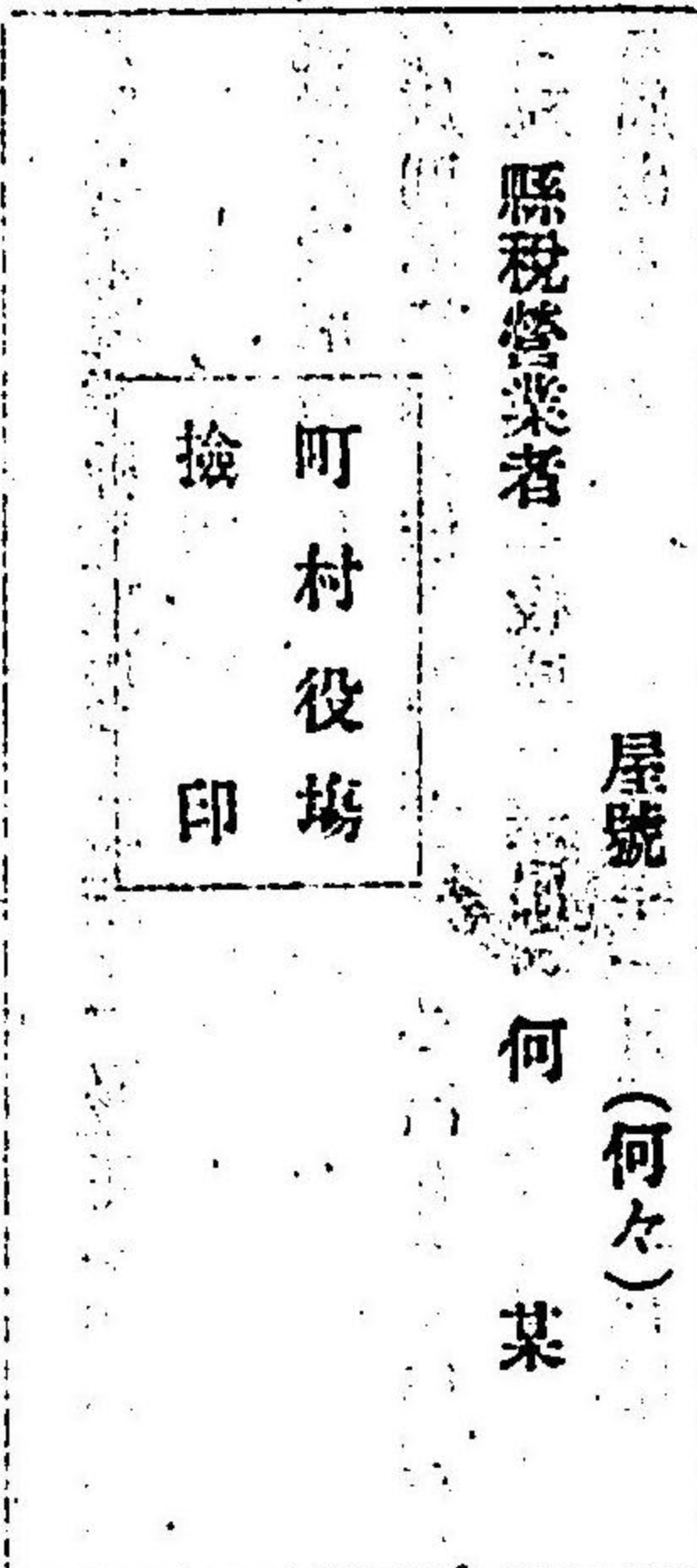
記 載 例

一演劇、興行、市場、遊覽所又ハ屠畜ニ關スル届書ハ此例ニ依ルヘシ
(第四號)

標札式

何郡何村何大字何々

尺 四 寸



屋號 (何々)

何 某

一湯屋、理髮人ハ其業名ヲ掲クヘシ

縣令第十二號

明治三十四年二月二十七日

明治三十三年一月縣令第八號縣稅徵收期限左ノ通改正シ明治三十四年三月一日ヨリ施行ス

一 地 租 割	前期半額	其年四月ヨリ	四月二十日ヨリ四月三十日限
	後期半額	其年十月ヨリ	十月二十日ヨリ十月三十一日限
二 戶 數 割	前期半額	其年四月ヨリ	五月二十日ヨリ五月三十一日限
	後期半額	其年十月ヨリ	十一月二十日ヨリ十一月三十日限
三 營業稅雜稅中年稅	前期半額	其年四月ヨリ	六月二十日ヨリ六月三十日限
	後期半額	其年十月ヨリ	十二月二十日ヨリ十二月三十日限
四 營業稅附加稅	前期半額	其年三月ヨリ	六月二十日ヨリ六月三十日限
	後期半額	其年九月ヨリ	四月十五日ヨリ四月二十日限

五 築 漁 業 場 稅	全額一季分	開場ノ日ヨリ十五日限
六 屠 畜 稅	前月分	翌月一日ヨリ十五日限
七 月 稅	全額其月分	毎月一日ヨリ十五日限
八 日 稅	納稅義務ノ生シタルトキヨ リ次ノ賦課期日マテノ分	其届出ノ日限
九 隨時徵收ニ係ル年稅	全額其月分	翌月一日ヨリ十五日限
十 隨時徵收ニ係ル月稅	全額其月分	其届出ノ日限
十一 賦課期日后徵收期日前他ノ市 町村ハ移轉セムトスルモノ 營業稅附加稅中營業稅法	其届出ノ日限	其届出ノ日限
十二 第三十條ニ該當スルモノ	程額ノ確定シタル日ヨリ十五日限	

各項ニ掲グル徵收期限休日ニ當ルトキハ其翌日ヲ以テ期限トス

訓令第五號

明治三十四年二月二十七日

郡 役 所
町 村 役 場

明治三十一年三月訓令第十四號營業稅雜種稅取扱手續左ノ通改正シ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス

第九頁參看

營業稅雜種稅取扱手續

第一條 營業稅雜種稅取扱規則第二條ニ依リ營業者ヨリ差出シタル届書ハ町村長ニ於テ取纏ノ第一號ノ式ニ依リ總計書ヲ付シ左ノ日限内ニ郡役所ヘ差出スヘシ

一 毎年一月二十日マテニ届出ノモノ 其年一月三十一日限

一 毎年四月七日マテニ届出ノモノ

其年四月十五日限

第二條 營業稅雜種稅取扱規則第四條ニ依リ下附スル鑑札ハ第二號乃至第四號ノ式ニ依リ同第八條ニ依ル檢印ハ第五號ノ式ニ依リ馬車ハ腕木ノ右方、人力車ハ楫木右方ノ外部、荷積馬車及荷積車ハ荷

臺前木ノ後部右方ニ烙印スヘシ

第三條 營業稅雜種稅取扱規則第三條ニ依リ標札ノ檢印ヲ請フモノアルトキハ町村長ハ直ニ標札ニ檢印シ之ヲ交附スヘシ

第四條 營業稅雜種稅取扱規則ニ依リ下附セシ鑑札及檢印ニシテ毀損亡失其他同則第十條ニ該當スルモノアルトキハ郡長ハ速ニ縣廳ニ報告スヘシ

前項ノ報告ニハ左ノ要件ヲ記載スルヲ要ス

一 所有者住所氏名

一 課稅物件名又ハ營業名

一 下付ノ月日及番號アルモノハ其月日及番號

一 毀損亡失又ハ無効トナリシ事由

其他必要ト認ムル事項

第五條 營業稅雜種稅取扱規則第十條ニ依リ廢業者トナシ又ハ鑑札及檢印ヲ無効ト爲シタルモノアルトキハ郡長ハ徵稅原簿ヨリ除去シ其旨ヲ町村長ニ通知スヘシ

第六條 縣内他郡ノ者ヘ課稅物件ヲ賣却讓與シ又ハ船舶ノ定繫場ヲ變更シ及營業者轉住ノ上引續營業ヲ爲ス者アルトキハ郡長ハ其氏名并ニ課稅ノ要件ヲ移轉セシ所轄郡長ヘ通知スヘシ

第七條 營業ニ關スル課稅標準金額并ニ課稅物件ノ檢査ハ郡長ニ於テ之ヲ行フヘシ

前項ノ檢査時日及場所并ニ檢査ノ成績ハ其都度縣廳ヘ報告スヘシ

第八條 縣稅賦課規則第十六條第十七條ニ依ル課稅ニ關スル認定ハ郡長之ヲ行ヒ其認定ヲ爲シタル科目及賦課額ハ町村長ヲ經テ之ヲ納稅者ニ通知スヘシ

第九條 荷積車ノ尺積及解漁船、川船、積石五十石未滿ノ海船ノ間數算出ハ左ノ方法ニ依ルヘシ
一 荷積車ノ尺積ハ車臺_{副木ノ}縱_{前後ノ}横_{巾同シカラサルモノハ最廣最狹及其中間ノ}尺寸_曲ヲ相乘シタル積數ニ依ル

一 船ノ間數ハ船梁ヨリ船梁ニ至ル間數其船梁船梁ナキ船ハ荷物積載要部ノ間數ニ依ル
第十條 農業用ノ檢印ヲ付シタル車ニシテ使用ノ目的ヲ變更シ營業稅雜種稅取締規則第一條第一號ニ依リ届出タルトキハ農業用ノ檢印ヲ削除スヘシ

(第一號)

營業稅雜種稅ノ内總計書

商業

卸賣

小賣

何町村役場

何戸

何戸

以下賦課科目別毎ニ列記スヘシ

總計

何戸

外卸賣何戸小賣何戸期限内ニ届出サルモノ
右及進達候也

年 月 日

(第二號)

郡長 宛

何町村長

木製 堅曲尺二寸三分
横曲尺一寸七分

表

第何號

○ 何々行商鑑札

郡町村大字

何 某

携帶人 何 某

裏

年 號 月 日

○

印 烙

表

第何號

○ 乘馬鑑札

馬 毛 付名

郡町村太字

何 某

所有人 何 某

裏

年 號 月 日

○

印 烙

驅馬ノ鑑札モ之ニ做フ但馬名ナキ者ハ記載ニ及ハヌ又數人ノ共有ニ係ルモノハ外何名ト記載スヘシ
繭糸屑買出業、牛馬賣買業、職工、日傭稼、漁業人、自轉車ノ鑑札ハ右ニ做ヒ調製スヘシ

職工ノ鑑札面ニ其職名ヲ記載スヘシ
免稅ノ許可ヲ受ケタルモノハ鑑札面番號ノ下ヘ(免稅)ト朱記スヘシ
(第三號)

紙製 堅曲尺三寸 輪廓付

第何號	藝名何	年號月日
第何等	原籍何所	裏 愛知縣何郡役所
表 遊藝人鑑札	郡町村大字何々寄留 何 某	團

理髮人^他ハ出稼^トヲ 遊藝師^ト匠、藝妓^ト酌婦^ト相撲^ト行司^ト俳優、封問ノ鑑札ハ此例ニ倣ヒ調製スヘシ
等級若クハ藝名ナキモノハ記載スルニ及ハス
免稅ノ許可ヲ受ケタル者ハ第二號式ノ鑑札記載例ニ同シ
總テ鑑札ノ訂正ヲ請フ者アルトキハ朱字訂正ヲ加ヘ鑑札ノ裏ニ年號月日訂正ト朱記シ主務者認印ヲ爲スヘシ

(第四條)
木製 堅曲尺五寸 横曲尺三寸

(第五號) 車ノ檢印

明治何年	定繫場何郡何港
第何號	船名(船名ナキモノハ記載ニ及ハス)
船 鑑 札	何船(小廻船、遊船、 浮流船ノ類)
烙 印	何間
所有者	住所
氏 名	
官 廳 名	大 車

堅曲尺一寸五分 横曲尺一寸

檢印ハ總テ烙印トス
大車ノ烙印ハ荷積大車ニ限リ用フルモノトス

告示第三十六號 明治三十四年三月六日
愛知縣公債募集及償還方法第十四條第二十條第二十一條ノ費用額及公債利子請求等ニ關スル手續左ノ

通定ム

第一條 愛知縣公債ノ定期拂ニ係ル利子ハ各仕拂期月ノ一日ヨリ二十五日迄ノ間ニ於テ其拂渡ヲ縣金庫ニ請求スヘシ

第二條 記名公債ノ利子ハ縣内ノ債主ハ其住所地ヲ出納區域トスル縣金庫ニ縣外ノ債主ハ縣本金庫ニ於テ拂渡ヲ受クヘシ但債主ニ於テ便宜仕拂金庫ヲ指定スルコトヲ得此場合ニ於テハ利子仕拂期月ノ前月十五日迄ニ縣廳ニ届出ルモノトス

無記名公債ノ利子ハ適宜ノ縣金庫ニ於テ拂渡ヲ受クヘシ

第三條 公債利子ノ仕拂ヲ請求セントスルトキハ公債利金仕譯書用紙ニ式ノ如ク記入捺印ノ上利札ト共ニ差出シ之ヲ引換ニ現金ノ交付ヲ受クヘシ

公債利金受取仕譯書用紙ハ其時々縣金庫ニ於テ交付ス

第四條 記名公債証書所有者ハ左ノ事項ヲ速ニ縣廳ニ届出ヘシ

一 住所ヲ變更シタルトキ

二 實印ヲ改メタルトキ

改印届ハ市町村長ノ証明シタル印鑑ニ葉ヲ添付スルモノトス

第五條 毎年五月二十日ヨリ六月二十五日迄及十一月二十日ヨリ十二月二十五日迄ハ左ノ事項ノ取扱ヲ停止ス

一 公債証書ノ記名ヲ變換スルコト

二 無記名証書ヲ記名ニ記名証書ヲ無記名ニ變換スルコト

第六條 第二條但書及第四條ノ届書ニハ届出人氏名ノ肩ニ記名公債証書所有者「タル」ヲ明記スヘシ

第七條 愛知縣公債募集及償還方法第十四條第二十條第二十一條ノ費用ハ左ノ標準ニヨリ之ヲ徴収ス

一 無記名証書ヲ記名ニ變換	証書一枚ニ付	金拾	錢
二 記名証書ヲ無記名ニ變換	全	金貳拾	錢
三 無記名代証書交付	全	金貳拾	錢
四 記名代証書交付	全	金貳拾	錢
五 代利札交付	利札一枚ニ付	金拾	錢
六 廣告料	實費		

前項第一號乃至第五號及愛知縣公債募集及償還方法第十九條ノ費用ハ之ヲ前納シ第六號ノ費用ハ概算額ヲ以テ豫納スルモノトス

縣令第十七號

明治三十四年三月十六日

愛知縣會計規則左ノ通定ム

愛知縣會計規則

第一章 總 則

第一條 縣ノ歳入歳出會計年度ノ所屬ハ左ノ區分ニ依ル

歳入ノ年度所屬

- 一 賦課期日ヲ定メテ賦課徴収スル縣稅ハ其賦課期日ノ屬スル年度
- 二 縣稅外ノ諸收入ニシテ納期ノ一定シタル收入ハ其納期末日ノ屬スル年度
- 三 隨時ノ收入ニシテ徴稅令書若クハ納入告知書ヲ發スルモノハ其令書若クハ告知書ヲ發シタル日ノ屬スル年度
- 四 隨時ノ收入ニシテ徴稅令書若クハ納入告知書ヲ發セサルモノハ出納吏ニ於テ現金ヲ領取シタル

縣令中二三
實費

- 日ノ屬スル年度
- 五 國庫補助金及下渡金ハ其補助若クハ下渡ヲ豫定セシ年度
歳出ノ年度所屬
- 一 縣債元利年金扶助料ノ類ニシテ仕拂期月ノ一定シタルモノハ其期月ノ屬スル年度
- 二 縣會議員、縣參事會員、縣委員ノ費用辨償吏員ノ給料旅費手當手數料窮民救護費ノ類ハ其支給
スヘキ事實ノ生シタル日ノ屬スル年度
- 三 補助金、行旅病人死亡人取扱費欠損補填金ノ類ハ其支費又ハ補填ノ決定ヲ達シタル日ノ屬スル
年度
- 四 工事費製造費應中雜費其他物件購入代價ノ類ハ契約ヲ爲シタル日ノ屬スル年度但契約履行ノ次
年若ハ數年ニ涉ルコトヲ得ヘキモノハ契約ニ依リ定メタル仕拂期日ノ屬スル年度
- 五 前各號ノ類別ニ入ラサル費用ハ總テ仕拂命令ヲ發シタル日ノ屬スル年度
- 第二條 特別ノ用途ニ充テタル歳入ハ之ヲ他ノ用途ニ使用スルコトヲ得ス
- 第三條 縣金庫ハ特別ノ規定アル場合ノ外當該官吏々員其他職員ノ發シタル徵稅令書納入告知書現金
拂込書仕拂命令仕拂通知書仕拂切符ニ依ルニアラサレハ現金ノ出納ヲ爲スコトヲ得ス
- 第四條 此規則ニ於テ各條ト稱スルモノ左ノ如シ
 - 一 郡役所
 - 二 警察署
 - 三 縣立學校及病院
 - 四 縣徵院
 - 五 農事試驗場

六 水産試驗場

七 農事講習所

第二章 收入支出

- 第五條 縣稅使用料手數料及其他ノ諸收入ハ別ニ定ムル規定ニ從ヒ之ヲ徵收ス
- 第六條 縣稅使用料手數料及其他ノ諸收入ノ課納過納トナリタル金額ヲ歳入ヨリ拂戻ストキハ縣金庫
ニ對シ仕拂命令ヲ發ス
- 第七條 總テ支出ハ縣金庫ニ對シ仕拂命令ヲ發ス
- 第八條 各條ニ於テ支出ヲ要スル經費ハ各條長ヲシテ仕拂命令ヲ發セシム
- 各條長ニ委任シテ仕拂命令ヲ發セシムルトキハ毎年度決定ノ豫算定額ニ基キ仕拂豫算額ヲ定メ之ヲ
令達ス
- 前項ノ仕拂豫算ハ各自ノ金額ヲ示スヘシ
- 第九條 各年度ニ屬スル經費ヲ精算シテ仕拂命令ヲ發スルハ翌年度六月三十日限リトス
- 第十條 仕拂命令ハ縣ニ對シ正當ナル債主若シハ其代理人ノ爲ニスルニアラサレハ之ヲ發スルコトヲ
得ス
- 左ノ經費ハ當該官吏々員其他職員ニ委任シ又ハ特ニ命シタル銀行ニ委託シテ現金仕拂ヲ爲サシムル
爲メニ現金前渡ノ仕拂命令ヲ發スルコトヲ得
 - 一 縣債ノ元利拂
 - 二 仕拂場所ノ一定セサル經費
 - 三 縣金庫所在地外ニ臨時ニ設置スル事務所ノ經費
 - 四 官吏々員其他職員出張先ニ於テ特ニ仕拂ヲ要スル經費

- 五 工事費ニシテ特ニ工事現場ニ於テ仕拂ヲ要スル經費
- 六 外國ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費
- 七 警察分署ノ經費
- 第十一條 仕拂命令ニハ債主若クハ其代理人ノ氏名仕拂フヘキ金額年度番號ヲ記載スヘシ但支出科目ノ同一ナルモノハ數人ノ債主ニ對シ集合仕拂命令ヲ發シ別ニ各債主ノ金額氏名表ヲ添ユルコトヲ得
- 現金前渡ノ仕拂命令ニハ前渡ヲ受クヘキ者ノ資格氏名前渡ヲ爲スヘキ金額及年度番號ヲ記載スヘシ
- 第十二條 仕拂命令ハ一欸毎ニ之ヲ發スヘシ
- 第十三條 仕拂命令ハ之ヲ受取人ニ交付シ其領收證書ヲ徵スヘシ但數人ノ受取人ニ對スル集合仕拂命令又ハ送金ヲ要スル仕拂命令ハ直ニ縣金庫ニ交付スヘシ
- 前項但書ニ依リ仕拂命令ヲ縣金庫ニ交付シタルトキハ仕拂通知書ヲ各受取人ニ送付スヘシ
- 第十四條 仕拂命令ヲ受取人ニ交付セントスルトキハ前以テ案内仕拂命令ヲ縣金庫ニ交付スヘシ
- 第十五條 仕拂命令仕拂通知書ヲ受ケタル受取人ハ其命令若クハ通知書ニ指定スル縣金庫ニ於テ現金ノ仕拂ヲ受クヘシ
- 第十六條 縣金庫ハ案内仕拂命令集合仕拂命令若クハ送金ヲ要スル仕拂命令ヲ受ケタルトキハ其命令合式ニシテ且仕拂豫算ノ金額ニ超過セザルトキハ仕拂ヲ爲スヘシ
- 縣金庫ノ仕拂豫算ハ仕拂命令ヲ發スル官吏々員毎ニ所要ノ費額ヲ定メ之ヲ令達ス
- 前項ノ仕拂豫算ハ各欸ノ金額ヲ示スヘシ
- 第十七條 縣金庫ハ毎日其開庫時間内ハ仕拂命令仕拂通知書持參人ニ其命令又ハ通知書ト引換ニ即時現金ヲ交付スヘシ

- 縣金庫ニ於テ集合仕拂命令又ハ送金ヲ要スル仕拂命令ヲ受ケタルトキハ受取人ニ現金仕拂ノ手續ヲ爲シ其領收證書ヲ徵シ之ヲ仕拂命令ヲ發シタル官吏々員ニ送付スヘシ
- 第十八條 縣金庫ハ左ノ場合ニ於テハ事由ヲ仕拂命令若クハ仕拂通知書持參人ニ告ケ現金ノ仕拂ヲ拒ムヘシ
 - 一 案内仕拂命令又ハ金額氏名表ノ到達セザルトキ
 - 二 仕拂命令ト案内仕拂命令ト符合セザルトキ
 - 三 仕拂通知書ト仕拂命令若クハ金額氏名表ト符合セザルトキ
 - 四 仕拂命令若クハ仕拂通知書汚損シ案内仕拂命令若クハ金額氏名表ト照合シ難キトキ
 - 五 仕拂命令案内仕拂命令若クハ仕拂通知書ノ印影豫メ送付ヲ受ケタル印鑑ニ符合セザルトキ
 - 六 仕拂命令案内仕拂命令若クハ仕拂通知書ニ豫メ通知ヲ受ケタル官吏々員其他職員三名ノ捺印ナキトキ
 - 七 仕拂命令案内仕拂命令若クハ仕拂通知書中改竄塗抹其他變更ノ痕跡アルトキ但捺印ヲ誤リタルモノニシテ更ニ捺印アルモノハ此限ニアラス
 - 八 仕拂命令仕拂通知書規定ノ様式ニ違フトキ
- 第十九條 仕拂命令若クハ仕拂通知書所持人第十八條ノ場合ニ於テ現金ノ仕拂ヲ得ザルトキハ直ニ其事由ヲ仕拂命令若クハ仕拂通知書ヲ發行シタル官吏々員ニ申告シ其更正又ハ保証ヲ請求スヘシ
- 第二十條 仕拂命令仕拂通知書ヲ盜取セシレ又ハ亡失シタルトキハ記名者ヨリ其旨ヲ署名捺印シタル書面ヲ以テ仕拂命令仕拂通知書ニ指定シタル縣金庫ヲ經由シ仕拂命令仕拂通知書ヲ發行シタル官吏々員ニ届出ツヘシ
- 前項ノ届書ニハ其種類ニ從ヒ左ノ事項ヲ記載シ前ニ差出シタル請求書若ハ領收證書ニ押捺シタル印

- 影ト同一ノ印章ヲ捺スヘシ
- 一 仕拂命令ナルトキハ金額番號年度科目發行月日發行シタル官吏々員ノ氏名仕拂フヘキ縣金庫名受取人ノ住所氏名
- 二 仕拂通知書ナルトキハ金額番號年度仕拂フヘキ縣金庫名通知書ヲ交付シタル廳靡名及該通知書ヲ發行シタル官吏々員ノ氏名受取人ノ住所氏名
- 第二十一條 縣金庫ニ於テ第二十條ノ屆書ヲ受ケタルトキ既ニ現金仕拂濟ナルトキハ其旨ヲ届出人ニ告ケテ其屆書ヲ返付スヘシ
- 第二十一條 仕拂命令仕拂通知書ヲ發行シタル官吏々員第二十條ノ屆書ヲ受ケテ正當ト認メタルトキハ之ヲ縣金庫ニ送付スヘシ
- 縣金庫ニ於テ前項屆書ノ送付ヲ受ケタルトキハ第十七條第一項ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第二十三條 現金前渡ノ仕拂命令ハ特ニ其必要アルトキハ年度開始前ニ之ヲ爲スコトヲ得
- 前項ニ依リ現金前渡ヲ受ケタル者ハ年度開始ニ至ラサレハ其現金ノ仕拂ヲ爲スコトヲ得
- 第二十四條 左ノ經費ハ概算拂ヲ爲スコトヲ得
 - 一 官吏々員及其他ノ出張旅費
 - 二 機密費
- 第二十五條 左ニ掲グル諸費ハ繰換拂ヲ爲スコトヲ得
 - 一 瘋癲人刑事被告人及囚人ノ護送諸費
 - 二 留置人及囚人ノ賄料
 - 三 前各號ノ外法律命令ニ依リ縣費ヲ以テ繰換拂ヲ爲スノ義務アル諸費
- 第二十六條 法律命令ニ規定アルモノ及國庫若ハ御料局ヨリ購入スル物件ニシテ代金前納ノ定メアル

- モノヲ除ク外一切前金拂ヲ爲スコトヲ得
- 第二十七條 誤拂過渡トナリタル金額ヲ經費ノ定額ニ戻入スルトキハ返納人ニ對シ返納告知書ヲ發シ之ヲ返納シム
- 返納告知書ハ十日以内ニ於テ適宜納期日ヲ定メ仕拂命令ヲ發シタル官吏々員又ハ現金前渡ヲ受ケタル官吏々員ニ於テ之ヲ發スヘシ
- 第二十八條 返納告知書ヲ受ケタル返納人ハ該告知書ニ記載スル期日迄ニ返納告知書ヲ添ヘ現金ヲ指定ノ場所ニ納付シ其領收証書ヲ受クヘシ
- 第二十九條 縣金庫ニ於テ定額戻入金ヲ領收シタルトキハ返納人ニ其領收証書ヲ交付スヘシ現金前渡ヲ受ケタル官吏々員定額戻入金ヲ領收シタルトキハ返納人ニ其領收証書ヲ交付スヘシ
- 第三十條 現金前渡前金拂概算繰換拂ニ係ル金額ヲ經費ノ定額ニ戻入スルトキハ第二十七條乃至第二十九條ノ規定ヲ準用ス
- 第三十一條 過年度ニ屬スル支出ハ其經費所屬年度ノ豫算ニ於テ該經費ノ屬スル費目定額中不用トナリタル金額ヲ超過スルコトヲ得
- 第三十二條 収入支出命令ノ委任ヲ受ケタル官吏々員ハ毎年度内ニ執行シタル歳入歳出ノ現計書ヲ調製シ縣廳ニ差出スヘシ
- 第三章 工事及物件ノ賣買貸借
- 第三十三條 工事ノ受負又ハ物件ノ賣買貸借其他各種ノ供給若ハ受負ニ關スル契約ヲ爲ストキハ總テ競争ニ付スヘシ但左ノ場合ニ於テハ競争ニ付セス隨意ノ契約ニ依ルコトヲ得
 - 一 一箇人又ハ一會社等ニテ專有スル物件ヲ買入又ハ借入ル、トキ
 - 二 臨時急施ヲ要シ競争ニ付スル暇ナキトキ

- 三 特種ノ物品ヲ其生産者製造者若ハ所有者ヨリ直接ニ買入レ又ハ借入ヲ要スルトキ及特種ノ技術若ハ經驗ヲ要スル工事ヲ受負ハシムルトキ
- 四 特別ノ技術家ニ命スルニアサレハ製造シ得ヘカラサル物件ノ買入ヲ要スルトキ
- 五 特ニ外國品ノ買入ヲ要スル場合ニ於テ競争ニ付シ難キ事由アルトキ
- 六 一定ノ位置又ハ構造ヲ必要トスル土地建物其他工作物ヲ買入レ又ハ借入ル、トキ
- 七 土木工事ヲ其地元町村ニ受負ハシムルヲ要スルトキ
- 八 五百圓ヲ超ヘサル工事ノ受負又ハ物件ノ買入借入若ハ額面五千圓ヲ超ヘサル公債證書ノ買入ヲ爲ストキ
- 九 工事ニ要スル器械器具鐵軌車輛船舶建物及其付屬物其他材料品ヲ郡市町村其他ノ公共組合ヨリ買入又ハ借入ル、トキ
- 十 直營工事ニ要スル工事材料品ヲ一定ノ價格ニ依リ同時ニ數十人ヨリ買入ル、トキ
- 十一 直營工事ニ要スル職工人夫ノ雇傭但其職工人夫ト直接ニ契約ヲ締結スルトキニ限ル
- 十二 見積價格貳百圓ヲ超エサル物件又ハ額面五千圓ヲ超エサル公債證書ヲ買拂フトキ
- 十三 國庫若ハ御料局ヨリ物件ノ買入レヲ要スルトキ
- 十四 公債證書其他ノ物件ヲ國庫又ハ日本銀行ニ賣却若ハ政府又ハ日本銀行ニ其賣買ヲ委託スルノ必要アルトキ
- 十五 試驗ノ爲メニ工作製造其他生産ヲ命シ又ハ物件ノ買入ヲ要スルトキ
- 十六 直接公用又ハ公共ノ利益若ハ慈善ノ用ニ供スル爲メ物件ヲ當該者ニ貸渡シ又ハ賣拂フトキ
- 十七 慈善ノ爲メニ設置スル教育所ノ受救者若ハ囚徒ヲ備役シ又ハ其生産製造ニ係ル物件ヲ直接ニ買入ル、トキ又ハ官設公設ノ學校及試驗場ノ生産製造ニ係ル物件ヲ直接ニ買入レ又ハ賣拂フトキ

トキ

- 第三十四條 競争ハ總テ入札ノ方法ヲ以テ之ヲ行フ
- 第三十五條 競争入札ハ其入札期日ヨリ少クトモ五日以前ニ新聞紙其他ノ方法ヲ以テ公告スヘシ
- 第三十六條 第三十五條ノ公告ニハ左ノ事項ヲ示スヘシ
 - 一 競争入札ニ付スル事項
 - 二 入札人心得書及契約書案ヲ示ス場所
 - 三 入札提出ノ場所及日時
 - 四 入札保証金額
 - 五 前各號ノ外必要ノ事項
- 第三十七條 工事ノ受負又ハ物件供給ノ競争ニ加ハラントシ若ハ契約ヲ結ハントスル者ハ滿二年以來其工事又ハ物件ノ供給ニ從事スルモノナルコトヲ要ス但公債證書ノ供給人及工事又ハ物件ノ性質ニ依リ其必要ナシト認メタルトキハ此限ニアラス
- 工事又ハ物件ノ性質ニ依リ必要アルトキハ前項ノ外特ニ其競争者又ハ契約者ノ資格ヲ定ムルコトアルヘシ
- 第三十八條 工事ノ受負又ハ物件ノ賣買其他各種ノ供給若クハ受負ノ競争ニ加ハラントシ若クハ契約ヲ締結セントスルモノハ左ノ保証金ヲ納付スルコトヲ要ス
 - 一 入札保証金ハ入札金額ノ百分ノ五以上
 - 二 契約保証金ハ契約金額ノ百分ノ十以上
 - 三 需用品ノ供給若ハ賄其他ノ常請負ニシテ單價ヲ定メ數ヶ月以上ニ涉ルモノ及公債證書ノ賣買ハ入札保証金契約保証金共其入札若ハ契約金額ノ二百分ノ一以上

保證金ハ國債證券地方證券若クハ勸業銀行債券ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
前項ノ證書記名ナルトキハ處分ノ權限ヲ明記シタル委任狀ヲ添付スヘシ但其證書ハ本人名義ノモノ
ニ限ル

第三十九條 左ノ場合ニ於テハ契約保證金ノ納付ヲ要セス
一 工事ヲ地元町村ニ受負ハシムルトキ

二 開札後五日以内ニ物件ノ受授ヲ了シ得ヘキトキ

三 指名競争若ハ隨意契約ニシテ特ニ保證金ヲ要セザルト認メタルトキ

第四十條 競争ノ落札者契約ヲ締結セザルトキ及第四十六條ニ依リ落札ヲ取消シタルトキハ其入札
保證金ハ縣ノ所得トス

第四十一條 競争入札書ハ書留郵便ヲ以テ之ヲ提出セシムルコトヲ得此場合ニ於テハ其提出ノ場所及
日時ヲ豫メ公告スヘシ

第四十二條 競争入札ヲ爲サシムルトキハ其競争ニ付シタル工事又ハ物件等ノ價格ヲ豫定シ其豫定價
格ヲ封書ト爲シ開札ノ際開札ノ場所ニ備ヘ置クヘシ

豫定價格ハ工事ノ受負及物件ノ買入借入ノ類ハ最高限物件ノ賣却貸渡ノ類ハ最低限トス但工事又ハ
物件ノ買入ニ付テハ豫定價格外ニ最低價格ノ制限ヲ設クルコトヲ得

第四十三條 開札ハ公告シタル場所日時ニ入札人ノ面前ニ於テ之ヲ行フヘシ但入札人又ハ其代理人開
札ノ場所ニ出席セザルモ尙ホ開札ハ之ヲ行フモノトス

第四十四條 落札ハ第四十二條ノ豫定價格ニ依リ工事ノ受負及物件ノ買入借入其他各種ノ供給若ハ受
負ニアリテハ最低入札賣却貸渡等ニアリテハ最高入札トス
公債證書ノ買入若ハ賣却ノ場合ニ於テ前項ノ入札其需用高若ハ賣却高ニ達セザルトキハ其不足分ハ

次札以下順次豫定價格ニ至ルマテノ入札ヲ以テ落札ヲ定ム

開札ノ上落札トナルヘキモノナキトキハ更ニ入札人ヲシテ再度入札ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十五條 落札トナルヘキ同價ノ入札者數名アルトキハ工事ノ受負及物件ノ買入借入其他ノ供給ニ
アリテハ前入札金額以下物件ノ賣却貸渡ニアリテハ前入札金額以上ニ於テ同價ノ入札者ヲシテ直ニ
再度ノ入札ヲ爲サシムヘシ

再度ノ入札ヲ爲ズモ尙同價ノ入札ナルトキハ直ニ抽籤ヲ以テ落札者ヲ定ムヘシ

第四十六條 競争ノ落札者指定ノ期日內ニ契約保證金ヲ納付セズ若ハ契約書其他提供ヲ要スヘキ書類
物件ヲ提出セザルトキハ其落札ヲ取消スヘシ

第四十七條 工事ノ受負又ハ物件ノ賣却其他供給ニシテ無制限ノ競争ニ付スルヲ不利トスルトキハ指
名競争ニ付スルコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テハ第三十五條ノ公告ヲ要セス
第四十八條 左ノ場合ニ於テハ第三十三條但書ノ例ニ依リコトヲ得

一 競争ニ付シタルモ入札者ナキトキ
二 第四十四條ノ落札者ナキトキ
三 競争ノ落札者契約ヲ結ハザルトキ若クハ第四十六條ニ依リ落札ヲ取消シタルトキ

四 第四十七條ニ依リ指名競争ニ付スルヲ不利トスルトキ
第四十九條 工事ノ受負及物件ノ賣却貸借等ノ契約書ニハ契約ノ事項金額設計任譯着手落成受渡ノ期
日受渡ノ場所保證金額延滞若クハ違約ノ場合ニ於ケル處分其他一切ノ必要ナル事項ヲ記載スヘシ

第五十條 契約ハ知事又ハ其委任ヲ受ケタル官吏々員其契約書ニ署名捺印スルニアラサレハ確定セ
ザルモノトス

第五十一條 金額五百圓未満ノ契約ハ第四十九條ニ依ル契約書ノ調製ヲ要セス物件ノ買入修繕ハ第五十二條ノ注文傳票其他ハ受人買受人等ノ署名捺印シタル受書ヲ以テ契約書ニ代用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ契約書ニ充用スヘキ書類ノ受授ヲ以テ其契約確定シタルモノトス

第五十二條 物品ノ買入又ハ修繕ノ契約ヲ爲ストキハ注文傳票ヲ發ス

注文傳票ヲ受ケタル者ハ該傳票ニ調印シ其甲號ハ速ニ之ヲ發シタル廳解ニ返付シ其乙號ハ物品ヲ納入スルトキ之ヲ提出スヘシ

第五十三條 第四十八條ニ依ル隨意契約ヲ爲ストキハ之レカ爲メ最初競争ニ付スルトキ定メタル價格及其他ノ條件ヲ變更スルコトヲ得

第五十四條 工事ハ竣功ノ後竣功検査官吏々員ニ於テ其工事ノ完成ヲ認メタルトキハ竣功検査調書ヲ作ルヘシ

契約ニ依リ工事ノ既成部分又ハ物件ノ既納部分ニ對シ完済前ニ代價ノ一部分ヲ仕拂ハントスルトキハ検査ヲ行ヒタル官吏々員ニ於テ事實ヲ測定シ其調書ヲ作ルヘシ

前二項ノ調書ニ依ルニアラサレハ仕拂命令ヲ發スルコトヲ得ス

第五十五條 第五十四條第二項ノ仕拂ハ工事ノ既済又ハ物品ノ既納トナリタル部分ニ對スル代價ノ十分ノ八ヲ超ユルコトヲ得ス

第五十六條 賣却若ハ貸渡ノ物件ハ其買受人若ハ借受人ニ於テ料金ヲ前納スルニアラサレハ之ヲ交付シ若ハ使用セシメサルモノトス

賣却若ハ貸渡ノ物件ニ對シ必要ト認ムルトキハ其料金ヲ豫納セシムルコトアルヘシ

第四章 出納吏

第五十七條 出納吏ノ掌ル出納事務ハ縣ニ屬スル歳入ノ現金収入歳出ノ現金前渡證券物品及歳入歳出

外ノ現金證券トス

第五十八條 出納吏ハ縣廳各廳警察分署博物館測候所ニ各一人ヲ置ク

前項ノ外必要ノ箇所ニ出納吏若ハ分任出納吏ヲ置クコトアルヘシ

第五十九條 出納吏ニ於テ歳入歳出外トシテ出納スルハ左ニ掲クル現金及証券トス

一 入札保証金及契約保証金

二 保険料及豫納金

三 權収ヲ要スル歳入ノ現金

四 縣稅其他諸收入金ノ滯納處分ニ依リ差押ヘタル現金及差押財産ノ賣得金

五 官吏遺族扶助法納金收入規則及府縣立師範學校校長俸給並ニ公立學校職員退隱料及遺族扶助料法納金收入規則ニ依リ差引タル郡判任官及學校職員ノ國庫納金

六 前各號ノ外法律命令若ハ從來ノ慣例ニ依リ縣ニ於テ保管ノ義務ヲ有スル現金及證券

第六十條 入札保証金契約保証金其他ノ歳入歳出外ノ現金ヲ出納吏ニ納付セントスルトキハ現金ヲ縣金庫ニ預ケテ其預リ證書ニ納付書ヲ添ヘ之ヲ出納吏ニ差出スヘシ

前項ノ手續ニ依リ難キトキハ出納吏ニ於テ直ニ現金ヲ領収スヘシ

第六十一條 縣金庫ニ於テ歳入歳出外ニ屬スル現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ其預ケ込人ニ預リ證書ヲ交付スヘシ

第六十二條 出納吏ニ於テ第六十條ニ依リ縣金庫ノ預リ證書若ハ現金ヲ領收シタルトキハ其納人ニ領收證書ヲ交付スヘシ

入札保証金ノ類ニシテ直ニ還付ヲ要スヘキモノハ第六十條ノ納付書ニ領收シタルコトヲ付記シ之ヲ納人ニ交付スルコトヲ得

第六十三條 縣金庫所在地ニアル出納吏ハ其保管ニ屬スル現金ヲ縣金庫ニ委託スヘシ
第六十四條 縣金庫所在地外ニアル出納吏ハ自己ノ責任ヲ以テ其保管ニ屬スル現金ヲ銀行又ハ私人ニ委託スルコトヲ得

第六十五條 縣金庫ニ於テ出納吏ヨリ現金ノ委託ヲ受ケタルトキハ其保管證書ヲ出納吏ニ交付スヘシ
第六十六條 出納吏ハ縣金庫ニ委託シタル現金ノ仕拂ヲ要スルトキハ仕拂切符ヲ發スヘシ但第六十二條第二項ノ場合ニ於テハ縣金庫ノ預リ證書ニ裏書シ之ヲ仕拂切符ニ代用スルコトヲ得
仕拂切符ハ仕拂命令ニ關スル規定ヲ準用ス

第五章 縣金庫

第六十七條 縣金庫ノ位置名稱及出納區域ハ別ニ之ヲ定ム

第六十八條 縣本金庫事務ノ取扱ヲ爲サシムル銀行ノ代表者ハ縣金庫出納役トシテ縣金庫ノ出納及保管ヲ掌ルヘシ

第六十九條 縣金庫出納役ハ毎年度内ニ執行シタル出納ノ計算書ヲ調製シ縣廳ニ差出スヘシ

第六章 雜則

第七十條 仕拂命令仕拂切符仕拂通知書返納告知書注文傳票ハ第一號乃至第九號様式ニ依ルヘシ
附則

第七十一條 此規則ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
(様式略ス)

訓令第十三號

明治三十四年三月十六日

類集中三三
一頁卷五

郡 役 所
町 村 役 場

明治三十年三月訓令第二十九號縣稅徵收ニ關スル諸帳簿其他ノ様式中縣稅徵稅原簿ノ内第十五號ヲ廢止シ第九號第十號第十三號第十四號乙並ニ徵稅額集計簿縣稅徵稅額總報告書ハ別冊ノ通改正シ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス
但別冊ハ別ニ頒ツ (別冊略ス)

第七十一號 (訓令)

明治三十四年三月十六日

内 務 部
警 察 部

明治二十八年二月訓令第七十三號娼妓身體檢查醫旅費支給規程ハ本年三月三十一日限リ廢止ス

類集中七〇
頁卷五

縣令第十九號

明治三十四年三月二十二日

縣稅徵收施行細則左ノ通改正ス

但明治三十三年四月縣令第四十一號縣稅徵收施行細則及全年四月縣令第四十二號縣稅滯納處分施行細則ハ之ヲ廢止ス

類集中三一
〇及四一三
頁卷五

縣稅徵收施行細則

第一條 縣稅ヲ徵收スルトキハ郡長ヲシテ徵稅令書ヲ發セシム

第二條 町村ニ於テ徵收スヘキ縣稅ハ郡長其金額ヲ調査シ第一號舊式ノ徵稅令書ヲ調製シ之ヲ町村ニ

縣ノ財務

交付スヘシ

第三條 郡長ニ於テ直ニ納税人ヨリ縣稅ヲ徵收セントスルトキハ第二號書式ノ徵稅令書ヲ調製シ之ヲ納税人ニ交付スヘシ

第四條 町村ニ於テ第二條ノ徵稅令書ヲ受ケタルトキハ町村長ハ第三號書式ノ徵稅傳令書ヲ調製シ之ヲ納税人ニ交付スヘシ賦課期日後徵收期日前他ノ市町村ニ移轉セントスルモノ若ハ日稅ヲ納ムル者ヨリ徵收スヘキ稅金ハ町村長ニ於テ直ニ前項ノ徵稅傳令書ヲ調製シ之ヲ納税人ニ交付スヘシ

第五條 徵稅令書及徵稅傳令書ハ左ノ期限ニ依リ之ヲ交付スヘシ但納額調定ノ日ヨリ徵收マテニ本條ノ日數ナキモノハ此限ニアラス

一 町村ニ交付スル徵稅令書ニシテ賦課期日ノ現在ニ賦課スル年稅ニ係ルモノハ徵收期初日ノ十日以前月稅及隨時徵收ニ係ル稅金竊漁業場稅屠畜稅營業稅附加稅中營業稅法第三十條ニ該當スル稅金ハ徵收期末日ノ五日以前

二 各納税人ニ交付スル徵稅令書又ハ徵稅傳令書ニシテ賦課期日ノ現在ニ賦課スル年稅ニ係ルモノハ徵收期初日ノ三日以前月稅及隨時徵收ニ係ル稅金竊漁業場稅屠畜稅營業稅附加稅中營業稅法第三十條ニ該當スル稅金ハ徵收期末日ノ三日以前

第六條 郡長ニ於テ納税人ニ交付スル徵稅令書ニハ徵收期限ノ範圍内ニ於テ稅金ヲ縣金庫ニ拂込ムヘキ期日ヲ指定スヘシ
町村ニ於テ納税人ニ交付スル徵稅傳令書ニハ徵收期限ノ範圍内ニ於テ稅金ヲ町村ノ收入役ニ拂込ムヘキ期日ヲ指定スヘシ

第七條 徵稅令書若ハ徵稅傳令書交付後稅金徵收以前ニ於テ徵稅額ニ異動ヲ生シタルトキハ更ニ訂正

令書ヲ交付スヘシ但徵稅額增加スル場合ニテ於テ追加令書ヲ交付スルコトヲ得

第八條 徵稅令書若ハ徵稅傳令書ノ受領ヲ拒ミタルトキ又ハ納税人ノ所在知レサル場合ニ於テ令書若ハ傳令書ノ要領ヲ公示スルトキハ町村役場ノ揭示場ニ之ヲ揭示スヘシ

前項ノ揭示ハ令書若ハ傳令書ヲ貼付シテ之ヲ爲スモ妨クナシ

第九條 町村長又ハ納税人ハ水火盜難等ニ罹リ徵稅令書若ハ徵稅傳令書ヲ亡失シタルトキハ其事由ヲ申告シ更ニ令書若ハ傳令書ノ交付ヲ請求スヘシ

第十條 郡長又ハ町村長ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ更ニ徵稅令書若ハ徵稅傳令書ヲ調製シ之ヲ交付スヘシ

第十一條 納税人徵稅令書若ハ徵稅傳令書ヲ受ケタルトキハ其令書若ハ傳令書ニ指定スル期日マテニ稅金ニ令書若ハ傳令書ヲ添ヘ之ヲ指定ノ場所ニ拂込ミ其領收證書ヲ受クヘシ

第十二條 町村ニ於テ徵收シタル稅金ハ第四號書式ノ拂込書ヲ添ヘ縣金庫ニ拂込ムヘシ

第十三條 町村ニ於テ徵收シタル稅金ハ漸次之ヲ縣金庫ニ拂込ミ徵收期限末日後三日ヲ過クルコトナキテ要ス但第四條第二項ニ依リ徵收シタル稅金ヲ取纏メ毎月十五日末日ノ二回ニ拂込ムヘシ

第十四條 縣金庫若ハ町村ノ收入役ニ於テ稅金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ領收證書ヲ其拂込人ニ交付スヘシ

第十五條 徵稅令書若ハ徵稅傳令書ヲ交付シタル後納税人他ノ公課ノ爲メ滯納處分ヲ受ケ其財產ヲ差押ラレタルトキハ郡長又ハ町村長ハ其令書若ハ傳令書ニ指定シタル徵收期日前ト雖モ速ニ其稅金ヲ徵收スヘシ

前項ノ場合ハ納税人差押財產ノ外他ニ納稅ノ資力ナキトキハ郡長又ハ町村長ハ他ノ公課ニ係ル滯納處分ヲ執行スル官廳又ハ公共團體ニ其稅金ノ交付ヲ求ムヘシ

第十六條 徵稅令書若ハ徵稅傳令書ヲ交付シタル後納稅人他ノ債務ノ爲メニ強制執行ヲ受ケ其財產ヲ差押ヘラレシムルトキハ郡長又ハ町村長ハ其令書若ハ傳令書ニ指定シタル徵收期日前ト雖モ速ニ其税金ヲ徵收スヘシ

前項ノ場合ニ於テ納稅人差押財產ノ外他ニ納稅ノ資力ナキトキハ郡長若ハ町村長ハ執行裁判所又ハ執達吏若ハ強制管理人ニ其税金ノ交付ヲ求ムヘシ

第十七條 徵稅令書若ハ徵稅傳令書ヲ交付シタル後納稅人破産ノ宣告ヲ受ケ又ハ納稅者タル法人カ解散シタルトキハ郡長又ハ町村長ハ其令書若ハ傳令書ニ指定シタル徵收期日前ト雖トモ破産主任官又ハ精算人ニ其税金ノ交付ヲ求ムヘシ

第十八條 納稅人他ノ市町村内ニ居住スル者及常ニ他ヘ出稼ヲ爲ス者ハ納稅スヘキ町村内ニ於テ納稅代人ヲ定メ其代人ノ運署ヲ以テ其町村長ニ届出ヘシ

第十九條 徵稅傳令書ヲ受ケタル納稅人ニ於テ徵收期日ヲ過キ其税金ヲ完納セサルトキハ町村長ハ滯納報告書ヲ調製シ徵收期限末日後三日以内ニ之ヲ郡長ニ報告スヘシ報告後異動ヲ生シタルトキハ直ニ其旨報告スヘシ

第四條第二項ニ依リ徵收スル税金ニ係ルモノハ徵收傳令書ニ指定シタル期日後三日以内ニ前項ノ手續ヲ爲スヘシ報告後異動ヲ生シタルトキハ直ニ其旨報告スヘシ

第二十條 郡長ハ町村長ヨリ縣稅ノ滯納報告ヲ受ケタルトキ若ハ納稅人ニ交付シタル徵稅令書ニ指定シタル納期限ヲ過キ其税金ヲ完納セサルモノアルトキハ第五號書式ノ督促狀ヲ調製シ之ヲ發スヘシ

第二十一條 納稅人ニ於テ督促狀ノ受領ヲ拒ミタルトキ若ハ納稅人ノ所在知レサカ爲メ督促狀ヲ送達スルコトヲ得サルトキハ第八條ノ規定ヲ準用ス

第二十二條 納稅人督促狀ヲ受ケタルトキハ其督促狀ニ指定スル期日迄ニ税金及督促手数料ニ第六號

書式第七號書式ノ納付書ヲ添ヘ之ヲ指定ノ場所ニ拂込ミ其領收證書ヲ受クヘシ

第二十三條 滯納税金及滯納處分費ハ郵便爲替若ハ縣金庫ニ宛タル送金手形又ハ縣金庫取扱銀行若ハ其代理店ニ於テ證明シタル小切手ヲ以テ拂込ムコトヲ得

第二十四條 納稅人ハ便宜ノ縣金庫ニ就キ郡長ニ於テ督促狀ニ指定シタル縣金庫ニ税金及滯納處分費ノ爲替納ヲ請求スルコトヲ得

第二十五條 郡長ハ督促狀ニ指定シタル期限内ニ税金及督促手数料ヲ完納セサルモノアルトキハ速ニ其財產差押ヲ爲スヘシ

第二十六條 縣稅滯納者ノ財產差押ヲ命シタル官吏ノ員ニハ左ノ證書ヲ携帯セシム

策何號
縣稅滯納者
財產差押
說票
愛知
縣印

何郡役所
官(職)
氏名

第二十七條 徵收期日後滯納者又ハ第三者ニ於テ税金ヲ完納セントスルトキハ其旨郡長ニ申告シ其金額ヲ縣金庫ニ拂込ムヘシ

督促狀ニ指定シタル期限後財產差押前若ハ財產差押後公賣前ニ滯納者又ハ第三者ニ於テ滯納處分費及税金ヲ完納セントスルトキ亦前項ニ同シ

前二項ノ場合ニ於テハ第二十二條ノ納付書ヲ添付スヘシ

第二十八條 債權ヲ差押ヘタルトキ債務者ニ對シ發スル差押ノ通知書ハ第八號ノ書式ニ依ルヘシ

第二十九條 財產差押ノ命令ヲ受ケタル官吏ノ員財產ヲ差押ヘタルトキ調製スヘキ差押調書ハ第九號

書式ニ依ルヘシ

第三十條 入札ノ方法ヲ以テ差押財産ヲ公賣スル場合ニハ買受望人ハ其住所氏名買受財産ノ種類員數及入札價格ヲ記載シタル入札書ヲ封緘シテ之ヲ差出スヘシ

第三十一條 入札書ハ公告ニ示シタル開札場所日時ニ入札人ノ面前ニ於テ之ヲ開クヘシ但入札人若クハ其代理人開札ノ場所ニ出席セサルモ開札スルコトヲ妨ケス

第三十二條 競賣ノ方法ヲ以テ差押財産ヲ公賣スルトキハ競賣人ヲ撰ミ之ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第三十三條 加入保證金契約保證金ハ公賣財産ノ見積價格百分ノ十以內ニ於テ郡長適宜其金額ヲ定ムヘシ

第三十四條 郡長ハ差押財産ヲ賣却セントスル場合ニ於テ其價格ヲ見積リ難キモノアルトキハ適當ナル鑑定人ヲ撰ミ其評價ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十五條 公賣財産ノ買受人若クハ競賣人ハ郡長ノ定ムル期限内ニ納付書ヲ添へ其代金ヲ縣金庫ニ拂込ムヘシ但止ムヲ得サル場合ニ於テハ之ヲ差押官吏若クハ吏員ニ差出スコトヲ得

前項ノ場合ニ於ケル納付書ハ第二十二條第七號書式ヲ準用ス

第三十六條 滯納處分ニ關シ使丁ヲ以テ書類ノ送達ヲ爲ストキハ第十號書式ノ送達書ヲ添付スヘシ

第三十七條 滯納處分ヲ結了シタルトキ滯納者ニ交付スヘキ計算書ハ第十一號書式ニ依ル

第三十八條 他府縣ヨリ府縣稅ノ滯納處分ノ囑托ヲ受ケタルトキハ其處分ヲ爲スヘキ地ノ郡市長ヲシテ之ヲ取扱ハシム

第三十九條 郡長ハ縣内他都市ニ於テ縣稅ノ滯納處分ヲ爲スコトヲ要スルトキハ直ニ其處分ヲ爲スヘキ地ノ郡市長ニ之ヲ囑托スヘシ

第四十條 市長ニ於テ府縣稅滯納處分ノ囑托ヲ受ケタルトキハ本則ノ規定ヲ準用シ其處分ヲ爲スヘシ

第四十一條 滯納處分費ノ辨納金ハ各其經費所屬ノ經濟ニ收入スヘシ

(書式略ス)

第八十九號 (訓令) 明治三十四年三月二十八日

内務部 警察署
内務部 警察署
内務部 警察署

明治三十一年訓令第八號俸給及雜給支給規程中左ノ通り追加シ來四月一日ヨリ施行ス
第六條中工夫ノ下ニ「取者、馬丁」ノ四字ヲ追加ス

第三百三號 (訓令) 明治三十四年三月二十八日

内務部 警察署
内務部 警察署
内務部 警察署

本廳會計細則別冊之通定ム

(別冊)

縣ノ財務

第九頁

愛知縣本廳會計細則

第一章 總 則

- 第一條 縣ノ經濟ニ屬スル會計ハ法律命令ノ規定ニ從ヒ此細則ニ依リ處理スヘシ
- 第二條 物品ノ出納及保管ハ別ニ定ムル規定ニ依リ取扱フヘシ
- 第三條 歳入歳出特別會計ノ歳入歳出ハ毎年度縣會ノ決議シタル豫算科目ニ依リ整理スヘシ
歳入歳出外現金及證券ノ整理科目ハ別ニ之ヲ定ム
- 第四條 特別會計トシテ整理スヘキモノ左ノ如シ
 - 一 愛知病院全醫學校ノ歳入歳出
 - 二 岡崎支病院ノ歳入歳出
 - 三 公園歳入歳出
 - 四 罹災救助基金
 - 五 市町村立小學校及實業補習學校教員恩給金
 - 六 市町村立小學校及實業補習學校教員恩給基金
 - 七 慈善救濟基金
 - 八 師範學校基金
 - 九 中學校基金
 - 十 博物館基金
 - 十一 愛知病院全醫學校基金
 - 十二 岡崎支病院基金
 - 十三 市町村立小學校教員加俸資金

十四 教員資金

十五 公園基金

第五條 縣經濟ノ豫算及給與規定ニ關スル各部課ノ同議案ハ總テ內務部第一課ニ合議スヘシ

縣經濟ニ關スル各部課ノ同議案ニシテ成規定例ナキ事項若ハ例規トナルヘキ事項ニ係ルモノ亦前項ニ同シ

縣經濟ノ取支及契約ニ關スル各部課ノ同議案ハ內務部第五課ニ合議スヘシ但契約ニ關スルモノニシテ第七十四條第二項ニ依ルモノハ此限ニアラス

第一項及第二項ノ同議案ニシテ給與規定若クハ例規トナルヘキ事項ニ係ルモノハ內務部第一課ノ外尙內務部第五課ニ合議スヘシ

第六條 總テ縣經濟ノ収支出納ニ關スル縣會縣參事會ノ決議及諮問ニ對スル答申ハ內務部第一課ヨリ內務部第五課ニ移牒スヘシ

第七條 歳入歳出及特別會計ノ歳入歳出ノ収支出納ハ總テ內務部第五課ニ於テ命令案ヲ調製シ決裁ヲ經テ執行スヘシ

第八條 內務部第五課ノ主管ニ屬スル歳計帳簿ハ總テ傳票ヲ調製シ決裁ヲ經ルニアラサレハ収支又ハ更訂ノ記帳ヲ爲ムコトヲ得ス

第九條 內務部第五課ハ出納ニ關係アル官吏々員其他職員ノ氏名印鑑ヲ豫メ縣金庫ニ送付スヘシ

第十條 內務部第五課ハ収支命令官及出納吏交替シタルトキ其前任者ノ氏名及印鑑ヲ添ヘ之ヲ縣金庫ニ通知スヘシ

第十一條 左ノ事項ハ其時々主務ノ各課ヨリ內務部第五課ニ通知スヘシ
一 本廳ニ於テ俸給手當等ノ仕拂ヲ要スル官吏々員ノ任免及支給額ノ異動

- 二 本廳ニ於テ給料賃金等ノ仕拂ヲ要スル諸雇人ノ傭入解僱及支給額ノ異動
 - 三 退隱料扶助料給助金ノ支給及其停廢
 - 四 市町村立小學校教員ノ年功加俸特別加俸ノ支給及其停廢支給額ノ異動
- 前項ノ通知書ハ官職氏名住所支給額發令若クハ證書交付ノ年月日支出ヲ要スル經費科目及其所屬經濟其他必要ノ事項ヲ記載スヘシ

第二章 豫算

第十二條 各課ハ毎年其主掌ニ屬スル歳入歳出及各特別會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ前年度六月三十日迄ニ内務部第一課ニ回付スヘシ

第十三條 第十二條ニ依リ調製スル歳入歳出及各特別會計ノ歳入歳出豫算ハ前年度豫算ニ對スル増減額ヲ掲ケ且ツ款全体ニ關スル説明ハ外尙豫算各項中各目ニ對スル歳入ノ性質歳出所要ノ理由及其計算ノ基クトコロテ示スヘキ豫算明細書ニ添付スヘシ

第十四條 各課ニ於テ第十二條ノ豫算ヲ編製スルトキ通常歳出ノ豫算ハ前年度通常ノ豫算額ヲ限度トシテ之ヲ調製スヘシ但臨時部ニ係ルモノ及退隱料扶助料、請願巡查費、巡查給助金、縣債費、縣稅取扱費ノ内町村交付金、罹災救助基金、市町村立小學校及實業補習學校教員恩給基金、其他各種ノ基金市町村立小學校教員年功加俸及特別加俸、此限ニアラス

新ニ土木其他ノ事業ヲ企畫セントスルトキ若クハ前項ノ限度ヲ超ヘサルヲ得サルモノアルトキハ内務部第一課ヘ協議ノ上豫メ指揮ヲ請フヘシ

第十五條 各課ニ於テ第十二條ノ豫算ヲ編製スルニ當リ新ニ款項目ヲ増設シ若クハ其名稱ヲ變更セントスルトキハ内務部第一課及第五課ニ協議シ決裁ヲ請フヘシ但目内ノ内譯科目ニ關スルモノハ特ニ決裁ヲ經ルヲ要セス内務部第一課及第五課ニ協議決定スヘシ

第十六條 内務部第一課ハ前年度七月三十一日迄ニ歳入歳出ノ總豫算及各特別會計ノ豫算ヲ調製シ決裁ヲ請フヘシ

第十七條 歳入歳出及各特別會計ノ歳入歳出ノ收入支出ハ款項目節ニ區分シ整理スヘシ但縣會議録中各目ノ内譯金額ヲ示サ、ルモノハ節ヲ設ケルヲ要セス

第十八條 各課ハ豫算差引簿ヲ設ケ其主掌ニ屬スル歳出豫算及契約濟額等其使用ノ確定シタル金額ヲ記入シ常ニ豫算ノ現在高ヲ明瞭ナラシムヘシ

第十九條 各課ハ毎年度其主掌ニ屬スル豫算ノ決定シタルトキハ各麻ノ仕拂豫算ヲ調製シ内務部第一課及第五課ヘ協議シ決裁ヲ經テ會計規則第八條第二項ノ手續ヲ爲スヘシ第二十條ニ依リ仕拂豫算増額ノ許可決定シタルトキ若クハ減額ヲ要スルトキ亦同シ

第二十條 各課ハ明治三十四年三月訓令第十七號會計細則第十條及第十二條ニ依リ各麻ヨリ仕拂豫算増額ノ請求若クハ仕拂豫算項目ノ流用ノ具申書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調製シ内務部第一課及第五課ニ協議シ決裁ヲ經テ其許否ヲ決定スヘシ

第二十一條 各課ハ歳出豫算各款内項目節ノ流用ヲ爲サントスルトキハ其事由ヲ詳記シタル科目流用計算書ヲ調製シ内務部第一課及第五課ニ協議シ決裁ヲ請フヘシ

第二十二條 豫備費ハ内務部第一課ニ於テ之ヲ管掌シ帳簿ヲ設ケ其支出額ヲ登記整理スヘシ

第二十三條 各課ハ豫備費支出ノ許可ヲ得ントスルトキハ其事由ヲ詳記シタル豫備費支出要求書ヲ調製シ内務部第一課及第五課ニ協議ノ上決裁ヲ請フヘシ

第二十四條 明治三十四年三月訓令第十七號會計細則第十一條ニ依リ豫備費支出ノ具申アリタルトキハ内務部第一課ニ於テ止ムヲ得サルモノト認ムルトキハ第五課ニ協議シ決裁ヲ經テ承認ヲ與フルノ手續ヲ爲スヘシ

第二十五條 各課ハ其主管ニ屬スル歳出豫算ノ更正増減流用若クハ豫備費支出ノ決定シタルトキ及其歳出豫算決定額ノ内各應ニ係ル仕拂豫算及其増減ノ令達若クハ費目流用ノ許可アリタルトキハ其原議ヲ内務部第五課ニ回付スヘシ

第二十六條 内務部第五課ハ本廳并ニ各麻ニ於ケル歳出仕拂豫算額確定シタルトキハ縣金庫ニ對シ會計規則第十六條第二項ノ手續ヲ爲スヘシ其變更増減アリタルトキ亦全シ

前項ノ場合ニ於テハ各麻ノ仕拂月額豫算ヲ添付スヘシ

第二十七條 内務部第五課ハ明治三十四年三月訓令第十七號會計規則第八條第二項ニ依リ仕拂月額變更ノ報告ヲ受ケタルトキハ其時々縣金庫ヘ通知スヘシ

第二十八條 内務部第五課ハ第二十五條ノ原議書及明治三十四年三月訓令第十七號會計規則第十三條ニ依リ各麻長ヨリ歳出豫算流用報告書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ歳出簿ニ登記ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十九條 各年度豫算内ノ事業ハ其年度内ニ於テ之ヲ完結スヘシ

一 年度内ニ終ルヘキ事業ニシテ止ムテ得サル事故ノ爲メ其事業ヲ遅延シ出納閉鎖期日迄ニ其經費ノ支出ヲ終ル能ハスト認ムルモノアルトキハ各課ニ於テ繰越計算書ヲ調製シ明治三十四年三月訓令第十七號會計規則第十四條第二項ニ依リ各麻長ヨリ提出シタル繰越計算書ヲ添ヘ内務部第一課ニ送付スヘシ

第三十條 内務部第一課ニ於テ第二十九條ニ依リ繰越計算書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ豫算追加ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十一條 繰越費ノ仕拂殘額ヲ翌年度ニ繰越シ使用セントスルトキハ其年度三月末日ノ現況ヲ以テ繰越計算書ヲ調製シ翌年度四月十日迄ニ内務部第五課ヘ合議シ決裁ヲ請フヘシ

前項ノ決裁ヲ經タルトキハ速ニ該決議書ヲ内務部第五課ニ送付スヘシ

第三十二條 内務部第五課ニ於テ第三十一條ノ繰越計算書及明治三十四年三月訓令第十七號會計規則第十五條ノ仕拂殘額報告ヲ受ケタルトキハ之ニ伴フ現金ノ繰越ヲ爲シ縣金庫ヘ令達スヘシ

第三章 収入支出

第三十三條 縣稅使用料手数料其他ノ諸收入ノ徵收取扱手續ハ別ニ定ムル所ニ依ルヘシ

第三十四條 明治三十四年三月訓令第十七號會計規則第十九條ニ依リ各麻長ヨリ縣金庫ノ同送書ヲ添ヘ小學校教員恩給基金罹災救助基金ノ收入濟額報告書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ正當ト認ムルトキハ該報告書ニ基キ收入傳票ヲ調査シ收入ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ縣支金庫ノ同送書ニ收入月日ヲ記入シ取扱主任認印ノ上縣本金庫ニ送付スヘシ

第三十五條 本廳所在地外ノ縣金庫ヨリ同送書ヲ添ヘ使用料手数料及其他ノ諸收入ノ現金領収濟通知ヲ受ケタルトキハ第三十四條ノ例ニ準シ收入ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十六條 縣本金庫ヨリ縣稅使用料手数料及其他ノ諸收入金ノ收入濟通知書又ハ出納吏ノ歳入金拂込濟ノ通知書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ正當ト認ムルトキハ該通知書ニ基キ收入傳票ヲ調製シ收入ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十七條 各課ハ其主管ニ屬スル歳出金ノ仕拂ヲ要スルトキハ正當債主又ハ其代理人ヨリ請求書ヲ徵シ二日以内ニ之ヲ調査シ年度科目番號并ニ其事由ヲ付記シ必要書類ヲ添ヘ當該課長及取扱主任檢印ノ上内務部第五課ニ送付スヘシ

俸給手當被服料ノ如キ同種ノ金額ヲ常時多數ノ職員ヘ支給スヘキモノニシテ各自ヨリ豫メ總代人ヲ定メ受取方ヲ届出タルトキハ其總代人ヲシテ請求書ヲ差出カシムルモ妨ナシ

各課ハ第一項ニ依リ内務部第五課ニ送付シタル請求書ノ所屬年度科目ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ其時々訂正ノ手續ヲ爲スヘシ但既ニ仕拂命令發行濟ニ係ルトキハ別ニ訂正報告書ヲ調製シ内

務部第五課ニ送付スヘシ

各課ニ於テ誤拂過渡ヲ發見シタルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス

第三十八條 各課ハ其主宰ニ屬スル歲出金ニシテ正當債主若クハ其代理人ヲシテ請求書ヲ差出サシメ難キトキ若クハ之ヲ差出サシムルノ暇ナキトキ及現金前渡ヲ爲ストキハ當該課長ニ於テ支出調書ヲ調製シ債主ノ請求書ニ代フルコトヲ得

第三十九條 各課ハ會計規則第五十二條ノ注文傳票乙號ヲ以テ代金ノ請求ヲ爲スモノアルトキハ第三十七條ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ該傳票ニ行目空欄ニ年度科目ヲ記入スヘシ

第四十條 第三十七條第一項ニ依リ添付スヘキ書類ハ概テ左ノ如シ

一 會計規則第三十三條ニ基キ契約シタル工事ノ受負物件ノ買入借入其他各種ノ供給若クハ受負ノ契約書

二 會計規則第四十二條ノ豫定價格調書

三 競争若クハ指名競争入札ヲ爲シタルモノハ其落札及次札但再入札ノ場合ニ於テハ前入札中豫定價格ニ最近ノ分共

四 競争若クハ指名競争入札ノ場合ニ於テ入札者一名ナルトキ又ハ會計規則第四十五條ニ依リ再度ノ入札ヲ爲シタルトキ若クハ抽籤ヲ以テ落札者ヲ定メタルトキハ其證明書

五 會計規則第四十七條ニ依リ指名入札ヲ爲サシメタルトキハ其理由ヲ詳記シタル説明書

六 會計規則第五十四條第一項ニ依リ竣工檢査定吏々員ノ作リタル竣工檢査調書

七 會計規則第三十三條但書及同則第四十八條ノ隨意契約書ニハ隨意契約ヲ爲シタル理由ヲ詳記シタル説明書

八 本則第四百四條及算百五條ニ依リ相當價格ヲ定メ買収シタルトキハ其理由説明書

九 工事ノ既濟部分又ハ物品ノ既納部分ニ對シ完濟前ニ代價ノ一部分ヲ仕拂ハントスルトキハ會計規則第五十四條第二項ニ依リ檢査ヲ行ヒタル官吏々員ノ作リタル調書

十 退職一時給與金補助金其他臨時給與ニ係ルモノハ其辭令書ノ謄本又ハ其決議書

十一 郵便電信料諸雇人其他各種ノ立替拂ニ係ル請求ニアリテハ正當債主ヨリ徴シタル領收證書

十二 旅費ニアリテハ迂路ヲ經テ旅行シ又ハ病氣其他通路障害ノ爲メ滞在シタルトキ若クハ旅費ノ實費拂又ハ割増請求ノ場合ハ主管部長ノ認許證

十三 代人ヲ以テ諸仕拂金ノ請求及領収ヲナサントスルモノアルトキハ其委任權限ヲ明ニスヘキ正當債主ノ委任狀

十四 前各號ノ外調査上必要ト認ムル書類

第四十一條 內務部第五課ハ各課ヨリ歲出金仕拂ノ請求書又ハ支出調書ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ正當ト認ムルトキハ支出傳票ヲ調製シ決裁ヲ經テ二日以内ニ仕拂命令發付ノ手續ヲ爲スヘシ

支出傳票ニハ科目(款)仕拂命令ノ種類仕拂命令發付月日仕拂命令ノ番號送金ノ場所等必要ノ事項ヲ記載スヘシ

第四十二條 特別會計ニ屬スル歲出金ハ仕拂豫算ノ範圍内ト雖トモ之ニ伴フヘキ収入ナキトキハ其收入濟額ヲ限度トシテ仕拂命令ヲ發スヘシ

第四十三條 仕拂命令ヲ發行セントスルトキハ支出傳票ニ依リ其支出額ヲ登記シタル後ニアラサレハ之ヲ發行スルコトヲ得ス

第四十四條 總テ改竄塗抹シタル案内仕拂命令仕拂通知書ハ之ヲ發行スルコトヲ得ス

第四十五條 案内仕拂命令仕拂通知書ニハ發行者ノ職印ノ外金額ノ欄ニ內務部第五課長若ク

縣ノ財務

ハ其代理者取扱主任ヲ合セテ三名ノ認印ヲ捺シ之ヲ發付スヘシ

案内仕拂命令仕拂命令仕拂通知書ヲ捺印スヘキ者ノ官職氏名ハ豫メ縣金庫ニ通知スヘシ

第四十六條

縣金庫ニ案内仕拂命令又ハ送金ヲ要スル仕拂命令集合仕拂命令ヲ交付セントスルトキハ

命令發行簿ニ各款ノ金額并ニ命令號數及枚數ヲ記入シ縣金庫出納役ニ交付シ其領收証印ヲ徴スヘシ

前項集合仕拂命令送金ヲ要スル仕拂命令集合仕拂命令ヲ縣金庫ニ交付シタルトキハ前項ノ外債主毎

ニ其命令若クハ金額氏名表ノ番號仕拂金額ヲ掲記シタル縣金庫ノ領收證書ヲ徴シ置キ追テ正當受取

人ノ領收證書ト引換ヲ爲スヘシ但縣金庫ノ領收證書ハ便宜帳簿ヲ以テ代用スルモ妨ナシ

第四十七條

仕拂命令ヲ受取人ニ交付セントスルトキハ請求書ト同一ノ印判ヲ捺シタル領收證書ヲ徴

スヘシ但代人ヲ以テ領收セントスルモノアルトキハ委任狀ヲ提供セシムルモノトス

前項領收證書ハ受取人ヲシテ請求書ニ領收ノ旨與書ヲ爲シ署名捺印セシムルモ妨ナシ

第一項ニ依リ受取人ニ交付シ若クハ第四十六條第一項ニ依リ縣金庫ニ交付シタル仕拂命令ニシテ出

納閉鎖期日ヲテニ縣金庫ニ於テ現金ノ仕拂了セサルモノアルトキハ當該縣金庫ヲシテ現金仕拂未

済ナル旨ノ證明書ヲ差出サシムヘシ

第四十八條

受取人ニ於テ請求書ト異リタル印判ヲ捺シタル領收證書ヲ差出シタルトキハ調査ノ上其

事由ヲ詳記シタル書面ニ市町村長ノ證明ヲ經タル印鑑ヲ添ヘ差出サシムヘシ

第四十九條

仕拂通知書ヲ各受取人ニ送付スルトキハ左ノ諸件ヲ豫告スヘシ

一 受取人現金領收ノトキ仕拂通知書ニ接續スル領收證ニ年月日及氏名ヲ記載シ捺印スルコト

二 印判ハ請求書ト同一ノ印ヲ用ユルコト若シ印判ヲ異ニスルトキハ第四十八條ニ依リ印鑑ヲ差出

スヘキコト

三 印紙稅法ニ依リ收入印紙ノ貼用ヲ要スルモノハ其稅額并ニ印紙貼用個所及消印スヘキコト

四 市町村長其市町村ヲ代表シテ請求シタル金額ニ係ル領收證書ニハ收入役署名捺印スルコト

五 銀行會社其他ノ法人ヨリ請求シタル金額ニ係ル領收證書ニハ其法人ノ理事取締役若クハ業務擔

當人其他法人ヲ代表スヘキモノ署名捺印スルコト

六 前各號ノ外必要ト認ムル事項

第五十條

會計規則第十九條ニ依リ仕拂命令若クハ仕拂通知書ノ更正又ハ保證ヲ請求スルモノアル

トキハ之ヲ調査シ其更正ヲ要スルモノハ取消ノ上更正ニ發付ノ手續ヲ爲シ其保證ヲ要スルモノハ仕拂

命令ニアリテハ裏面ニ仕拂通知書ニアリテハ欄外適宜ノ箇所ニ仕拂ヲ保證スヘキ旨ヲ記入シ仕拂命

令官ノ職印及内務部第五課長若クハ其代理者ノ認印ヲ捺シ之ヲ請求人ニ交付スヘシ

第五十一條

仕拂命令若クハ案内仕拂命令ノ取消ヲ要スルトキハ年度科目金額命令番號發行月日債主

氏名及其事由ヲ詳具シ決裁ヲ經テ縣金庫ニ通報シ仕拂命令若クハ案内仕拂命令ヲ返付セシムヘシ

前項ニ依リ返付ヲ受ケタル仕拂命令案内仕拂命令ハ決裁ヲ經テ之ヲ燒却スヘシ

仕拂命令發行后其所屬年度科目ノ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ其時々決裁ヲ經テ更正ノ手續ヲ

爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ縣金庫ニ關係アルモノハ當該縣金庫ニ對シ其更正ヲ請求スヘシ

第五十二條

會計規則第二十條ニ依リ仕拂命令仕拂通知書ヲ盜取セラレ又ハ亡失シタル旨届出ル者ア

ルトキハ之ヲ調査シ正當ト認ムルトキハ決裁ヲ經テ其旨ヲ届書ニ記入シ仕拂命令官ノ署名捺印及内

務部第五課長若クハ其代理者ノ認印ヲ捺シ縣金庫ニ送付スヘシ

前項ノ手續了シタルトキハ適宜ノ方法ヲ以テ其盜取又ハ亡失ニ係ル仕拂命令若クハ仕拂通知書ノ

無効タルコトヲ公告スヘシ

第五十三條

仕拂通知書發送途中ニ於テ紛失シタルコトヲ發見シタルトキハ事實ヲ調査シ縣金庫ニ照

會シテ現金仕拂ノ濟否ヲ確メ其仕拂未濟ニ係ルモノニ對シテハ決裁ヲ經テ之ヲ再發スヘシ
任拂通知書ヲ再發シタルトキハ金額番號及受取人ノ住所氏名其他必要ノ事項ヲ記載シ其再發ノ旨ヲ
縣金庫ニ通知シ第五十二條第二項ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十四條 會計規則第十條第二項ニ依リ現金前渡ヲ爲スヘキ金額ハ左ノ區分ニ依ルヘシ

- 一 縣債ノ元利金 每期仕拂概算額
- 二 仕拂場所ノ一定セサル經費ハ其支出概算額
- 三 縣金庫所在地外ニ臨時設置スル事務所ノ經費ハ每一ヶ月分ノ所要額
- 四 官吏々員其他職員其他出張先ニ於テ特ニ仕拂ヲ要スル經費ハ一主任ニ付參百圓以内
- 五 工事費ニシテ特ニ工事現場ニ於テ仕拂ヲ要スル經費ハ毎回支出概算額
- 六 外國ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費ハ其支出概算額但數月ニ涉ルモノニシテ毎月一定ノ額ヲ定メテ仕拂
ヲ要スルモノハ四ヶ月分以内

第五十五條 各課ハ會計規則第二十三條ニ依リ年度開始前ニ於テ特ニ現金前渡ヲ爲スノ必要アルトキ
ハ其科目金額及事由ヲ詳具シ内務部第五課ニ合議シ決裁ヲ請フヘシ

前項ノ決裁ヲ經タルトキハ該決議書ヲ速ニ内務部第五課ニ送付スヘシ

第五十六條 内務部第五課ハ第五十五條ノ決議書ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ所屬年度科目金額并前渡
ヲ受クヘキ官吏々員ノ氏名ヲ明記シタル仕拂計算書ヲ調製シ縣本金庫ニ合達ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十七條 内務部第五課ハ各廳長ヨリ明治三十四年三月訓令第十七號會計規則第三十七條ニ依リ年度
開始前現金前渡ノ具申アリタルトキハ之ヲ調査シ事實止ムヲ得サルモノト認ムルトキハ決裁ヲ經テ
承認ノ手續ヲ爲スヘシ
前項ノ場合ニ於テハ第五十六條ノ手續ニ依リ計算書ヲ調査シ縣本金庫ニ合達シ關係縣支金庫ニ移牒

セシムヘシ

第五十八條 會計規則第二十四條ニ依リ概算渡ヲ爲スヘキ金額ハ左ノ區分ニ依ル

- 一 旅費ニアリテハ一旅行ニ對スル豫定概算額但旅行ノ數月ニ涉ルモノハ一ヶ月分宛打切り請求ス
ルモノトス
- 二 機密費ニアリハ一ヶ月以内ノ豫定概算額

第五十九條 概算拂ヲ受ケタルモノハ左ノ期日内ニ精算書ヲ調製シ當該課長及取扱主任ノ認印ヲ經テ
内務部第五課ニ送付スヘシ

- 一 旅費ハ歸應後五日以内但旅行ノ甲乙丙年度ニ跨ルモノハ翌年度四月五日限リ甲年度所屬ノ分ヲ
精算スルモノトス
- 二 機密費ハ概算渡ヲ受ケタル翌月五日以内

第六十條 概算拂ヲ受ケタルモノハ其概算額ニ對シ精算ヲ爲スニアラサレハ再タヒ概算拂ノ請求ヲ
爲スコトヲ得ス

第六十一條 内務部第五課ハ第五十九條ノ精算書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ其過渡トナラタル金額
ハ返納ノ手續ヲ爲サシメ追給ヲ要スルモノハ仕拂命令發行ノ手續ヲ爲スヘシ

第六十二條 會計規則第二十五條ニ依リ繰替拂ヲ要スルトキハ各課ニ於テ正當債主ノ請求書又ハ其他
ノ調査ニ依リ之ヲ調査シ第三十七條第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

第六十三條 繰替拂ニ係ル仕拂命令案内仕拂命令集合仕拂命令送金ヲ要スル仕拂命令集合仕拂命令ハ
特ニ繰替拂ノ文字ヲ明記スヘシ

第六十四條 現金前渡及繰替拂ノ金額ハ支出簿ニ登記セズ現金前渡繰替拂整理簿ニ登記整理スヘシ

第六十五條 内務部第五課ハ會計規則第二十七條若クハ第三十條ニ依リ返納告知書ノ發付ヲ要スルト

キハ精算書又ハ返納報告書等ニ依リ之ヲ調査シ報告傳票ヲ調製シ決裁ヲ經テ返納額元帳ニ年度科目番號金額納期日返納人ノ住所氏名及事由ヲ詳記シ之ニ基キ返納告知書ヲ調製シ式ノ如ク記入捺印シ返納額元帳ト契印シ之ヲ發付スヘシ

第六十六條 第六十五條ノ返納金ヲ第四十六條ニ依リ案内仕拂命令集合仕拂命令若クハ送金ヲ要スル仕拂命令集合仕拂命令ヲ交付シタル以外ノ縣金庫ニ納付セシムルヲ便宜トスルトキハ會計規則第七十條第七號乙様式ノ返納告知書ヲ發スヘシ

第六十七條 內務部第五課ハ縣金庫ヨリ定額へ戻入濟ノ通知ヲ受ケタルトキハ關係書類ニ據リ調査シ返納額元帳ニ戻入濟月日ヲ記入シ取扱主任認印ノ上該通知書ニ基キ戻入傳票ヲ調製シ決裁ヲ經テ戻入濟額記帳ノ手續ヲ爲スヘシ

第六十八條 內務部第五課ハ縣金庫ヨリ返納金回送濟通知書ヲ受ケタルトキハ第六十七條ノ手續ヲ爲シ其返納金回送濟通知書ニ添付スル回送證ニ戻入ノ年月日ヲ記入シ取扱主任認印ノ上其定額戻入ヲ爲サシムヘキ縣金庫ニ送付スヘシ

第六十九條 各課ハ過年度ニ屬スル歳出金ノ仕拂ヲ要スルモノアルトキハ所屬年度科目金額正當債主ノ住所氏名及其事由ヲ詳記シタル要求書ヲ調製シ債主ノ請求書ヲ添へ內務部第五課へ合議ノ上決裁ヲ請フヘシ

各課ハ明治三十四年三月訓令第十七號會計細則第五十二條ニ依リ各課ヨリ過年度支出要求書若クハ欠損補顛ノ要求書ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

前二項ニ依リ決裁ヲ經タルトキハ該決議ヲ連シ內務部第五課ニ送付スヘシ

第七十條 內務部第五課ハ第六十九條ノ決議書ヲ受ケタルトキ及出納閉鎖後戻入ノ拂戻若クハ欠損補填ヲ要スルトキハ相當ノ支出科目及其事由ヲ具シ豫備費支出ノ手續ヲ爲スヘシ

第七十一條 會計規則第六條歳入ノ拂戻ヲ要スルトキハ前條ノ規定ヲ準用ス

第七十二條 第四十七條第三項及明治三十四年三月訓令第十七號會計細則第二十九條第三項ニ依リ各課ヨリ報告ヲ受ケタル仕拂命令ニ相當スル資金ハ歳計剩餘ニ組入レズ縣金庫ニ於テ別ニ繰越整理セシムルモノトス

前項ノ資金中現金仕拂ノ請求ナクシテ法律ニ定メタル時効ニ依リ縣カ其負債ノ義務ヲ免レタルモノアルカ爲メ不用トナリタル金額ハ其負債ノ義務ヲ免レタル年度ノ歳入ニ組入ルヘシ

內務部第五課ハ帳簿ヲ設ケ第一項ノ仕拂命令ニ對スル債主ノ氏名金額年度科目仕拂命令發行年月日其他必要ノ事項ヲ登記整理スヘシ

第七十三條 各年度歳計剩餘金內務部第五課ニ於テ傳票ヲ調製シ決裁ヲ經テ出納閉鎖後一ヶ月以内ニ歳入ニ編入ノ手續ヲ爲スヘシ但翌年度仕拂基金ニ充ツルノ必要アルトキハ出納閉鎖前ニ於テ概算額ヲ以テ本項ノ手續ヲ爲スコトヲ得

前項ニ依リ歳計剩餘金ヲ歳入ニ編入スルトキハ縣金庫ニ令達スヘシ

第四章 工事及物件ノ賣買貸借

第七十四條 工事ノ受負又ハ物件ノ賣買貸借其他各種ノ供給若クハ受負ノ契約ヲ爲サントスルトキハ左ノ書類ヲ添へ決裁ヲ經テ之ヲ施行スヘシ

一 工事ニアリテハ設計ヲ詳悉シタル仕様書及要領ヲ示シタル圖面

二 物件ニアリテハ品質數量

三 豫定見積價格

四 入札保證金、契約保證金、保險料、等ヲ要スルモノニアリテハ其調書

五 指名競争ニアリテハ其指名入札ヲ爲サシムヘキ當業者ノ住所氏名

- 六 隨意契約ニアリテハ當業者ノ見積書
 - 七 新聞廣告案入札人心得書案契約書案若クハ受書案
 - 八 前各號ノ外必要ノ書類
- 物品ノ買入修繕ノ類ハ帳簿ヲ設ケ決裁ヲ受クルモ妨ナシ
- 第七十五條 工事ノ受負又ハ物件ノ買入其他ノ供給ニシテ特ニ年度開始前ニ於テ契約ヲ爲スノ必要アルトキハ其事由ヲ詳記シ決裁ヲ受クヘシ
- 第七十六條 工事ノ受負又ハ物件ノ買入貸借其他各種ノ供給若クハ受負ノ入札ニ加ハラントシ若クハ契約ヲ結ハントスルモノニハ要領ヲ示シタル圖面設計ヲ詳悉シタル仕様書入札人心得書契約書案現品標本雛形其他必要ナル條件ヲ示スヘシ
- 第七十七條 左ノ事項中ノ一ニ該當スルモノハ受負人又ハ供給人タラシムルコトヲ得ス
- 一 破産ノ宣告ヲ受ケ復權セサルモノ又ハ家資分散ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨濟ヲ了ヘサルモノ
 - 二 現ニ公ケノ救助ヲ受クルモノ
 - 三 本縣ニ於テ受負契約ニ違ヒ其契約ヲ解除セラレ若クハ落札後正當ノ事由ナクシテ契約ヲ結ハサルモノ
 - 四 本縣ヲ第三債務者トシテ自己ノ受負代金ヲ差押ヘシタルモノ
- 第七十八條 會計規則第三十八條第二項ニ依リ保證金トシテ納付セシムル國債證券地方債證券及勸業銀行債券ノ價格ハ別ニ之ヲ定ム
- 第七十九條 會計規則第三十九條第三號ノ場合ニ於テ保證金ノ要否ヲ決スルニハ其時々事由ヲ詳記シ決裁ヲ請フヘシ
- 第八十條 工事ノ受負又ハ物件供給ノ競争ニ加ハラントシ若ハ契約ヲ結ハントスルモノニハ會計規則

- 則第三十七條ノ資格ヲ地元市町村長ニ於テ其都度證明シタル書面ヲ差出サシムヘシ
- 第八十一條 會計規則第三十七條第二項ニ依リ競争者又ハ契約者ノ資格ヲ定ムルノ必要アルトキハ其時々事由ヲ詳記シ決裁ヲ請フヘシ
- 第八十二條 競争若クハ指名競争ノ場合ニ於テ左ノ各號ニ該當スル入札ハ無効トスヘシ
- 一 入札人若クハ其代人ノ署名捺印ナキモノ
 - 二 入札保證金ヲ納付セサルモノ
 - 三 一人ニテ二通以上ノ入札ヲ爲シタルモノ
 - 四 誤字脱字若クハ汚染塗抹毀損等ニ依リ金額住所氏名其他入札ノ要件ヲ認知シ難キモノ
 - 五 競争者ノ資格ヲ定メタルトキ其資格證明書ヲ所持セサルモノ
- 第八十三條 時限後ノ入札又ハ一旦差出シタル入札ノ引換若クハ取消訂正等ハ何等ノ事故ヲ問ハス一切之ヲ許容スルコトヲ得ス
- 開札ノ上内譯金額ニ誤謬アルトキハ之ヲ訂正セシムルコトヲ得但合金額ニ及ホスコトヲ得ス
- 第八十四條 豫定價格書ハ落札トナルヘキ者ナキトキハ之ヲ開示セサルモノトス
- 前項ノ場合ニ於テハ入札人ノ内一名ヲシテ封印セシメ開札ノ日ヨリ二十日以後三日以内ニ之ヲ示スヘシ
- 第八十五條 會計規則第四十二條ノ豫定價格ハ開札當日開札時限ニ接近シタル場合ニ於テ決裁ヲ經テ之ヲ定ムヘシ但本廳ト隔離シタル場所ニ入札ヲ爲サシムル場合ハ此限ニアラス
- 第八十六條 競争若クハ指名競争入札ノ落札決定シタルトキハ通知書ヲ發シ契約締結ニ關スル要件ヲ告知スヘシ但注文傳票ヲ發スル場合ハ此限ニアラス
- 第八十七條 競争若クハ指名競争入札ノ落札者ニハ第八十六條ノ通知書若クハ注文傳票ヲ交付シタル

日ヨリ三日以内ニ契約保證金ヲ納付シ契約書ヲ提出セシムヘシ
 工事又ハ物件供給ノ受負ニシテ入札書ノ外内譯明細書其他ノ書類物件ヲ提出セシムルヲ要スルモノ
 ハ前項ノ通知書若クハ注文傳票交付ノ日ヨリ三日以内ニ之ヲ差出サシメ調査ノ上其承認濟通知ノ日
 ヨリ三日以内ニ契約書ヲ提出セシムヘシ
 止ムルヲ得サル事項ノ爲メ前二項ノ期日ヲ延長スルノ必要アルトキハ決裁ヲ經テ七日以内ニ於テ之
 ナ定ムヘシ

第八十八條 競争若クハ指名競争入札ノ場合ニ於テ落札人定マリタルトキハ自餘ノ入札人ニ對シテハ
 其入札保證金ヲ返付スヘシ

落札者ノ入札保證金ハ契約保證金ヲ納付シタル後ニアラサレハ返付スルコトヲ得ス但會計規則第三
 十九條第二號第三號ノ場合ニ於テハ契約書ヲ差出シタルトキ若クハ物件ノ受授ヲ了シタルトキ之ヲ
 返付スルモノトス

第八十九條 工事ノ受負又ハ物件ノ賣買貸借其他各種ノ供給若クハ受負ニシテ會計規則第三十三條但
 書第八號第十一號第十二號及全則第四十八條ノ場合ハ當業者二人以上ノ見積書ヲ徴シ之ニ基キ受負
 人又ハ供給人ヲ撰定スヘシ

第九十條 會計規則第四十七條ニ依リ指名競争入札ニ付スルハ受負業者又ハ供給者連合團結シテ不
 當ノ價格ニ競落セントスルノ虞アルトキ若クハ無資無産ノ徒競争ニ加ハリ爲メニ正當ノ受負業者又
 ハ供給者ノ競争ニ妨害ヲ加フルノ虞アルトキ其他無制限ノ競争ニ付スルヲ不利トスル特殊ノ事由ア
 ル場合ニ限ルモノトス

會計規則第四十八條第三號ニ依リ隨意契約ヲ爲スハ指名競争ニ付スルモ尙其受負業者又ハ供給者連
 合團結シテ不當ノ價格ニ競落セントスルノ虞アルトキ其他指名競争ニ付スルヲ不利トスル特殊ノ事

由アル場合ニ限ルモノトス

第九十一條 契約金額百圓以上ナルトキハ左ノ標準ニ依リ工事ノ既成部分又ハ物件ノ既納部分ニ對シ
 一部仕拂ノ契約ヲ爲スコトヲ得但五千圓以上ニシテ本條ノ標準ニ依リ難キトキハ其時々決裁ヲ經テ
 其回数ヲ定ムヘシ

- 金額五百圓迄 内渡 二回以内
- 金額千圓迄 内渡 三回以内
- 金額五千圓迄 内渡 四回以内
- 金額壹萬圓迄 内渡 五回以内
- 金額壹萬圓以上 内渡 六回以内

第九十二條 物件ノ購買ハ需用ノ都合ニ依リ一ヶ月若クハ數ヶ月ノ需用概算高ヲ見積リ其價格ヲ定メ
 置キ實際需用ノ都度納入セシムヘキ契約ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ每次其納入額ニ對シ代金ヲ
 拂渡スヘシ

第九十三條 延滞又ハ違約ニ關スル處分方法ハ延滞ノ場合ニアリテハ延滞償金違約ノ場合ニアリテハ
 違約金ヲ徴スルモノトス

- 第九十四條 第九十三條ノ延滞償金及違約金ノ額ハ左ノ標準ニ依ルヘシ
 - 一 延滞償金 工事ニ關スルモノハ一日ニ付受負代金ノ五百分ノ一以上物件ニ關スルモノハ一日ニ付未納數量ニ對スル代金ノ五百分ノ一以上
 - 二 違約金 契約保證金ノ全額若クハ幾部分又ハ工事ニ關シテハ受負代金ノ百分ノ十以上物件ニ關シテハ未納數量ニ對スル代金ノ百分ノ十以上
- 第九十五條 工事又ハ物件ノ性質ニ依リ保險期間ヲ定メ保險料ヲ徴スルノ必要アルモノハ契約書ニ其

金額及處分方法ヲ明記スヘシ

保險料ノ金額ハ其時々決裁ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

第九十六條 會計規則第五十一條ニ依リ注文傳票ヲ以テ契約書ニ代用シタル場合ニ於テ延滞又ハ違約ニ關シ必要アリト認ムルトキハ其處分條件ヲ明記シタル受書ヲ徵スヘシ

第九十七條 會計規則第五十六條第二項ニ依リ豫納金ヲ納付セシムルノ必要アルトキハ其時々事山ヲ具シ決裁ヲ請フヘシ

第九十八條 保證金豫納金又ハ保險料ヲ納付セントスルモノアルトキハ會計規則第六十條ノ手續ヲ爲サシムヘシ但國債證券地方債證券勸業銀行債券ヲ以テ納付セントスル者ハ納付書ヲ添へ直ニ出納吏ニ納付セシムヘシ

第九十九條 契約ニ依リ供給ヲ受ケタル物件ハ之ヲ標品及契約書受書又ハ注文傳票等ニ照シ品質數量其他契約若クハ注文ノ事項ニ相違ナキヤ否ヲ検査シ適合ト認ムルトキハ其受授ヲ爲スヘシ但特ニ技術者ノ検査ヲ要スルモノハ受授以前ニ於テ其手續ヲ爲スヘシ

納付ノ物品多數ニシテ其量目員數品質等ヲ容易且即時ニ調査スルコトヲ得サルモノハ抜検査ヲ爲スコトヲ得

第一百條 第九十九條第二項ノ物品又ハ或ル期間内試用セザレハ其適否ヲ察別シ能ハサル物品ハ豫メ期間ヲ定メ其期間内ニ不適合ノ物品ナルコトヲ發見シタルトキハ適合ノ物品ト引換ヘシムルカ若クハ契約ヲ解除スルコトアルヘキコト及此場合ニ於ケル費用ハ供給人ノ負擔タルヘキコトヲ豫メ契約シ置クヘシ

第一百一條 受負人ヨリ注文傳票乙號ニ物品ヲ添へ納付シタルトキハ第九十九條ノ手續ニ依リ之ヲ検査シ適合ト認ムルトキハ主務者ニ於テ該傳票甲乙號共納濟月日ヲ記入捺印シ乙號ハ受負人ニ返付シ代

金請求ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第一百二條 工事ノ受負ニシテ工事ノ全部竣工シタルトキハ之ヲ検査シ其受渡ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ受負人ニ對シ證書ヲ交付スルモノトス但五百圓未満ノ工事ハ證書ヲ要セス

第一百三條 工事又ハ供給ノ物件ヲ不適合ト認メ手直シ又ハ代品ノ納付ヲ命セントスルトキハ決裁ヲ經テ相當ノ日限ヲ與フルコトヲ得但手直シ又ハ代品納入期限ハ前受負日限ヲ超過スルコトヲ得ス前項ノ場合ニ於テ其期限二日以内ナルトキハ當該検査吏員直ニ相當ノ日限ヲ與ヘ其事由ヲ詳具スヘシ

第一百四條 契約ノ規格ニ多少不適合ノ物品ト雖トモ實用ニ適シ急遽ノ際其納入ヲ必要トスル場合ニ於テハ決裁ヲ經テ相當價格ヲ定メ之ヲ買收スルコトヲ得

第一百五條 受負人又ハ供給人契約ノ履行ヲ全フセザルトキ其契約ヲ解除スルニ當リ既成若クハ既納ノ一部分ヲ買收スルノ必要アルトキハ決裁ヲ經テ相當價格ヲ定メ之ヲ買收シ自餘ノ部分ニ對シ解除スルコトヲ得

第一百六條 天災其他正當ノ事故ニ依リ受負人又ハ供給人ヨリ其事故ヲ證明スルニ足ルヘキ證書類ヲ添へ延期若クハ期限内ニ於テ一時事業ノ休止ヲ申出タルトキハ事實ヲ審査シ決裁ヲ經テ許可ノ手續ヲ爲スヘシ

第一百七條 第一百一條第六條ノ場合ニ於ケル日限内ハ延滞償金ヲ徵セサルモノトス

第一百八條 契約保證金及保險料ハ受負人若クハ供給人ニ於テ其義務ノ履行ヲ了リタルトキ若クハ契約解除ヲ爲シタルトキ之ヲ返付スヘシ

第一百九條 會計規則第四十條ニ依リ入札保證金ヲ縣ノ所得トスルトキ及延滞償金違約金ヲ徵シ若クハ契約解除ヲ爲サントスルトキハ通知書ヲ發シ受負人又ハ供給人ニ之ヲ告知スヘシ

第一百十條 左ノ場合ニ於テハ主務者ニ於テ其證明書ヲ調製スヘシ

- 一 競争若クハ指名競争入札ニ付シタル場合ニ於テ入札人アラザリシトキ
- 二 入札者一名ナリシトキ

三 會計規則第四十四條第二項及第四十五條ニ依リ落札ヲ定メタルトキ

第一百十一條 左ノ場合ニ於テハ主務者ニ於テ其理由ノ説明書ヲ調製スヘシ

- 一 會計規則第三十三條但書及第四十八條ニ依リ隨意契約ヲ爲シタルトキ
- 二 會計規則第四十七條ニ依リ指名競争ニ付シタルトキ
- 三 本則第四百四條及第四百五條ニ依リ相當價格ヲ定メ買収シタルトキ

第一百十二條 明治三十四年三月訓令第十七號會計規則第五十三條第二項ニ依リ同則第五十五條ノ書類ヲ添へ各廳長ヨリ工事ノ受負又ハ物件ノ賣買貸借其他各種ノ供給若クハ受負ニ關シ具申アリタルトキハ工事ニ關スルモノハ内務部第二課物件ニ關スルモノハ内務部第五課ニ於テ之ヲ調査シ適法ト認ムルトキハ決裁ヲ經テ許可ノ手續ヲ爲スヘシ

第一百十三條 明治三十四年三月訓令第十七號會計規則第五十七條及第六十三條ニ依リ各廳長ヨリ年度開始前ノ契約又ハ會計規則第三十七條第二項ニ依リ競争者若クハ契約者ノ資格決定ニ關スル具申アリタルトキハ第一百十二條ノ區別ニ依リ之ヲ調査シ必要ト認ムルトキハ許可ノ手續ヲ爲スヘシ

第一百十四條 明治三十四年三月訓令第十七號會計規則第五十四條第二項ニ依リ博物館測候所ヨリ物件ノ賣買貸借其他各種ノ供給若クハ受負ニ關スル具申アリタルトキハ内務部第五課ニ於テ之ヲ調査シ決裁ヲ經テ處理ノ手續ヲ爲スヘシ

第一百十五條 現金前渡ヲ受ケタル出納吏ニ於テ取扱フ工事ノ受負又ハ物件ノ買入其他各種ノ供給若クハ受負ノ契約締結ニ關シ必要アルトキハ特ニ其取扱手續ヲ定ムルコトアルヘシ

土木工營所其他臨時ニ設置スル事務所若クハ本廳ト隔離スル場所ニ於ケル直營工事ニ要スル物件ノ買入其他各種ノ供給若クハ受負ノ契約ヲ其主任吏員ヲシテ取扱ハシムル場合ニ於テ其契約締結ニ關シ必要アルトキ亦前項ニ同シ

第五章 出納吏

第一百十六條 會計規則第五十八條第一項ニ依リ縣廳ニ設置スル出納吏ハ内務部第五課長ヲ以テ之ニ充

會計規則第五十八條第二項ニ依リ警察部ノ主管ニ屬スル物品ノ出納保管ヲ爲サシムル爲メニ出納吏ヲ置キ警察部警務課長ヲ以テ之ニ充ツ

前二項ノ外必要アルトキハ其時々之ヲ命ス

第一百十七條 出納吏ハ其責任ニ屬スル會計ニ付自身ニ事務ヲ執ラサルヲ理由トシテ其責任ヲ免ル、コトヲ得ス但特ニ其代理者若クハ分任出納吏ヲ定メタルトキ其代理者若クハ分任出納吏ノ所爲ニ付テハ本條ノ限ニアラス

前項ノ代理者ハ出納吏ノ掌ル事務ノ全部ヲ代理シ分任出納吏ハ其一部ヲ分掌スルモノトス

第一百十八條 出納吏代理者若クハ分任出納吏ハ其代理者若クハ分掌シタル所爲ニ付責任ヲ免ル、コトヲ得ス

第一百十九條 出納吏交替シタルトキハ其事務ノ引繼ヲ爲スヘキ日時ヲ定メ前任出納吏ヨリ速ニ之ヲ届出ヘシ但前任出納吏事故ニ依リ自ラ届出ヲ爲スコト能ハサルトキハ後任出納吏ヨリ届出ツヘシ

第一百二十條 明治三十三年三月内務省令第七號第十七條ノ検査ヲ執行スルニ當リ主務ノ出納吏事故ニ依リ自身ニ検査ヲ受クルコト能ハサルトキハ其代理者若クハ特ニ命シタル官吏ノ員ニ於テ立會スヘシ

歳出外ノ現金證券ノ出納保管ヲ要スルトキハ主務者ニ於テ納付書請求書其他ノ證券書類ニ依リ其出納ヲ要スル事由ヲ調査シ收入支出ノ傳票ヲ調製シ年度科目番號ヲ付記シ決裁ヲ經テ之ヲ出納又ハ保管スヘシ

第二百二十二條 出納吏ニ於テ保管スル各特別經濟ニ屬スル證券ニシテ一定ノ期月ニ利子ノ收入ヲ要スルモノハ其時々決裁ヲ經テ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一 國債證券地方債證券等利札ノ付着シアル證券ハ利子仕拂期日前ニ該利札ヲ截斷シ現金ト引換ノ手續ヲ爲スヘシ

二 預金局又ハ銀行等ニ預ケ入レアル預金ノ通帳ハ其預金ニ對スル利子元加ノ期月ニ利子記入方テ當該金庫又ハ銀行ニ請求スヘシ

第二百二十三條 縣金庫所在地ノ出納吏現金ヲ以テ歳入金ヲ領收シタルトキハ毎日之ヲ取纏メ翌日迄ニ縣稅外諸收入徵收規則第九條ノ手續ヲ爲スヘシ

縣金庫所在地ノ出納吏歳入歳出外ノ現金ヲ領收シタルトキハ毎日之ヲ取纏メ翌日マテニ會計規則第六十三條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二百二十四條 縣金庫所在地外ニアル出納吏現金ヲ以テ歳入金ヲ領收シタルトキハ其現金拾圓以上ハ翌日限り拾圓未満ハ五日毎ニ取纏メ第二百二十三條第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

第二百二十五條 出納吏會計規則第六十三條ニ依リ其保管ニ屬スル現金ヲ縣金庫ニ委託スルトキハ現金ニ委託書ヲ添ヘ拂込ムヘシ

第二百二十六條 出納吏ハ其委託シタル保管金ト同種ノ貨幣ヲ以テ仕拂ヲ請ハントスルトキハ會計規則第六十三條ニ依リ委託スルトキ特ニ之ヲ縣金庫ニ求ムヘシ

第二百二十七條 縣金庫ノ所在地外ニ於テ現金ヲ保管スル出納吏ハ鎖鑰ヲ有スル堅牢ナル函ヲ備ヘ之ニ

其保管ニ係ル現金及出納帳簿ヲ藏置シ其鎖鑰ノ鍵ハ出納吏自ラ之ヲ保管スヘシ

二人以上共同責任ヲ以テ現金ヲ保管スル場合ニ於テハ二個以上ノ鎖鑰ヲ有スル堅牢ナル函ヲ備ヘ出納吏其鍵ヲ分管スヘシ

出納吏現金ヲ携帶シ旅行スル場合ニ於テハ前二項ノ規定ニ依ラス相當ノ保護法ヲ設クルコトヲ得

第二百二十八條 出納吏第二百二十七條ニ依リ現金保管ヲ爲シ難キ場合ニ於テハ會計規則第六十四條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二百二十九條 出納吏ニ於テ保管スル證券ハ鎖鑰ヲ有スル堅牢ナル函ヲ備ヘ之ヲ藏置シ其出納ハ本則規定ノ外尙金庫藏置品出納取扱手續ニ依ルヘシ

二人以上共同責任ヲ以テ證券ヲ保管スル場合ハ第二百二十七條第二項ノ規定ヲ準用ス

第二百三十條 出納吏ハ會計規則第六十三條ニ依リ縣金庫ニ委託シタル保管金ヲ以テ歳入ニ組入レ若クハ返納ノ爲メ縣金庫ニ拂込ミヲ要スルトキハ仕拂切符ヲ以テ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

第二百三十一條 入札保證金ノ類ニシテ直ニ還付ヲ要スヘキモノハ現金出納簿ノ登記ヲ省署スルコトヲ得但落札者ニ對スル入札保證金ハ此限ニアラス

前項ニ依リ出納簿ノ登記ヲ省署シタルトキハ第二百三十三條ノ受取人ノ領收証書ヲ以テ出納簿ニ代用スルモノトス

第二百三十二條 會計規則第六十六條但書ノ場合ニ於テハ縣金庫ノ預リ証書裏面ニ本人ニ還付スヘキ旨ヲ記入シ出納吏捺印ノ上之ヲ本人ニ交付シ現金ト引換ヘシムヘシ

第二百三十三條 第二百三十一條ノ現金又ハ證券ヲ還付スルトキハ會計規則第六十二條ニ依リ交付シタル納付書ニ領收ノ旨與書捺印セシメ領收証書ニ代用セシムヘシ

第二百三十四條 年度末日ニ於テ歳入歳出外現金ノ仕拂殘額アルトキハ更ニ翌年度ニ委託換ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ第二百二十一條第百二十五條及第三百十條ノ規定ヲ準用ス
 第三百三十五條 任拂切符發行ニ關スル手續ハ任拂命令發行ニ關スル規定ヲ準用ス
 第三百三十六條 現金前渡ヲ受ケタル出納吏ノ現金任拂ニ關シテ必要アルトキハ本則ノ外特ニ其規定ヲ設ケルコトアルヘシ

第六章 計算報告

第三百三十七條 歳入ノ現金收入又ハ歳出ノ現金前渡ヲ受ケタル出納吏ハ毎月收入支出ノ報告書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌月二日迄ニ收支命令官ニ差出スヘシ但報告書差出后ニ於テ科目ノ組替其他異動ヲ生タルモノアルトキハ更正報告書ヲ差出スモノトス

第三百三十八條 内務部第五課ハ第三百三十七條ニ依リ出納吏ヨリ收入報告ヲ受ケタルトキハ其證憑書類及ヒ豫テ縣金庫ヨリ送付ヲ受ケタル歳入金拂込濟通知書ニ照合調査シ收入命令官ノ査閲ニ供スヘシ内務部第五課ハ第三百三十七條ニ依リ出納吏ヨリ支出報告書ヲ受ケタルトキハ證憑書類ニ依リ之ヲ調査シ正當ト認ムルトキハ任拂命令官ノ決裁ヲ經テ支出簿ニ登記ノ手續ヲ爲スヘシ

第三百三十九條 内務部第五課ハ毎月末日收入簿支出簿ノ結果ニ依リ翌月五日迄ニ收入支出ノ報告書ヲ調製シ證憑書類及縣金庫ノ月計表ヲ添ヘ決裁ヲ經テ歳入簿歳出簿ニ登記ノ手續ヲ爲スヘシ但報告書差出后ニ於テ科目ノ組替其他異動ヲ生シタルモノアルトキハ更正報告書ヲ調製シ本條ノ手續ヲ爲スモノトス

第四百十條 出納吏ハ毎年度歳入ノ現金收入歳出ノ現金前渡各種基金其他縣經濟ニ屬スル證券歳入歳出外ノ現金證券ノ出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ翌年度四月三十日迄ニ之ヲ差出スヘシ但現金前渡ヲ受ケタル出納吏ハ其任拂ヲ完了シタルトキ本條ノ手續ヲ爲スヘシ

第四百十一條 第三百三十七條第百三十九條及第四百十條ニ依リ收入支出ノ報告書及計算書ニ添付スヘシ

キ收支ノ證憑書類ハ別ニ定ムル規定ニ依リ之ヲ整理提出スヘシ

第四百十二條 各課ハ毎年度其主掌ニ屬スル歳出現計書ヲ各款別ニ調製シ翌年度七月十日迄ニ内務部

第五課ニ送付スヘシ

第四百十三條 第四百十二條ノ歳出現計書ハ各自ニ對スル當初豫算ノ決定額豫算決定後ノ増減額翌年度へ繰越額豫算不用額及豫算ノ使用濟額ヲ掲記シ尙豫算ノ増減額翌年度へ繰越額及不用トナリタル金額ニ對シテハ其理由ノ説明ヲ詳細ニ付記スヘシ

第四百十四條 内務部第五課ハ毎年度帳簿ノ結果ニ依リ翌年度八月三十一日迄ニ歳入歳出及各特別會計ノ歳入歳出ノ總決算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ決裁ヲ經テ縣會ニ報告ノ手續ヲ爲スヘシ

第四百十五條 歳入歳出及各特別會計ノ歳入歳出總決算ノ説明ハ歲計全体ニ關スル説明ノ外項毎ニ豫算ニ對スル過不足ノ説明ヲ付シ各目毎ニ計算ノ基礎ヲ明記スヘシ

第七章 會計監査

第四百十六條 收入支出命令ノ委任ヲ受ケタル官吏々員ヨリ提出スル收入支出ノ報告書現計書及其證憑書類ハ内務部第五課ニ於テ之ヲ檢査シ其檢査上ノ顛末ヲ具申スヘシ出納吏ヨリ提出スル出納計算書及證憑書類ニ付テモ亦同シ

第四百十七條 檢査上不合規又ハ疑問ニ涉ル事項若クハ將來ノ措置ニ對シ注意ヲ要スヘキ事項ヲ發見シタルトキハ決裁ヲ經テ當該吏員ニ對シ審理書ヲ發シ辨明ヲ求メ若クハ注意ヲ促スヘシ

第四百十八條 計算ノ誤謬脱漏又ハ科目違ヒ若クハ證憑書類中不完全ノ態等ヲ發見シタルトキ其事由ノ明瞭ナルモノハ審理書ヲ用ヒス便宜報告書計算書又ハ證憑書類ニ附箋ノ上返付シ之ヲ訂正セシムヘシ

第四百十九條 本廳ノ取扱ニ係ル收入支出ノ報告書及證憑書類ノ檢査ハ第四百十六條乃至第四百十八

條ノ規定ヲ適用ス

第八章 帳簿

第一百五十條 內務部第五課ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ一切ノ出納ヲ登記スヘシ

- 一 出納原簿
 - 二 歳入簿
 - 三 各特別會計歳入簿
 - 四 歳入各廢内譯簿
 - 五 歳出簿
 - 六 各特別會計歳出簿
 - 七 歳出各廢内譯簿
 - 八 各種基金内譯簿
 - 九 罹災救助基金内譯簿
 - 十 現金所在口別簿
 - 十一 豫算月額整理簿
 - 十二 收入簿
 - 十三 支出簿
 - 十四 現金前渡整理簿
 - 十五 概算整理簿
- 第一百五十一條 出納吏ハ左ノ帳簿ヲ備ヘ其出納ヲ登記スヘシ
- 一 現金出納簿

二 收入簿

三 支出簿

四 證券整理簿

五 歳入歳出外現金整理簿

六 歳入歳出外證券整理簿

第一百五十二條 第一百五十條第一百五十一條ノ外出納ノ細別ヲ要スルモノハ便宜補助簿ヲ設ケ整理スヘシ

第九章 雜則

第一百五十三條 本則ニ掲クル諸計算書類及帳簿ノ様式記入ノ方法ハ別ニ之ヲ定ム

第十章 附則

第一百五十四條 本則ハ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス

第一百五十五條 本則ニ抵觸スル從前ノ訓令通牒決議等ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス但明治三十三年度所屬ノ收支出納ハ其計算完了ノ日迄尙從前ノ手續ニ依リ取扱フヘシ

訓令第十七號

明治三十四年三月二十九日

縣	警	警	郡	警	內
立	察	察	市	察	務
學	分	署	役	部	部
校	署	署	所	部	部

縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣	縣
立	立	立	立	立	立	立	立	立	立
病	病	病	病	病	病	病	病	病	病
院	院	院	院	院	院	院	院	院	院
微	微	微	微	微	微	微	微	微	微
院	院	院	院	院	院	院	院	院	院
場	場	場	場	場	場	場	場	場	場
場	場	場	場	場	場	場	場	場	場
所	所	所	所	所	所	所	所	所	所
所	所	所	所	所	所	所	所	所	所
館	館	館	館	館	館	館	館	館	館
所	所	所	所	所	所	所	所	所	所
候	候	候	候	候	候	候	候	候	候
所	所	所	所	所	所	所	所	所	所
庫	庫	庫	庫	庫	庫	庫	庫	庫	庫

愛知縣會計細則左之通定ム

愛知縣會計細則

第一章 總 則

- 第一條 會計規則第四條ノ各府及市役所警察分署博物館測候所其他各府ニ臨時ニ設置スル出納吏ニ於テ取扱フ縣ノ經濟ニ屬スル會計事務ハ法律命令ノ規定ニ從ヒ此細則ニ依リ處理スヘシ
- 第二條 歳入歳出及各特別會計ノ歳入歳出ハ毎年度縣會ノ決議シタル豫算科目ニ依リ款項目節ニ區分整理スヘシ但決議録中各目ノ内譯金額ヲ示サ、ルモノハ節ヲ設クルヲ要セス
- 第三條 歳入歳出外現金及證券ノ整理科目ハ別ニ之ヲ定ム
- 第四條 物品ノ出納及保管ハ別ニ定ムル規定ニ依リ取扱フヘシ
- 第五條 特別會計トシテ整理スヘキモノ概テ左ノ如シ
 - 一 愛知病院全醫學校ノ歳入歳出
 - 二 岡崎支病院ノ歳入歳出

三 市町村立小學校及實業補習學校教員恩給基金

四 罹災救助基金歳入歳出

- 第五條 出納ニ關係アル官吏々員其他職員ノ氏名及印鑑ハ豫メ之ヲ關係縣金庫ニ送付スヘシ
- 第六條 收入支出命令ノ委任ヲ受ケタル官吏々員其他ノ職員及出納吏交替シタルトキ其後任者ノ氏名印鑑ヲ添ヘ其旨直ニ關係ノ縣金庫ヘ通知スヘシ
- 第七條 會計ニ關スル帳簿ハ總テ傳票ヲ調製シ決裁ヲ經ルニアラサレハ收支又ハ更訂ノ記帳ヲ爲スコトヲ得ス

第二章 豫 算

- 第八條 各府長ハ會計規則第八條第二項ニ依リ任拂豫算ノ令達ヲ受ケタルトキ六十日以内ニ任拂月額報告書ヲ調製シ縣廳ニ差出スヘシ
- 第九條 任拂月額報告書提出後其變更ヲ要スルトキハ其時々之ヲ報告スヘシ
- 第十條 各府長ハ任拂豫算ノ令達ヲ受ケタル後其増額ヲ請求スルコトヲ得ス但臨時止ムヲ得サルモノハ此限ニアラス
- 第十一條 第九條但書ニ依リ任拂豫算ノ増額ヲ請求セントスルトキハ其事由ヲ詳記シタル計算書ヲ調製シ速ニ具申スヘシ但事實攔キ難キモノヲ除クノ外當該年度二月十五日ヲ過クルトキハ一切之ヲ請求スルヲ得ス
- 第十二條 愛知病院全醫學校及岡崎支病院ニ於テ豫備費支出ノ許可ヲ得ントスルトキハ其支出ヲ要スル事由ヲ具申スヘシ
- 第十三條 任拂豫算各款内項目ノ流用ヲ要スルトキハ其事由ヲ詳記シタル計算書ヲ調製シ具申スヘシ
- 第十四條 任拂豫算各目内ノ流用ヲ要スルトキハ各府長ニ於テ專決施行スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ其科目金額事由ヲ詳記シタル豫算流用報告書ヲ調製シ速ニ縣廳ニ差出スヘシ
 第十四條 各麻長ハ各年度豫算内ノ事業ハ其年度内ニ於テ之ヲ完結スヘシ
 一年度内ニ終ルヘキ事業ニシテ止ムヲ得サル事故ノ爲メ其事業ヲ遲延シ出納閉鎖期日迄ニ其經費ノ支出ヲ終ル能ハスト認ムルモノアルトキハ其年度三月一日ノ現況ニ依リ繰越計算書ヲ調製シ三月十日迄ニ具申スヘシ但契約ニ係ルモノハ其契約書ノ寫ヲ添付スヘシ
 第十五條 各麻長ハ繼續費ノ仕拂殘額ヲ毎年度三月三十一日ノ現況ニ依リ翌年度四月十日迄ニ縣廳ニ報告スヘシ

第三章 收入支出

第十六條 縣稅使用料手数料及其他ノ諸收入ノ徵收取扱手續ハ別ニ定ムル所ニ依ルヘシ
 第十七條 收入命令ノ委任ヲ受ケタル官吏々員其他ノ職員ハ縣金庫ヨリ縣稅使用料手数料及其他ノ諸收入金ノ收入濟通知書若クハ出納吏ノ歳入金拂込濟ノ通知書ヲ受ケタルトキハ收入傳票ヲ調製シ年度科目番號ヲ付記シ決裁ヲ經テ收入ノ手續ヲ爲スヘシ
 第十八條 收支命令ノ委任ヲ受ケタル官吏々員ハ縣金庫ヨリ縣廳ヘ提出スヘキ現金出納月計表ノ證明ヲ請求シタルトキハ帳簿ニ對查シ正當ト認ムルトキハ適宜ノ個所ニ證明ノ文字ヲ記入シ捺印ノ上之ヲ返付スヘシ
 第十九條 收入命令ノ委任ヲ受ケタル官吏々員ハ其取扱ニ係ル歳入金ノ内市町村立小學校及實業補習學校教員恩給基金罹災救助基金ノ收入濟額ヲ毎月十五日末日ノ兩度ニ取纏メ其收入濟額ヲ縣廳ニ報告スヘシ但年度後ノ收入其他必要アル場合ハ臨時本項ノ手續ヲ爲サシムルコトアルヘシ
 前項ノ場合ニ於テハ支金庫ヲシテ其收入濟ニ係ル現金ヲ本金庫ニ回送セシメ其回送書ヲ徵シ之ヲ收入濟額報告書ニ添付スヘシ

第二十條 歳出金ノ仕拂ハ第八條仕拂月額ノ範圍内ニ於テ仕拂命令ヲ發スヘシ

愛知病院全醫學校費岡崎支病院費其他特別會計ニ屬スル歳出金ハ仕拂月額範圍内ト雖トモ之ニ伴フヘキ收入ナキトキハ其收入濟額ヲ限度トシテ仕拂命令ヲ發スヘシ

第二十一條 歳出金ノ仕拂ヲ要スルトキハ會計主務者ニ於テ正當債主又ハ其代理人ヨリ請求書ヲ徵シ其金額ヲ算定シ支出ヲ要スル事由其他必要ノ事項ヲ調査シ正當ト認メタルトキハ支出傳票ヲ調製シ年度科目番號ヲ付記シ麻長ノ決裁ヲ經テ仕拂命令發行ノ手續ヲ爲スヘシ
 俸給手當附料ノ如キ同種ノ金額ヲ常時多數ノ職員ヘ支給スヘキモノニシテ各自ヨリ總代人ヲ定メ豫メ受取方ヲ届出タルトキハ其總代人ヲシテ請求書ヲ差出サシムルモ妨ナシ

第二十二條 會計規則第五十二條ノ注文傳票乙號ヲ以テ代金ノ請求ヲ爲スモノアルトキハ第二十一條ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ該傳票二行目空欄ニ年度科目ヲ記入シ其首行空欄ニ麻長ノ決裁ヲ受クヘシ

第二十三條 正當債主又ハ其代理人ヲシテ請求書ヲ差出サシメ難キトキ若クハ之ヲ差出サシムルノ暇ナキトキ及現金前渡ヲ爲ストキハ會計主務者ニ於テ支出調書ヲ調製シ第二十一條ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十四條 官吏遺族扶助料及府縣立師範學校長俸給並ニ公立學校職員退隱料及遺族扶助料法ニ依リ國庫ニ納金ヲ爲スヘキ義務アル官吏々員其他ノ職員ニ對シ俸給ノ仕拂ヲ要スルトキハ會計規則第七

十條第一號乃至第三號乙様式ノ仕拂命令ヲ發スヘシ
 前項ノ仕拂命令ヲ發行シタルトキハ其時々國庫納金額仕譯書ヲ調製シ出納吏ニ送付シ同時ニ縣金庫

ニシテ該控除額ヲ歳入歳出外ノ現金振替ノ手續ヲ爲サシムヘシ
 第二十五條 仕拂命令ヲ發行セントスルトキハ第二十一條乃至第二十三條ノ支出傳票ニ依リ其支出額ヲ帳簿ニ登記シタル後ニアラサレハ之ヲ發行スルコトヲ得ス

- 第二十六條 總テ改竄塗抹シタル案内仕拂命令及仕拂通知書ハ之ヲ發行スルコトヲ得ス
- 第二十七條 案内仕拂命令仕拂通知書ニハ發行者ノ職印ノ外金額ノ欄ニ各麻長若クハ其代理者會計主務者及其他ノ官吏々員ヲ合セテ三名ノ認印ヲ捺シ之ヲ發付スヘシ
各麻長ハ前項ニ依リ案内仕拂命令仕拂通知書ニ捺印セシムヘキモノ、官職氏名ヲ豫メ縣金庫ニ通知スヘシ
- 第二十八條 縣金庫ニ案内仕拂命令集合仕拂命令又ハ送金ヲ要スル仕拂命令集合仕拂命令ヲ交付セシムルトキハ命令發行簿ニ各款ノ金額並ニ命令番號及枚數ヲ記入シ縣金庫出納役若クハ其代理人ニ交付シ其領收證印ヲ徴スヘシ
集合仕拂命令送金ヲ要スル仕拂命令集合仕拂命令ヲ縣金庫ニ交付シタルトキハ前項ノ外各債主毎ニ其命令若クハ金額氏名表ノ番號仕拂金額ヲ掲記シタル縣金庫ノ領收證書ヲ徴シ置キ追テ正當受取人ノ領收證書ト引換ヲ爲スヘシ但縣金庫ノ領收證書ハ便宜帳簿ヲ以テ代用スルモ妨ナシ
- 第二十九條 仕拂命令ヲ受取人ニ交付セントスルトキハ請求書ト同一ノ印判ヲ捺シタル領收證書ヲ徴スヘシ但代人ヲ以テ領收セントスル者アルトキハ委任狀ヲ提供セシムルモノトス
前項領收證書ハ受取人ヲシテ請求書ニ領收ノ旨與書ヲ爲シ署名捺印セシムルモ妨ナシ
- 第三十條 依リ受取人ニ交付シ若クハ第二十八條第一項ニ依リ縣金庫ニ交付シタル仕拂命令ニシテ出納閉鎖期日迄ニ縣金庫ニ於テ現金ノ仕拂テ了セサルモノアルトキハ其仕拂命令ノ所屬年度番號金額債主氏名支出科目等ヲ詳記シ出納閉鎖後十日以内ニ縣應ニ報告スヘシ
前項ノ場合ニ於テ當該金庫ヲシテ現金仕拂未済ナル旨ノ證明書ヲ差出サシムヘシ
- 第三十一條 受取人ニ於テ請求書ト異リタル印判ヲ捺シタル領收證書ヲ差出シタルトキハ調査ノ上其事由ヲ詳記シタル書面ニ市町村長ノ證明ヲ經タル印鑑ヲ添ヘ差出サシムヘシ

- 第三十一條 仕拂通知書ヲ各受取人ニ送付スルトキハ左ノ諸件ヲ豫告スヘシ
 - 一 受取人現金領收ノトキハ仕拂通知書ニ接續スル領收證書ニ年月日及氏名ヲ記載シ捺印スルコト
 - 二 印判ハ請求書ト同一ノ印判用ニルコト若シ印判ヲ異ニスルトキハ第三十條ニ依リ印鑑ヲ差出スヘキコト
 - 三 印紙稅法ニ依リ收入印紙ノ貼用ヲ要スルモノハ其稅額並ニ印紙貼用個所ニ消印スヘキコト
 - 四 市町村長其市町村代表シテ請求シタル金額ニ係ル領收證書ニハ收入役署名捺印スルコト
 - 五 銀行會社其他ノ法人ヨリ請求シタル金額ニ係ル領收證書ニハ其法人ノ理事取締役若クハ業務擔當人其他法人ヲ代表スヘキモノノ署名捺印スルコト
 - 六 前各號ノ外必要ト認ムル事項
- 第三十二條 會計規則第十九條ニ依リ仕拂命令若クハ仕拂通知書ノ更正又ハ保證ヲ請求スルモノアルトキハ會計主務者ニ於テ之ヲ調査シ麻長ノ決裁ヲ經テ其更正ヲ要スルモノハ取消ノ上更ニ發付ノ手續ヲ爲シ其保證ヲ要スルモノハ仕拂命令ニアリテハ裏面ニ仕拂通知書ニアリテハ欄外適宜ノ場所ニ仕拂ヲ保證スヘキ旨ヲ記入シ麻長ノ職印及會計主務者ノ認印ヲ捺シ之ヲ請求人ニ交付スヘシ
- 第三十三條 仕拂命令又ハ案内仕拂命令ノ取消ヲ要スルトキハ會計主務者ニ於テ年度科目金額命令番號發行月日債主氏名及其事由ヲ詳記シ麻長ノ決裁ヲ經テ縣金庫ニ通報シ仕拂命令若クハ案内仕拂命令ヲ返付スヘシ
前項ニ依リ返付ヲ受ケタル仕拂命令案内仕拂命令ハ麻長ノ定ムル方法ニ依リ之ヲ棄却スヘシ
仕拂命令發行後所屬年度科目ノ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ其時々麻長ノ決裁ヲ經テ更正ノ手續ヲ爲スヘシ
前項ノ場合ニ於テ縣金庫ニ關係アルモノハ當該縣金庫ニ對シ其更正ヲ請求スヘシ

第三十四條 會計規則第二十條ニ依リ仕拂命令仕拂通知書ヲ盜取セラレ又ハ亡失シタル旨届出ル者アルトキハ會計主務者ニ於テ之ヲ調査シ正當ト認ムルトキハ麻長ノ決裁ヲ經テ其旨ヲ届書ニ記入シ麻長ノ署名捺印ヲ爲シ尙會計主務者ノ認印ヲ捺シ之ヲ縣金庫ニ送付スヘシ
前項ノ手續ヲ了シタルトキハ適宜ノ方法ヲ以テ其盜取又ハ亡失ニ係ル仕拂命令若クハ仕拂通知書ノ無効タルコトヲ公告スヘシ

第三十五條 仕拂通知書發送途中ニ於テ紛失シタルコトヲ發見シタルトキハ事實ヲ調査シ縣金庫ニ照會シテ仕拂ノ濟否ヲ確メ其仕拂未済ニ係ルモノニ對シテハ麻長ノ決裁ヲ經テ之ヲ再發スヘシ
仕拂通知書ヲ再發シタルトキハ金額番號及受取人ノ住所氏名其他必要ノ事項ヲ記載シ其再發ノ旨ヲ縣金庫ニ通知シ第三十四條第二項ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十六條 會計規則第十條第二項ニ依リ現金前渡ヲ爲スヘキ金額ハ左ノ區分ニ依ル

- 一 仕拂場所ノ一定セサル經費ハ其支出概算額
- 二 縣金庫所在地外ニ臨時ニ設置スル事務所ノ經費ハ每一ヶ月分ノ所要額
- 三 官吏々員其他ノ職員出張先ニ於テ特ニ仕拂ヲ要スル經費ハ一主任ニ付百圓以内
- 四 工事費ニシテ特ニ工事現場ニ於テ仕拂ヲ要スル經費ハ毎回支出概算額
- 五 外國ニ於テ仕拂ヲ爲ス經費ハ其支出概算額但數月ニ涉ルモノニシテ毎月一定ノ額ヲ定メテ仕拂ヲ要スルモノハ四ヶ月分以内

六 警察分署ノ經費ハ每一ヶ月分ノ所要額

第三十七條 各麻ニ於テ會計規則第二十三條第一項ニ依リ年度開始前ニ於テ特ニ現金前渡ヲ爲スノ必要アルトキハ其科目金額前渡ヲ爲スヘキ吏員ノ氏名及其必要ノ事由ヲ詳細具申スヘシ

第三十八條 各麻ニ於テ年度開始前現金前渡ノ許可ヲ得タルトキハ普通濫出金仕拂ノ手續ニ依リ現金

前渡ノ仕拂命令ヲ發スヘシ

第三十九條 會計規則第二十四條ニ依リ概算渡ヲ爲スヘキ金額ハ左ノ區分ニ依ルヘシ

- 一 旅費ニアリテハ一旅行ニ對スル豫定概算額但旅行ノ數月ニ涉ルモノハ一ヶ月分宛打切リ請求スルモノトス
- 二 機密費ニアリテハ一ヶ月以内ノ豫定概算額
- 第四十條 概算拂ヲ受ケタルモノハ左ノ期日以内ニ精算書ヲ調製シ其精算ヲ爲スヘシ
 - 一 旅費ハ歸廳後五日以内但旅行ノ甲乙兩年度ニ跨ルモノハ翌年度四月五日限り甲年度所屬ノ分ヲ精算スルモノトス
 - 二 機密費ハ翌月五日以内

第四十一條 概算拂ヲ受ケタルモノハ其概算額ニ對シ精算ヲ爲スニアラサレハ再々ヒ概算拂ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第四十二條 第四十條ニ依リ精算書ヲ差出シタルトキハ會計主務者ニ於テ之ヲ調査シ其過渡トナリタル金額ハ返納ノ手續ヲ爲サシメ追給ヲ要スルモノハ仕拂命令發行ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十三條 會計規則第二十五條ニ依リ繰換拂ヲ要スルトキハ會計主務者ニ於テ正當債主ノ請求書又ハ其他ノ調書ニ依リ之ヲ調査シ第二十一條第一項ノ手續ヲ準用シ各麻經費仕拂豫算定額ノ内ヨリ仕拂ノ手續ヲ爲スヘシ

繰換拂ニ係ル案内仕拂命令集合仕拂命令送金ヲ要スル仕拂命令集合仕拂命令ハ特ニ繰換拂ノ文字ヲ明記スヘシ

第四十四條 警察署及警察分署ニ於テハ旅費又ハ緊急ノ支出ヲ要シ成規ノ手續ヲ經ル暇ナキ場合ニ充ツル爲メ特ニ準備金ヲ置クコトヲ得準備金ノ額ハ別ニ之ヲ定ム

準備金ハ警察署仕拂豫算定額ノ内ヨリ繰換拂ノ手續ニ準シ之ヲ拂出シ各署長ニ於テ之ヲ領收保管スヘシ

警察署長若クハ警察分署長ニ於テ準備金ノ仕拂ヲ爲ストキハ受取人ノ領收證書ヲ徴スヘシ

警察署長若クハ警察分署長ニ於テ準備金ヨリ仕拂ヲ爲シタル金額ハ債主ノ領收證書ニ準備金ヨリ繰換任拂タル證明書ヲ添ヘ普通歳出金仕拂ノ手續ニ依リ其仕拂ヲ受ケ之ヲ準備金ニ繰入ルヘシ

準備金ヲ定額ニ戻入スルトキハ第四十六條ノ規定ヲ準用シ警察署長若クハ警察分署長ニ返納告知書ヲ發スヘシ

第四十五條 現金前渡及繰換拂ノ金額ハ支出簿ニ登記セズ現金前渡繰換拂整理簿ニ登記整理スヘシ

第四十六條 各庫ニ於テ會計規則第二十七條若クハ第三十條ニ依リ返納告知書ノ發付ヲ要スルトキハ會計主務者ニ於テ精算書又ハ返納告知書等ニ依リ之ヲ調査シ報告傳票ヲ調製シ庫長ノ決裁ヲ經テ返納額元帳ニ年度科目番號金額納期日返納人ノ住所氏名及事由ヲ詳記シ之ニ基キ返納告知書ヲ調製シ式ノ如ク記入捺印シ返納額元帳ト契印シ之ヲ發付スヘシ

第四十七條 各庫ニ於テ第四十六條ノ返納告知書ヲ發付シタル以外ノ縣金庫ニ納付セシムルヲ便宜ト認メタルトキ金ヲ要スル仕拂命令集合仕拂命令ヲ交付シタル以外ノ縣金庫ニ納付セシムルヲ便宜ト認メタルトキハ會計規則第七十條第七號乙様式ノ返納告知書ヲ發スヘシ

第四十八條 各庫ニ於テ縣金庫ヨリ定額へ戻入濟ノ通知ヲ受ケタルトキハ關係書類ニ依リ調査シ返納額元帳ニ戻入濟月日ヲ記入シ會計主務者認印ノ上該通知書ニ基キ戻入傳票ヲ調製シ庫長ノ決裁ヲ經テ戻入濟額記帳ノ手續ヲ爲スヘシ

第四十九條 各庫ニ於テ縣金庫ヨリ返納金回送濟通知書ヲ受ケタルトキハ第四十八條ノ手續ヲ爲シ其返納金回送濟通知書ニ添付スル回送證ニ戻入年月日ヲ記入シ會計主務者認印ノ上其定額戻入ヲ爲サ

シムヘキ縣金庫ニ送付スヘシ

第五十條 國庫ニ納金ヲ爲スヘキ義務アル官吏々員其他ノ職員俸給支給後轉免等ノ爲メ過渡トナリタル俸給ノ返納ヲ要スルトキハ國庫納金額ヲ控除シタル金額ヲ返納セシムヘシ

第五十一條 國庫納金ノ過渡トナリタルモノヲ經費ノ定額ニ戻入セントスルトキハ出納吏ニ對シ返納告知書ヲ發スヘシ

第五十二條 各庫ニ於テ過年度ニ屬スル歳出金ノ仕拂ヲ要スルモノアルトキハ其所屬年度科目金額正當債主ノ住所氏名及事由ヲ詳記シタル要求書ヲ調製シ債主ノ請求書ヲ添ヘ具申スヘシ

各庫ニ於テ欠損補填ヲ要スルモノアルトキハ其所屬年度科目金額及補填ヲ要スル事由ヲ詳記シタル要求書ヲ調製シ具申スヘシ

第四章 工事及物件ノ賣買貸借

第五十三條 工事ノ受負及物件ノ賣買貸借其他各種ノ供給若クハ受負ニ關スル契約ハ庫長ニ於テ之ヲ處理スヘシ

左ニ掲クル工事ノ受負及物件ノ賣買貸借其他各種ノ供給若クハ受負ニ關スル契約ヲ爲サントスルトキハ其事由ヲ詳記シ具申スヘシ但特ニ委任シタル工事ニシテ其施工及契約ノ方法ヲ指示シタルモノハ此限ニアラス

- 一 五百圓ヲ超ユル工事ノ受負契約ヲ爲ストキ
 - 二 參百圓ヲ超ユル物件ノ買入借入修繕及各種ノ供給若クハ受負ノ契約ヲ爲ストキ
 - 三 見積價格百圓ヲ超ユル動産ノ賣買契約ヲ爲ストキ
- 第五十四條 警察分署測候所博物館ノ需用品ノ買入借入及動産ノ賣買其他各種ノ供給若クハ受負ニ關スル契約ニシテ參拾圓ヲ超ヘサルモノハ警察分署長測候所長博物館上席書記ニ於テ之ヲ處理スヘシ

前項ノ制限額ヲ超過スル契約ノ締結ヲ要スルトキハ其必要ノ事由ヲ詳記シ測候所及博物館ニアリテハ直ニ之ヲ具申シ警察分署ニアリテハ本廳署ニ申報スヘシ

警察署ニ於テ前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ署長ノ決裁ヲ經テ處理スヘシ

第五十五條 第五十三條第二項ニ依リ具申スルトキ提供スヘキ書類左ノ如シ

- 一 工事ニアリテハ設計ヲ詳悉シタル仕様書及要領ヲ示シタル圖面
- 二 物件ニアリテハ品質數量
- 三 豫定見積價格
- 四 入札保證金契約保證金保險料等ヲ要スルモノニアリテハ其調書
- 五 指名競争ニアリテハ其指名入札ヲ爲サシムヘキ當業者ノ住所氏名
- 六 隨意契約ニアリテハ當業者ノ見積書
- 七 新聞廣告案入札人心得書案契約書案若クハ受書案
- 八 前各號ノ外必要ノ書類

第五十六條 各廠ニ於テ工事ノ受負又ハ物件ノ賣買貸借其他各種ノ供給若クハ受負ニ關スル契約ヲ爲サントスルトキハ各主務者ニ於テ之ヲ調査シ其必要ノ事項ヲ具シ廠長ノ決裁ヲ經テ之ヲ施行スヘシ但物品ノ買入修繕ノ類ニシテ第五十三條第二項ノ手續ヲ要セサルモノハ帳簿ヲ以テ決裁ヲ受クルモ妨ナシ

第五十七條 工事ノ受負又ハ物件ノ買入其他ノ供給ニシテ特ニ年度開始前ニ於テ契約ヲ爲スノ必要アルトキハ其事由ヲ詳記シ具申スヘシ

第五十八條 工事ノ受負又ハ物件ノ賣買貸借其他各種ノ供給若クハ受負ノ入札ニ加ハラントシ若クハ契約ヲ結ハントスル者ニハ要領ヲ示シタル圖面設計ヲ詳悉シタル仕様書入札人心得書契約書案現品標

本雜形其他必要ナル條件ヲ示スヘシ

第五十九條 左ノ事項中ノ一ニ該當スルモノハ受負人又ハ供給人タラシムルコトヲ得ス

- 一 破産ノ宣告ヲ受ケ復權セサルモノ又ハ家資分散ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ了ヘサル者
- 二 現ニ公ノ救助ヲ受クル者
- 三 本縣ニ於テ受負契約ニ違ヒ其契約ヲ解除セラレ若クハ落札後正當ノ事由ナクシテ契約ヲ結ハカリシ者
- 四 本縣ヲ第三債務者トシテ自己ノ受負代金ヲ差押ヘシメタル者

第六十條 會計規則第三十九條第三號ノ場合ニ於テハ廠長ノ決裁ヲ經テ保證金ノ要否ヲ定ムヘシ

第六十一條 會計規則第三十八條第二項ニ依リ保證金トシテ納付セシムル國債券地方債券及勸業銀行債券ノ價格ハ別ニ之ヲ定ム

第六十二條 工事ノ受負又ハ物件供給ノ競争ニ加ハラントシ若クハ契約ヲ結ハントスルモノニハ會計規則第三十七條ノ資格ヲ地元市町村長ニ於テ其都度證明シタル書面ヲ差出サシムヘシ

第六十三條 會計規則第三十七條第二項ニ依リ競争者又ハ契約者ノ資格ヲ定ムルノ必要アルトキニ其事由ヲ詳記シ具申スヘシ

第六十四條 競争者クハ指名競争ノ場合ニ於テ左ノ各號ニ該當スル入札ハ無効トスヘシ

- 一 入札人者クハ其代人ノ署名捺印ナキモノ
- 二 入札保證金ヲ納付セタルモノ
- 三 一人ニテ二通以上ノ入札ヲ爲シタルモノ
- 四 誤字脱字若クハ汚染塗抹毀損等ニ依リ金額住所氏名其他入札ノ要件ヲ認知シ難キモノ
- 五 競争者ノ資格ヲ定メタルトキ其資格證明書ヲ所持セサルモノ

第六十五條 時限後ノ入札又ハ一旦差出シタル入札ノ引換若クハ取消訂正等ハ何等ノ事故ヲ問ハス一切之ヲ許容スルコトヲ得ス

開札ノ上内譯金額ニ誤謬アルトキハ之ヲ訂正セシムルコトヲ得但合金額ニ及ホスコトヲ得ス

第六十六條 會計規則第四十二條ノ豫定價格ハ開札當日開札時限ニ接近シタル場合ニ於テ麻長ノ決裁ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

第六十七條 豫定價格書ハ落札トナルヘキモノナキトキハ之ヲ開示セサルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ入札人ノ内一名ヲシテ封印セシメ開札ノ日ヨリ二十日以後三日以内ニ之ヲ示スヘシ

第六十八條 競争若クハ指名競争入札ノ落札決定シタルトキハ通知書ヲ發シ契約締結ニ關スル要件ヲ告知スヘシ但注文傳票ヲ發スル場合ハ此限ニアラス

第六十九條 競争若クハ指名競争入札ノ落札者ニハ第六十八條ノ通知書若クハ注文傳票ヲ交付シタル日ヨリ三日以内ニ契約保證金ヲ納付シ契約書ヲ提出セシムヘシ

工事又ハ物件供給ノ受負ニシテ入札書ノ外内譯明細書其他ノ書類物件ヲ提出セシムルヲ要スルモノハ前項ノ通知書若クハ注文傳票交付ノ日ヨリ三日以内ニ之ヲ差出サシメ調査ノ上其承認濟通知ノ日ヨリ三日以内ニ契約保證金ヲ納付シ契約書ヲ提出セシムヘシ

各弊ニ於テ止ムヲ得ナル事故ノ爲メ前二項ノ期日ヲ延長スルノ必要アルトキハ七日以内ニ於テ麻長之ヲ定ムヘシ

第七十條 競争若クハ指名競争入札ノ場合ニ於テ落札人定テリタルトキハ自餘ノ入札人ニ對シテハ其入札保證金返付スヘシ

落札者ノ入札保證金ハ契約保證金ヲ納付シタル後ニアラサレハ返付スルコトヲ得ス但會計規則第三

十九條第二號第三號ノ場合ニ於テハ契約書ヲ差出シタルトキ若クハ物件ヲ受渡テ了シタルトキ之ヲ返付スルモノトス

第七十一條 工事ノ受負又ハ物件ノ買賣其他各種ノ供給若クハ受負ニシテ會計規則第三十三條但書第八號第十一號第十二號及同則第四十八號ノ場合ハ當業者二人以上ノ見積書ヲ徴シ之ニ基キテ受負人又ハ供給人ヲ撰定スヘシ

第七十二條 會計規則第四十七條ニ依リ指名競争ニ付スルハ受負業者又ハ供給者連合團結シテ不當ノ價格ニ競落セントスルノ虞アルトキ若クハ無資無産ノ徒競争ニ加ハリ爲メニ正當ノ受負業者又ハ供給者ノ競争ニ妨害ヲ加フルノ虞アルトキ其他無制限ノ競争ニ付スルヲ不利トスル特殊ノ事由アル場合ニ限ルモノトス

會計規則第四十八條第三號ニ依リ隨意契約ヲ爲スハ指名競争ニ付スルモ尙其受負業者又ハ供給者連合團結シテ不當ノ價格ニ競落セントスルノ虞アルトキ其他指名競争ニ付スルヲ不利トスル特殊ノ事由アル場合ニ限ルモノトス

第七十三條 契約金額百圓以上ナルトキハ左ノ標準ニ依リ工事ノ既成部分又ハ物件ノ既納部分ニ對シ一部仕拂ノ契約ヲ爲スコトヲ得但五千圓以上ニシテ本條ノ標準ニ依リ難キトキハ其時々其事情ヲ具申スヘシ

金額五百圓迄	内	渡	二回	以内
金額千圓迄	内	渡	三回	以内
金額五千圓迄	内	渡	四回	以内
金額壹萬圓迄	内	渡	五回	以内
金額壹萬圓以上	内	渡	六回	以内

第七十四條 物件ノ購買ハ需用ノ都合ニ依リ一ケ年若クハ數ヶ月ノ需用概算高ヲ見積リ其價格ヲ定メ置キ實際需用ノ都度納入セシムヘキ契約ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ每次其納入額ニ對シ代金ヲ拂渡スヘシ

第七十五條 延滞又ハ違約ニ關スル處分方法ハ延滞ノ場合ニアリテハ延滞償金違約ノ場合ニアリテハ違約金ヲ徵スルモノトス

第七十六條 第七十五條ノ延滞償金及違約金ノ額ハ左ノ標準ニ依ルヘシ

- 一 延滞償金 工事ニ關スルモノハ一日ニ付受負代金ノ五百分ノ一以上物件ニ關スルモノハ一日ニ付未納數量ニ對スル代金ノ五百分ノ一以上
- 二 違約金 契約保證金ノ全額若クハ幾部分又ハ工事ニ關シテハ受負代金ノ百分ノ十以上物件ニ關シテハ未納數量ニ對スル代金ノ百分ノ十以上

第七十七條 工事又ハ物件ノ性質ニ依リ保險期間ヲ定メ保險料ヲ徵スルノ必要アルモノハ契約書ニ其金額及處分方法ヲ明記スヘシ

第七十八條 會計規則第五十一條ニ依リ注文傳票ヲ以テ契約書ニ代用シタル場合ニ於テ延滞又ハ違約ニ關シ必要アリト認ムルトキハ其處分條件ヲ明記シタル受書ヲ徵スヘシ

第七十九條 會計規則第五十六條第二項ニ依リ豫納金ヲ納付セシムルノ必要アルトキハ廳長ノ決裁ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

第八十條 保證金又ハ豫納金保險料ヲ納付セントスルモノアルトキハ會計規則第六十條ノ手續ヲ爲サシムヘシ但國債證券地方債證券勸業銀行債券ヲ以テ納付セントスル者ハ納付書ヲ添ヘ直ニ出納吏ニ納付セシムヘシ

博物館測候所ニ於テ保證金又ハ豫納金保險料ヲ納付セシムルヲ要スルトキハ縣廳出納吏ニ之ヲ納付セシムヘシ

第八十一條 契約ニ依リ供給ヲ受ケタル物件ハ之ヲ標品及契約書受書又ハ注文傳票等ニ照シ品質數量其他契約若クハ注文ノ事項ニ相違ナキヤ否ヲ検査シ適合ト認ムルトキハ其受授ヲ爲スヘシ但特ニ技術者ノ検査ヲ要スルモノハ受授以前ニ於テ其手續ヲ爲スヘシ

納付ノ物品多數ニシテ其量目員數品質等ヲ容易且即時ニ調査スルコトヲ得サルモノハ抜検査ヲ爲スコトヲ得

第八十二條 第八十一條第二項ノ物品又ハ或ル期間内試用セザレハ其適否ヲ鑑別シ能ハサル物品ハ豫メ期間ヲ定メ其期間内ニ不適合ナル物品ナルコトヲ發見シタルトキハ適合ノ物品ト引換ヘシムルカ若クハ契約ヲ解除スルコトアルヘキコト及此場合ニ於ケル費用ハ供給人ノ負擔タルヘキコトヲ豫メ契約シ置クヘシ

第八十三條 受負人ヨリ注文傳票乙號ニ物品ヲ添ヘ納付シタルトキハ第八十一條ニ依リ之ヲ検査シ適合ト認ムルトキハ主務者ニ於テ該傳票甲乙號共納濟月日ヲ記入捺印シ乙號ハ受負人ニ返付シ代金請求ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第八十四條 工事ノ受負ニシテ工事ノ全部竣工シタルトキハ之ヲ検査シ其受渡ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ受負人ニ對シ證書ヲ交付スルモノトス但五百圓未滿ノ工事ハ證書ヲ要セス

第八十五條 工事又ハ供給ノ物件ヲ不適合ト認メ手直シ又ハ代品ノ納付ヲ命セントスルトキハ廳長ノ決裁ヲ經テ相當ノ日限ヲ與フルコトヲ得但手直又ハ代品納入期限ハ前受負日數ヲ超過スルコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ其期限二日以内ナルトキハ當該検査吏員直ニ相當ノ日限ヲ與ヘ其事由ヲ廳長ニ詳

具スヘシ

第八十六條 契約ノ規格ニ多少不合ノ物品ト雖モ實用ニ適シ急遽ノ際其納入ヲ必要トスル場合ニ於テハ麻長ノ決裁ヲ經テ相當價格ヲ定メ之ヲ買收スルコトヲ得

第八十七條 受負人又ハ供給人契約ノ履行ヲ全フセサルトキ其契約ヲ解除スルニ當リ既成若クハ既納ノ一部分ヲ買收スルノ必要アルトキハ麻長ノ決裁ヲ經テ相當價格ヲ定メ之ヲ買收シ自餘ノ部分ニ對シ解除スルコトヲ得

第八十八條 天災其他正當ノ事故ニ依リ受負人又ハ供給人ヨリ其事故ヲ證明スルニ足ルヘキ證據書類ヲ添ヘ延滞若クハ期限内ニ於テ一時事業ノ休止ヲ申出テタルトキハ事實ヲ審査シ麻長ノ決裁ヲ經テ許可ノ手續ヲ爲スヘシ

第八十九條 第八十五條第八十八條ノ場合ニ於ケル日限内ハ延滞償金ヲ徴セサルモノトス

第九十條 契約保證金及保險料ハ受負人若クハ供給人ニ於テ其義務ノ履行ヲ了リタルトキ若クハ各解ノ便宜ニ依リ契約解除ヲ爲シタルトキ之ヲ返付スヘシ

第九十一條 會計規則第四十條ニ依リ入札保證金ヲ縣ノ所得トスルトキ及延滞償金違約金ヲ徴シ若クハ契約解除ヲ爲サントスルトキハ通知書ヲ發シ受負人又ハ供給人ニ之ヲ告知スヘシ

第九十二條 左ノ場合ニ於テハ主務者ニ於テ其證明書ヲ調製スヘシ
一 競争若クハ指名競争入札ニ付シタル場合ニ於テ入札人アラサリシトキ

二 入札者一名ナリシトキ

三 會計規則第四十四條第二項及第四十五條ニ依リ落札ヲ定メタルトキ

第九十三條 左ノ場合ニ於テハ主務者ニ於テ其理由ノ説明書ヲ調製スヘシ
一 會計規則第三十三條但書及第四十八條ニ依リ隨意契約ヲ爲シタルトキ

二 會計規則第四十七條ニ依リ指名競争ニ付シタルトキ

三 本則第八十六條及第八十七條ニ依リ相當價格ヲ定メ買收シタルトキ

第九十四條 第九十二條ノ證明書及第九十三條ノ説明書ハ支出ノ證據書トシテ第二十一條ニ依リ調製スル支出傳票ニ添付スヘシ

第五章 出納吏

第九十五條 會計規則第五十八條第一項ニ依リ各解及警察分署博物館測候所ニ置ク出納吏ハ左ノ官吏々員及職員ヲ以テ之ニ充ツ

一 警察署警察分署ニアリテハ其署長

二 警察署ヲ除キタル各解ニアリテハ會計主務ノ上席書記

三 博物館ニアリテハ上席書記

四 測候所ニアリテハ其所長

各解ニ於テ會計規則第五十八條第二項ニ依リ出納吏若クハ分任出納吏ヲ置クノ必要アルトキハ麻長其所屬官吏々員若クハ其他ノ職員中ヨリ之ヲ命スヘシ

第九十六條 博物館ノ出納吏ハ通券料ノ現金收入及物品ノ出納ヲ掌ルヘシ
測候所ノ出納吏ハ物品ノ出納ヲ掌ルヘシ

第九十七條 出納吏ハ其責任ニ屬スル會計ニ付自身ニ事務ヲ執ラサルヲ理由トシテ其責任ヲ免ル、コトヲ得ス但特ニ其代理者若クハ分任出納吏ヲ定メタルトキ其代理者若クハ分任出納吏ノ所爲ニ付テハ本條ノ限ニアラス

前項ノ代理者ハ出納吏ノ掌ル全部ヲ代理シ分任出納吏ハ其一部ヲ分掌スルモノトス

第九十八條 出納吏代理者若クハ分任出納吏ハ其代理者クハ分掌シタル所爲ニ付責任ヲ免ル、コトヲ得ス

第九十九條 出納吏交替シタルトキハ其事務ノ引繼ヲ爲スヘキ日時ヲ定メ前任出納吏ヨリ速ニ之ヲ届出ヘシ但前任出納吏事故ニ依リ自ラ届出ヲ爲スコト能ハサルトキハ後任出納吏ヨリ届出ヘシ

前項ノ届書ハ各縣ニアリテハ其麻長ヲ經由スルモノトス

第一百條 明治三十三年三月内務省令第七號第十七條ノ検査ヲ執行スルニ當リ主務ノ出納吏事故ニ依リ自身ニ検査ヲ受クルコト能ハサルトキハ其代理者若クハ特ニ命シタル官吏々員其他ノ職員ニ於テ立會スヘシ

前項ニ依リ立會ヲ爲スヘキモノハ各縣ニ於テハ麻長其所屬ノ官吏々員若クハ其他ノ職員中ヨリ之ヲ命スヘシ

第一百一條 會計規則第五十七條ニ依リ出納吏ニ於テ管掌スル歳入ノ現金歳出ノ現金前渡證券歳入歳出外ノ現金證券ノ出納保管ヲ要スルトキハ主務者ニ於テ納付書請求書其他ノ證券書類ニ依リ其出納ヲ要スル事由ヲ調査シ收入支出ノ傳票ヲ調製シ年度科目番號ヲ付記シ決裁ヲ經テ之ヲ出納又ハ保管スヘシ

第一百二條 縣金庫所在地ノ出納吏現金ヲ以テ歳入金ヲ領收シタルトキハ毎日之ヲ取纏メ翌日迄ニ縣稅外諸收入徵收規則第九條ノ手續ヲ爲スヘシ

縣金庫所在地ノ出納吏歳入歳出外ノ現金ヲ領收シタルトキハ毎日之ヲ取纏メ翌日迄ニ會計規則第六十三條ノ手續ヲ爲スヘシ

第一百三條 縣金庫所在地外ニアル出納吏現金ヲ以テ歳入金ヲ領收シタルトキハ其現金拾圓以上ハ翌日限リ拾圓未満ハ五日毎ニ取纏メ第一百二條第一項ノ手續ヲ爲スヘシ

第一百四條 出納吏會計規則第六十三條ニ依リ其保管ニ屬スル現金ヲ縣金庫ニ委託スルトキハ現金ニ委託書ヲ添ヘ拂込ムヘシ

第一百五條 出納吏ハ其委託シタル保管金ト同種ノ貨幣ヲ以テ仕拂ヲ請ハントスルトキハ會計規則第六十三條ニ依リ委託スルトキ特ニ之ヲ縣金庫ニ求ムヘシ

第一百六條 縣金庫所在地外ニ於テ現金ヲ保管スル出納吏ハ鎖鑰ヲ有スル堅牢ナル函ヲ備ヘ之ニ其保管ニ係ル現金及出納帳簿ヲ藏置シ其鎖鑰ノ鍵ハ出納吏自ラ之ヲ保管スヘシ

二人以上共同責任ヲ以テ現金ヲ保管スル場合ニ於テハ二個以上ノ鎖鑰ヲ有スル堅牢ナル函ヲ備ヘ出納吏其鍵ヲ分管スヘシ

出納吏現金ヲ携帶シテ旅行スル場合ニ於テハ前二項ノ規定ニ依ラス相當ノ保護法ヲ設クルコトヲ得

第一百七條 出納吏第六百六條ニ依リ現金保管ヲ爲シ難キ場合ニ於テハ會計規則第六十四條ノ手續ヲ爲スヘシ

第一百八條 出納吏ニ於テ保管スル證券ハ鎖鑰ヲ有スル堅牢ナル函ヲ備ヘ之ヲ藏置シ其出納ハ本則規定ノ外向藏置品出納規定ニ依ルヘシ

二人以上共同責任ヲ以テ證券ヲ保管スル場合ハ第六百六條第二項ノ規定ヲ準用ス

第一百九條 出納吏ハ會計規則第六十三條ニ依リ縣金庫ニ委託シタル保管金ヲ以テ歳入ニ組入レ若クハ返納ノ爲メ縣金庫ニ拂込ヲ要スルトキハ仕拂切符ヲ以テ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十條 第二十四條第二項ニ依リ歳入歳出外ノ現金ニ振替ヘタル國庫納金ヲ收入官吏ニ納付セシトスルトキハ仕拂切符ニ納付書ヲ添ヘ納付スルモノトス

第百十一條 入札保證金ノ類ニシテ直ニ還付ヲ要スヘキモノハ現金出納簿ノ登記ヲ省畧スルコトヲ得但落札者ニ對スル入札保證金ハ此限ニアラス